倉敷埋蔵文化財センター年報 11

ー平成 17・18 年度ー

倉敷埋蔵文化財センター

2008.3

序　文

平成17年8月1日をもって、倉敷市に真備町、船穂町が編入合併され、新たな倉敷市が誕生いたしました。吉備文化を育んできた両町には多くの遺跡が存在しており、とりわけ真備町域には古代下道氏の本貫地として箭田大塚古墳や箭田廃寺をはじめとする多くの遺跡の存在が知られています。合併により市域は約354㎢に広がり、市内に所在する周知の遺跡数も1500カ所にも及ぶことになりました。埋蔵文化財センターでは、それらの遺跡を適正に保護保存していくために、現在両町域において改めて遺跡の分布調査等を進めており、遺跡の基礎資料の収集に努めているところです。

本書は、平成17年度及び18年度に当センターで実施いたしました発掘調査事業並びに教育普及事業につきまして、その概要をまとめたものです。この間、発掘調査部門では小規模な確認調査が主となっておりますが、平成18年度に実施いたしました溝落遺跡の発掘調査では、縄文時代早期から晩期にかけての土器片や石器類が数多く出土し、注目を集めました。

教育普及部門におきましては、遺跡見学会や考古学講座などのほか、学校や児童クラブなどへの出前授業、出前講座などにも積極的に取り組んでまいりました。また、展示室においても子ども向けの歴史パズル等を増設するなどいたしましたところ、利用者は、平成17、18年度とも増加してきており、とくに児童の入館者が増えていることは大変ありがたいことと思っております。

本書が埋蔵文化財の保護保存の一助として、また当センターの事業に対する理解を深めていただくために、いささかでもお役に立つことができれば幸甚に存じます。

最後になりましたが、埋蔵文化財センターの各事業の実施にあたりまして、ご指導ご協力を賜りました関係の皆様方に厚くお礼申し上げますとともに、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年3月31日

倉敷埋蔵文化財センター
館長　福本　明

目　次

■平成17年度■

Ⅰ 組織 ……1
Ⅱ 事業の概要 ……1
Ⅲ 教育普及事業報告 ……4
Ⅳ 調査事業報告 ……6
小西遺跡試掘調査報告 ……9
水江遺跡確認調査報告 ……11
Ⅴ 寄贈図書一覧 ……12

■平成18年度■

Ⅰ 組織 ……27
Ⅱ 事業の概要 ……27
Ⅲ 教育普及事業報告 ……30
Ⅳ 調査事業報告 ……32
上東遺跡確認調査報告 ……35
通生遺跡確認調査報告 ……36
塩生遺跡確認調査報告 ……37
溝落遺跡発掘調査概要 ……40
浜町遺跡確認調査報告 ……42
新熊野山遺跡確認調査報告 ……43
上東遺跡確認調査報告 ……44
水江遺跡確認調査報告 ……45
Ⅴ 寄贈図書一覧 ……46

例　言

1. 本書は、倉敷埋蔵文化財センターが平成17～18年度にかけて行った埋蔵文化財保護行政の概要についてまとめたものである。
2. 本書の執筆は、福本明・鍵谷守秀・小野雅明・藤原好二が分担し、調査事業報告についてはそれぞれ文責を記した。全体編集は藤原が行った。
3. 調査事業報告において、調査報告としているものについては本報告をもって正報告とする。
4. 調査地点位置図で使用した地形図は、倉敷市発行の50,000分の1の都市計画図を縮小したものであり、その他の位置図には、倉敷市発行の都市計画図を複製または縮小したものを使用した。
5. 本書に関する実測図・写真・遺物等は、全て倉敷埋蔵文化財センターで保管している。

平成17(2005)年度

Ⅰ 組　織

埋蔵文化財センターは、文化財保護課の一施設として、市域内の埋蔵文化財に係る業務を一括して担当している。平成17年度における埋蔵文化財センターの組織及び人員は下記のとおりとなっている。

倉敷市教育委員会 ― 生涯学習部 ― 文化財保護課 ― **埋蔵文化財センター**

文化財保護課	課　長	大本　森
埋蔵文化財センター	館　長	福本　明
〃	主　任	鍵谷 守秀（科学センター主任兼務）
〃	主　任	小野 雅明
〃	臨時職員	清水 紀子
〃	〃	岸本 佳与
〃	〃	森　圭子

（職名等は平成18年3月31日現在）

Ⅱ 事業の概要

1．調査事業

(1) 事前協議　Fax等による埋蔵文化財包蔵地照会は299件、開発指導要綱に基づく事前協議も163件といずれも前年度の1.5倍に及び、著しく増加している。これは平成15年から施行された不動産鑑定評価基準に文化財に関する規定が加えられたためである。市内における開発状況が把握しやすくなったという点では、歓迎すべき事象であるが、宅地造成等の開発事業はまだまだ増加傾向にあることがわかる。

(2) 発掘調査　今年度は試掘・確認調査2件、立会調査4件を実施した。包蔵地照会・事前協議の激増とは裏腹に、調査にいたる件数は著しく減少している。試掘調査では児島下の町の小西遺跡において弥生時代の竪穴住居を検出している。立会調査は、公共事業に伴うものが3件、民間の開発に伴うものが1件である。

(3) 分布調査　平成17年8月1日をもって倉敷市に編入合併された船穂町・真備町の20遺跡を踏査し、遺跡台帳を作成後パソコンに入力した。

(4) 整理作業　来年度以降の報告書の作成に向けて、これまでに調査した上東遺跡等から出土した未整理遺物の一部についての整理作業を行った。

2．教育普及事業

(1) 主催講座等　春の遺跡見学会など、計7回の講座等を実施。延べ参加人数2,786人。

講座名	実施日	講座内容	参加人数
春の遺跡見学会⑩	5/15（日）	吉井川下流域の遺跡めぐり	36人
夏休み親子考古学教室	7/22（金）	火おこしと土器によるご飯炊き	7人
ライフパークの集い	8/21（日）	ドキドキ発掘体験ほか	2,678人
秋の考古学講座 「飾・食・色の考古学」	10/16（日）	飾りの歴史－縄文から近世まで－	13人
〃	10/23（日）	遺跡・遺物と食文化	12人
〃	10/30（日）	色の文化誌	11人
考古学体験講座	11/13（日）	古代の勾玉をつくろう！	29人

(2) 出前講座等講師派遣　古代の土笛づくり等、計14回の派遣。延べ参加人数545人。

派遣内容	開催日	依頼団体	参加人数
博物館学実習	5/12（木）	倉敷芸術科学大学	47人
古代の土笛づくり	5/14（土）	共睦西1町内子ども会	43人
授業協力 「進め！邪馬台国探検隊」	5/24（火）	倉敷市立本荘小学校	47人
古代の土笛づくり	6/8（水）	倉敷市立西阿知小学校	66人
古代の土笛づくり	6/9（木）	倉敷市立西阿知小学校	68人
古代の土笛づくり	7/27（水）	サンハイツ子ども会	38人
古代の土笛づくり	7/28（木）	サンハイツ子ども会	29人
古代の土笛づくり	7/29（金）	倉敷東公民館	17人
古代の土笛づくり	8/2（火）	二日市子ども会	35人
古代の土笛づくり	8/5（金）	共睦中子ども会	45人
古代の土笛づくり	8/9（火）	倉敷北児童センター	34人
古代の勾玉づくり	8/12（金）	水島公民館	20人
出前講座 「庄地区の埋蔵文化財」	12/2（金）	庄ふるさとを考える会	18人
出前講座 「郷内の歴史を知ろう」	2/19（日）	倉敷市立郷内小学校	38人

(3) 報告書等の刊行

倉敷埋蔵文化財センター年報10
　Ａ４判　本文67Ｐ　600部　平成18年1月刊行

倉敷埋蔵文化財センターリーフレット（改訂版）

A6裁　5,000部　平成18年3月発行

(4) 資料の貸出

	貸出期間	資料名	貸出先	使用目的
1	5月10日～8月24日	日畑出土古銭カラースライド1点	編集室アルパカ	『日本の100人』に掲載
2	6月14日～8月2日	日畑出土古銭カラースライド1点	(株) 浩気社	『週刊ビジュアル日本の合戦』に掲載
3	9月16日～11月8日	磯の森貝塚カラースライド4点	富士印刷株式会社	『F & A37号 岡山の貝塚』に掲載
4	10月1日～1月5日	船倉貝塚カラースライド2点・磯の森貝塚カラースライド2点	河瀬正利	『吉備の縄文貝塚』に掲載
5	12月6日～3月23日	矢部出土竜形土製品ほか7点	岡山県立博物館	平成17年度特別展
6	1月31日～3月14日	日畑出土古銭カラースライド1点	(有) トビアス	『週刊ビジュアル日本の合戦』に掲載

3．利用者数

展示・講座等を含めた平成17年度の利用者数は下表のとおりである。総利用者数は12,848人で、昨年度比22.9%の大幅増となった。昨年の利用者減少の反省に基づき、展示室に子ども向けの歴史パズル等を配置するなどの努力が報われたかたちとなった。

《平成17年度月別利用者数》

月	大人	子ども	講座等	計	開館日数	1日平均利用者数
4	401	448		849	25	34
5	517	728	173	1,418	24	59
6	510	324	154	988	26	38
7	505	414	91	1,010	26	39
8	1,706	2,084	146	3,936	26	151
9	402	313		715	24	30
10	415	368	36	819	25	33
11	514	349	29	892	24	37
12	214	95	18	327	22	18
1	317	194		511	22	23
2	408	211	38	657	23	29
3	412	314		726	26	28
合計	6,321人	5,842人	685人	12,848人	293日	43.8人

Ⅲ 教育普及事業報告

1．春の遺跡見学会⑩

～吉井川下流域（瀬戸内市方面）の遺跡めぐり～

日　時　平成17年5月15日（日）
講　師　小野雅明（倉敷埋蔵文化財センター）
対　象　一般
参加者　36人

午前中は岡山市浦間茶臼山古墳、瀬戸内市服部廃寺、花光寺山古墳などを見学した後、郷土資料館を訪れた。昼食後は門田貝塚に移動し、瀬戸内市教育委員会の馬場昌一氏のご案内により弥生前期の貝層や後期末の復元住居を見学した。発掘調査から史跡整備までの話をお聞きし、当遺跡の重要性について理解を深めた。そして築山古墳では九州から運ばれて来た石棺に注目し、須恵器の優品を産した寒風古窯跡群と資料館の見学を最後に全行程を終了した。

2．夏休み親子考古学教室

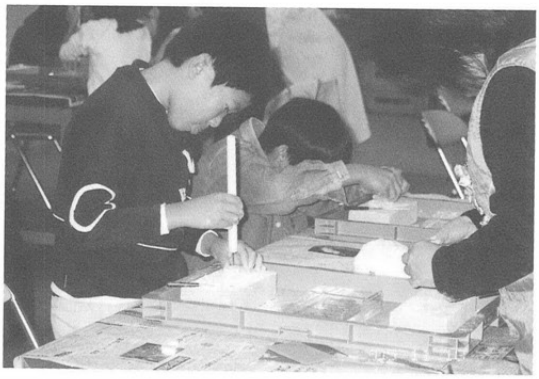
～火おこしと土器によるご飯炊き～

日　時　平成17年7月22日（金）
会　場　倉敷市少年自然の家
対　象　小学校高学年と保護者
参加者　7人

マイギリで火を起し、土器でご飯を炊いて食べようというこの講座は今回で14回目を数える。説明の後、初めてマイギリを回転させると、どの組も簡単に火を起すことができた。ほっとする間もなく、火加減を調節しながらご飯を炊き始める。みそ汁と若鶏のホイル焼きも作り、出来立てを竹製の器に盛りつけて完成。香ばしいご飯のおこげも好評であった。

3．考古学体験講座

～古代の勾玉を作ろう！～



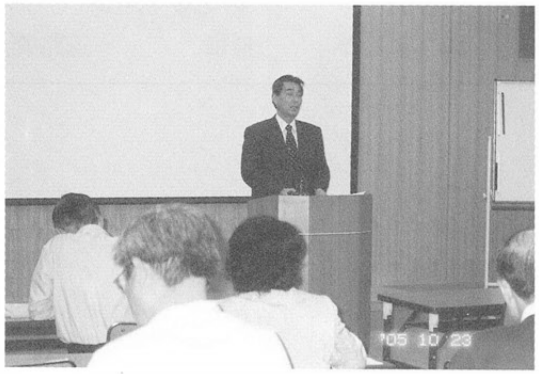
日　時　平成17年11月13日（日）
講　師　鍵谷守秀（倉敷埋蔵文化財センター）
対　象　小学生と保護者
参加者　29人

加工のしやすい滑石（ろう石）を使って、弥生時代の勾玉を作る講座。滑石を勾玉形に仕上げる作業や、3種類の紙やすりを使って勾玉をきれいに磨く作業は意外に難しく、低学年の小学生は少し苦労しているようだった。うまく勾玉の形にならなかった子どもたちも、最後は自分の好きな色に染めることで満足したようであった。

4．秋の考古学講座
～飾・食・色の考古学～

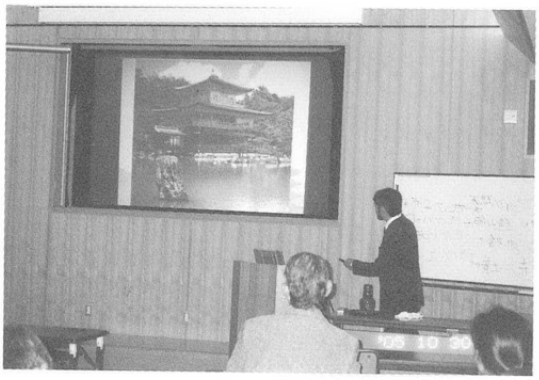
日　時　平成17年10月16・23・30日（日）
講　師　第1回　猪原千恵（和気町歴史民俗資料館）
「飾りの歴史－縄文から近世まで－」
第2回　河本　清（くらしき作陽大学）
「遺跡・遺物と食文化」
第3回　北野信彦（くらしき作陽大学）
「色の文化誌」
会　場　ライフパーク倉敷「視聴覚ホール」
対　象　一般
参加者　36人（延べ人数）

今回は、古くから私たちの生活と関わりのある「飾」「食」「色」という三つの「しょく」について、考古学や日本史から考えてみる講座を実施した。



第1回は、猪原千恵氏による講演で、縄文時代から近世までの飾りの歴史についてのお話をお聞きした。耳飾りや玉類など、縄文時代や弥生時代の遺物を中心に、女性ならではの視点からそれらの詳しい解説を行った。また、分銅形土製品の一部に穿孔を持つものがあり、これらはアクセサリーとして身に付けられていた可能性があるとのユニークな考えも紹介した。

第2回は、河本清氏による講演で、遺跡や遺物から明らかとなった古代の食文化についてのお話をお聞きした。これまで全国各地で検出されてきた、「食」に関係する遺構や遺物の紹介を通して、「焼く」「煮る・炊く」「蒸す」などの食文化を概観した。そして、食に関する行動の違いは、すなわち文化の違いを示すと考えをまとめた。

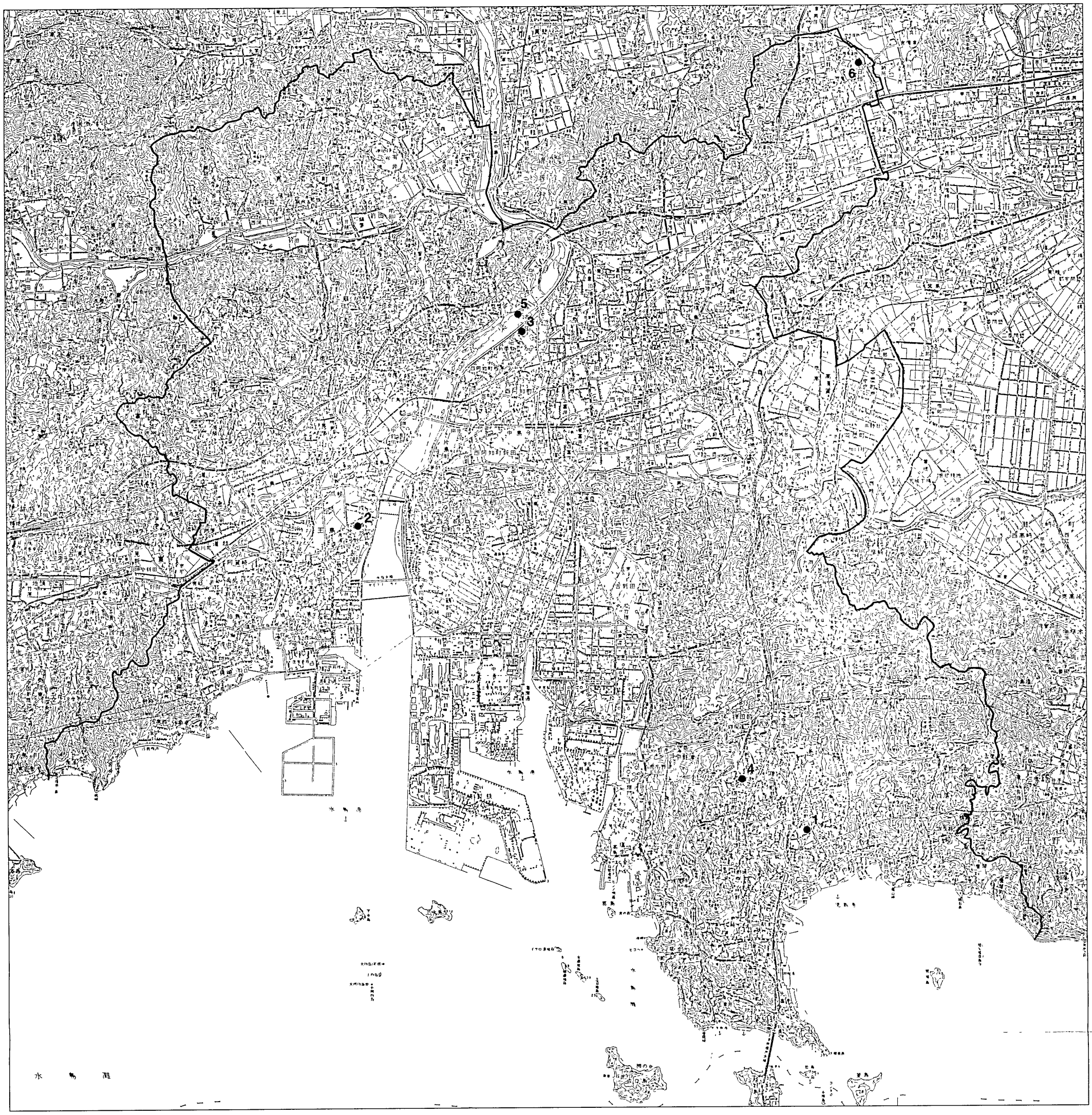


第3回は、北野信彦氏による講演で、色と歴史の関わりについて、氏の専門である文化財の修復や保存科学の観点から述べられた。色は人類共通の文化表現であり、中でも赤・黒・金などの色は、世界各地の各時代で特別な意味を持つことが多かったという。パソコンを用いた解説により、話や資料からだけではわかりづらい内容も、実際に目で見ることにより比較的理解しやすいようであった。

Ⅳ 調査事業報告

平成17年度調査一覧表

No.	遺跡名	該当地	調査原因	区 別	調査期間	調査結果
1	小西遺跡	児島下の町	菜園造成工事	試　掘	05.04.14	竪穴住居跡検出
2	白銀山遺跡	玉島乙島	携帯電話 基地局建設工事	立　会	05.06.02	遺物・遺構なし
3	水江遺跡	水江	アパート建設工事	確　認	05.06.24	〃
4	板池遺跡	児島柳田町	下水道工事	立　会	06.01.06	〃
5	水江遺跡	水江	上水道取水管 埋設工事	〃	06.01.11	〃
6	藤ノ木遺跡	日畑	道路改良工事	〃	06.02.03	〃



調査地点位置図（S=1/100,000）

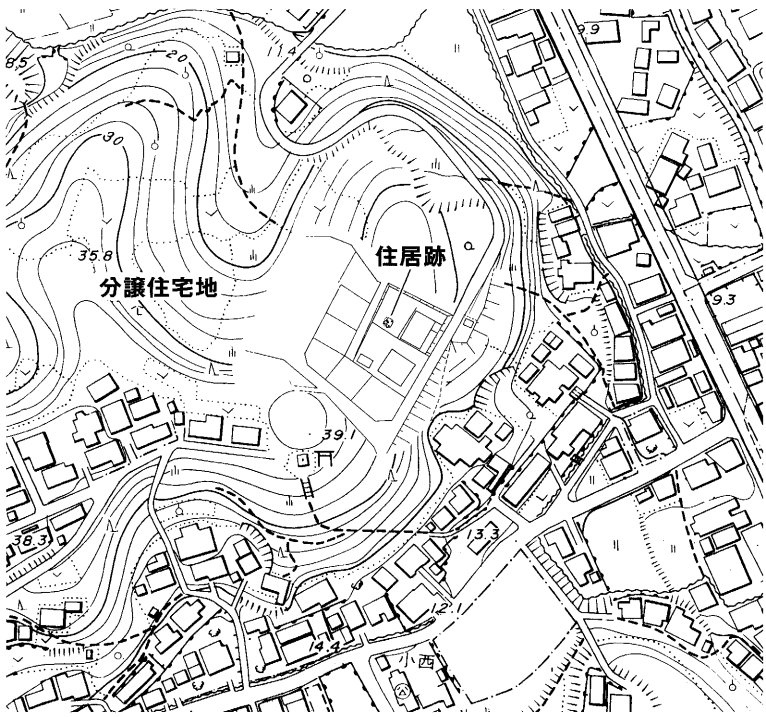
小西（こにし）遺跡試掘調査報告（一覧表 No.1）

調査位置　児島下の町
調査原因　菜園造成工事　　**調査面積**　10㎡
調査期間　05.04.13　　**調査担当**　福本・小野

調査に至る経緯　平成16年12月、倉敷市児島下の町在住の西本淳一氏が数片の弥生土器を持って当センターに来館された。これらの土器は、自宅の裏庭を菜園にするため一部を掘り崩した際に出土したもので、１カ所に集中して土器が含まれている状態であったという。当該地には周知の遺跡は確認されていないが、弥生時代の遺構が存在する可能性が高いため、翌月の平成17年１月に当センター職員が現地を踏査したところ、１棟の竪穴住居跡が地表面に認められた。遺構の破壊が進んでいることは明白であるが、弥生時代の集落遺跡が新たに確認されたのである。西本氏は来春から耕作を行うため遺構を現状保存とすることは困難であり、やむを得ず記録保存を目的として調査を行った。

遺跡の概要　この新発見の遺跡については、字名をとって小西遺跡と呼ぶことにした。小西遺跡は、児島小川から下の町に広がる丘陵地帯の南東部に位置する。旧版の地形図を見ると、下村川が流れる低地を見下ろす北向きに延びた尾根の鞍部に立地していることになるが、数年前から周囲は大規模な分譲住宅地に造成され、地形が大きく変わっている。標高34ｍ付近の当地では南方への眺望が良好で、王子が岳、鷲羽山の山並みが一望でき、その間に竪場島、大槌島などの島々が見通せる。小西遺跡の周辺には、丘陵尾根上あるいは池尻遺跡のように谷の傾斜地に立地する弥生時代を中心とした遺跡が点在し、当時の海岸線近くには古墳時代の製塩遺跡も存在する。

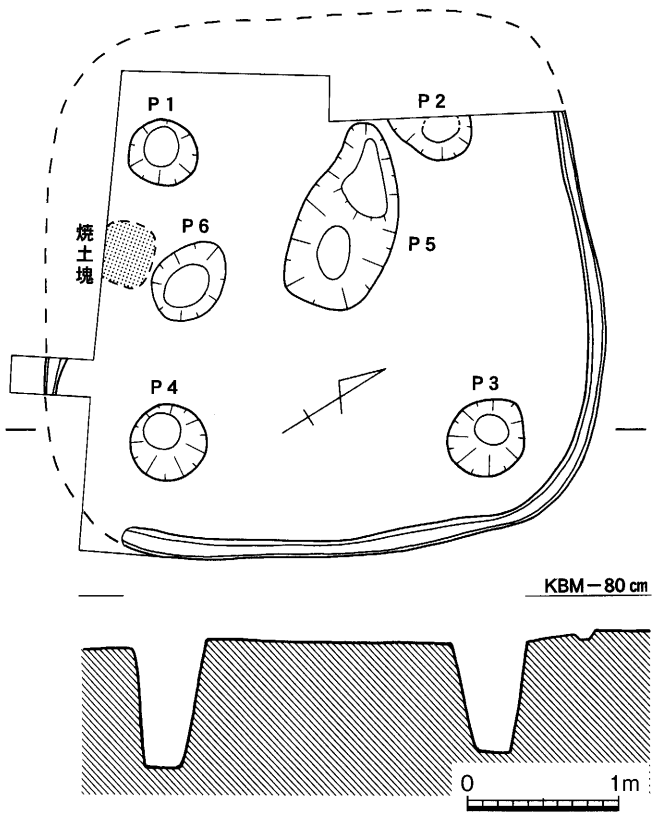
調査の概要　調査地は花崗岩質の丘陵尾根の鞍部に建てられた民家の裏庭（標高33.5ｍ）である。調査にあたって、黒褐色を呈する部分の表面を削ると４ｍ四方くらいの範囲で遺構の輪郭が現れた。これを隅丸方形プランの竪穴住居跡と認め、庭木の植え込み等がある南辺と西辺部分を避けて精査した。また、併行して竪穴住居に付帯する遺構の有無について周辺部分を精査したが発見できなかった。検出された竪穴住居跡は一辺約3.8ｍの規模の隅丸方形である。竪穴の壁体部分は削平を受けてほとんどを失っているが、幅15㎝前後、深さ5㎝～10㎝の壁体溝がかろうじて残っている。主柱穴は４本で、柱間は、P1～P2間が最小で約1.8ｍ、P3～P4間が最大で約2.2ｍを測る。これらのことから、他の辺に比べて西辺が少し短い台形状を



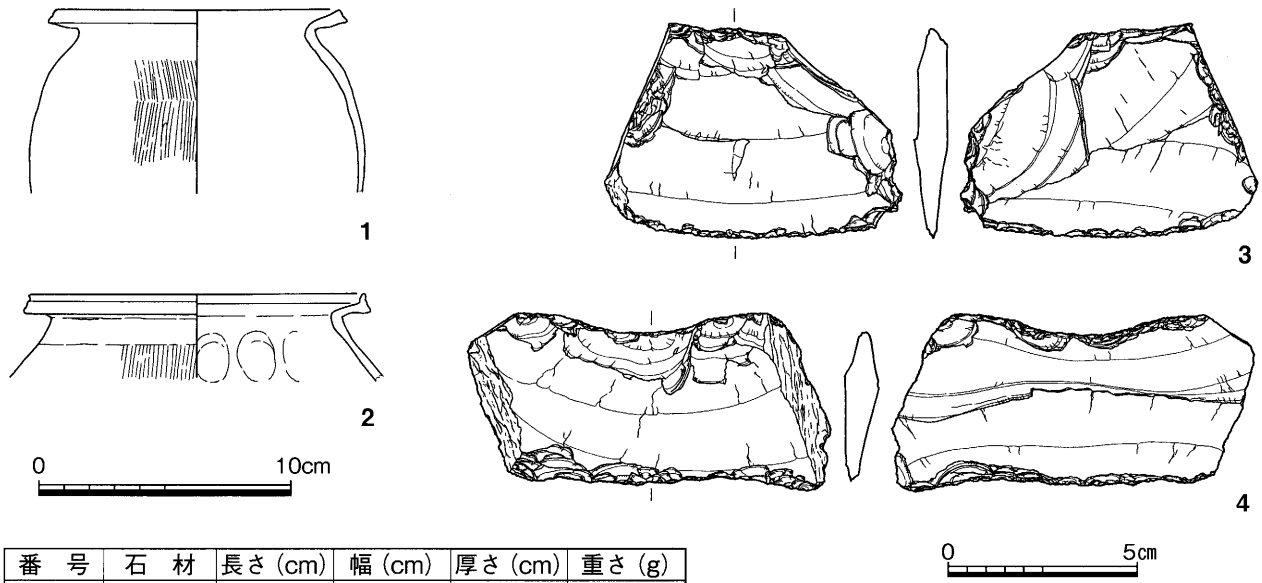
調査地位置図（S＝1/3,000）

呈する平面プランが想定される。検出面からの主柱穴の深さはP3が最小で72cm、P4が最大で85cmである。また、中央付近には歪な長楕円形のP5がある。内部の東寄りには検出面からの深さ約30cmの底があり、西寄りには深さ約10cmの高さの段を有する。埋土中にわずかながら炭粒の混入が認められた。P1とP4の間には、検出面からの深さ約12cmのP6と焼土塊が近接して検出された。住居内に若干の遺物が残っていることから、床面までは削平が及んでいないと思われる。住居跡床面から弥生土器甕などの小片や打製石包丁（下図4）が出土している。また、埋土から打製石包丁（下図3）が出土した。時期は弥生時代中期後葉と考えられる。

まとめ　児島地区の丘陵は谷が細かに入り組んだ複雑な地形を呈しており、この中に弥生時代中期後半を中心とする集落遺跡が多く分布している。今回調査した小西遺跡も、そうした丘陵尾根に展開する弥生集落跡と考えられる。調査地周辺は宅地開発により既に地形が改変されており、丘陵尾根上でもともとの地形を保っているのは、南側の疫神社付近だけである。しかし、ここを踏査したところ、遺構の露出や遺物の散布は認められない。したがって、残存する遺跡の範囲は今回の調査地を含めて東西長30m前後、南北幅10m程度の限られた部分と推測される。　（小野）



竪穴住居実測図（S=1/50）



番　号	石　材	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）
3	安山岩	5.70	7.80	0.96	45.8
4	安山岩	4.86	9.49	0.94	55.6

竪穴住居跡出土遺物（土器：S =1/3・石器：S=1/2）

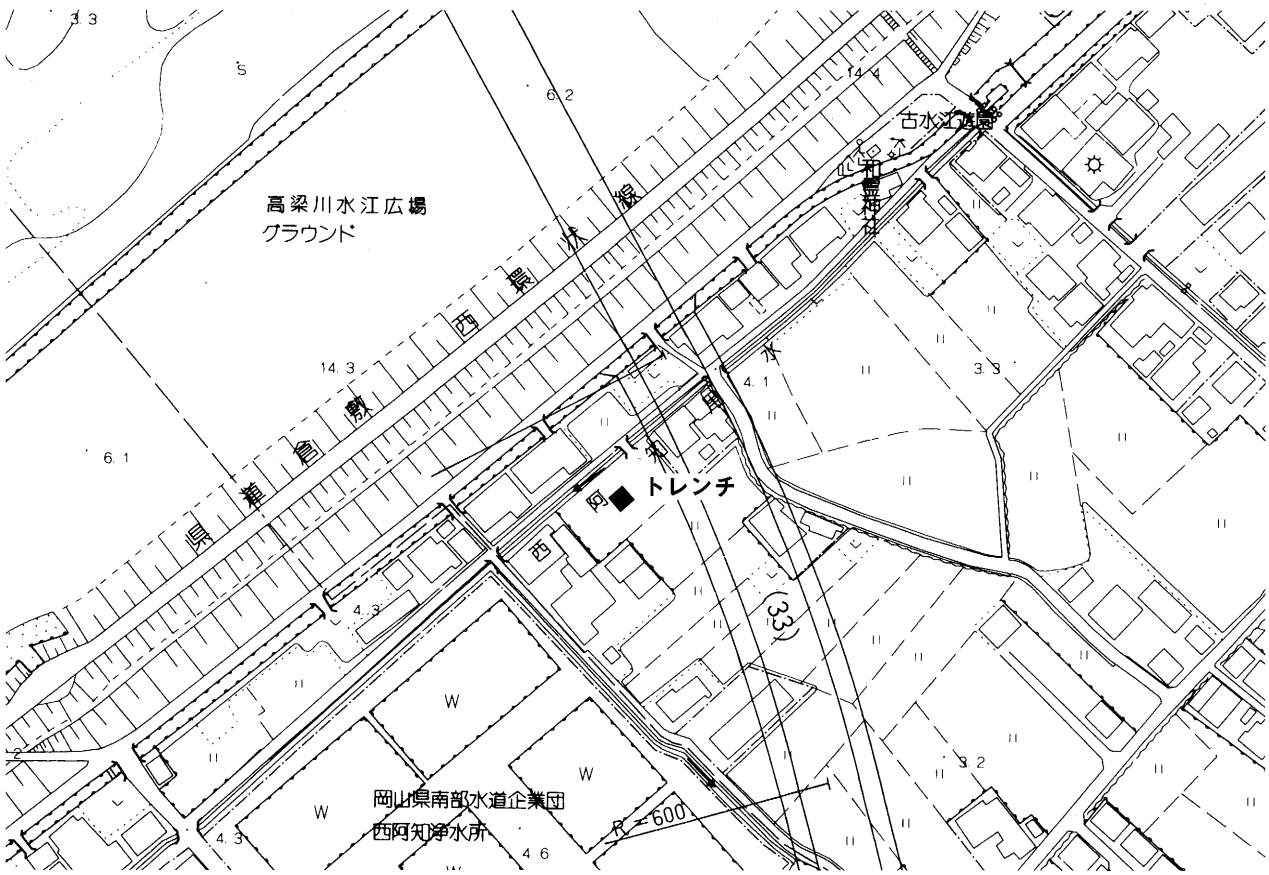
水江（みずえ）遺跡確認調査報告（一覧表 No.3）

調査位置　水江字西阿知境1149番2の一部
調査原因　アパート建設工事　　**調査面積**　4㎡
調査期間　05.06.24　　**調査担当**　鍵谷・小野

遺跡の概要　水江遺跡は、高梁川東岸の沖積地に立地する弥生時代から中世にかけての集落遺跡である。遺跡の範囲については、高梁川河川敷の広大な区域が酒津－水江遺跡として周知されていたが、これまでに実施した範囲確認調査や工事立会調査等で得られた情報の蓄積によって遺跡範囲の見直しを行い、酒津遺跡と水江遺跡に分けて捉えるよう修正を行った（「倉敷市遺跡地図（倉敷・庄地区）」2005）。調査地に隣接する岡山県南部水道企業団西阿知浄水場の北端からは、昭和31年（1956）の上水道濾過池工事の際に遺物包含層が発見され、酒津式土器がまとまって出土している。しかし、近隣における最近の調査では遺構・遺物包含層は検出されておらず、この遺物包含層の広がりは未だ明確にされていない。

調査の概要　調査地は水田を転用した畑地で、２×２ｍのトレンチを１カ所設定し、断面観察を中心に調査を行った。耕作土の下には緑灰色砂質土の中に灰黄褐色砂質土が畝状あるいは溝状に入り込んだ層がみられる。その下には灰色砂質土が堆積し、地表下60cmくらいから小礫を含むようになる。各層には遺構・遺物は認められず、地表下70cmあたりで湧水が激しくなったため掘り下げを終了した。

以上の調査結果から、当該地には遺跡が及んでいないと判断される。（小野）



調査地位置図（S＝1/2,500）

V 寄贈図書一覧（2005.4.1～2006.3.31）

北海道	
（財）北海道埋蔵文化財センター	テエタ第14号～第15号、調査年報17～18、アイヌ文化の源流を探る、オルイカ2遺跡（2）、チプニー2遺跡（3）、リヤムナイ3遺跡（1）、遺跡が語る北海道の歴史、栄野1遺跡・新野上2遺跡、三次郎川左岸遺跡・石倉5遺跡（2）・石倉4遺跡、上台1遺跡、上台2遺跡、森川3遺跡、森川4遺跡、生淵2遺跡、西島松5遺跡（4）、対雁2遺跡（6）、柏木川4遺跡・柏木川13遺跡（2）、穂香川右岸遺跡
札幌市埋蔵文化財センター	C 504遺跡、K 135遺跡第4次調査、M 459遺跡
釧路市埋蔵文化財調査センター	幣舞2遺跡調査報告書Ⅰ
青森県	
仙台藩白老元陣屋資料館	仙台藩白老元陣屋資料館報第11号
青森県埋蔵文化財調査センター	maibun-net. あおもり No.1～No.2
田舎館村埋蔵文化財センター	史跡垂柳遺跡発掘調査概要報告書
岩手県	
（財）岩手県文化振興事業団	紀要XXⅣ、芋田Ⅱ遺跡発掘調査報告書、細谷地遺跡第8次発掘調査報告書、上台Ⅱ遺跡発掘調査報告書、西川目・堰向Ⅱ遺跡発掘調査報告書、台太郎遺跡第51次発掘調査報告書、滝の沢地区遺跡発掘調査報告書、中佐井Ⅳ遺跡発掘調査報告書、中半入遺跡第4次発掘調査報告書、南日詰遺跡発掘調査報告書、年報平成16年度版、梅の木沢遺跡発掘調査報告書、夫婦石袖高野遺跡発掘調査報告書、本宮熊堂A遺跡第17次発掘調査報告書、本宮熊堂B遺跡第13・15・20次発掘調査報告書、本宮熊堂B遺跡第18次発掘調査報告書、和野ソマナイ遺跡発掘調査報告書
北上市立埋蔵文化財センター	館Ⅰ遺跡、丸子館跡、鳩岡崎三館跡、北上市内試掘調査報告（2003年度）、北上市埋蔵文化財年報（2003年度）、北上市立埋蔵文化財センター紀要第2号、北上市立埋蔵文化財センター紀要第3号
盛岡市遺跡の学び館	遺跡の学び館だより第3号、遺跡の学び館特報、生活の中の考古学 - 道具から見た昔のくらし -、盛岡市遺跡の学び館常設展示図録、盛岡市内遺跡群 - 平成15年度・16年度発掘調査報告 -、乱世を駈けぬけた武将たち
宮城県	
多賀城市埋蔵文化財調査センター	市川橋遺跡ほか、多賀城市内の遺跡2、多賀城市埋蔵文化財調査センター年報 - 平成16年度 -、野田遺跡・矢作ヶ館跡
古川市教育委員会	権現山遺跡　柴橋遺跡ほか、名生館官衙遺跡XXⅣ
仙台市富沢遺跡保存館	市民文化財研究員活動報告書9、仙台市富沢遺跡保存館研究報告8、地底の森ミュージアム年報 - 第9号 -
山形県	
（財）山形県埋蔵文化財センター	埋文やまがた第30号～第34号、年報平成15年度、研究紀要第3号、高瀬山遺跡（1期）、高擂南遺跡・菖蒲江1遺跡・菖蒲江2遺跡、渋江遺跡、助作遺跡、小田島城跡、小平2遺跡・小平3遺跡、西向遺跡、石田遺跡、泉森窯跡・坂ノ下遺跡、大明神遺跡、達磨寺遺跡、的場遺跡、馬洗場B遺跡、萩原遺跡、板橋1遺跡・板橋2遺跡、飛泉寺跡遺跡、服部遺跡・藤治屋敷遺跡、米沢城跡、茗ヶ山遺跡
米沢市教育委員会	米沢市文化財年報 No.16～No.17、遺跡詳細分布調査報告書第17集～第18集、大浦B遺跡発掘調査報告書、大西遺跡発掘調査報告書、米沢城跡「東三の丸」発掘調査報告書
東北芸術工科大学考古学研究室	高安窯跡群B地区第3次発掘調査報告書、歴史遺産研究 No.3
福島県	
（財）郡山市埋蔵文化財発掘調査事業団	郡山市埋蔵文化財分布調査報告12、再現！縄文こおりやま、小川後田A遺跡、大安場古墳群 - 第6次発掘調査報告 -、大鏑館跡、町B遺跡、柏山遺跡 - 第5次調査 -、白旗遺跡（第2次）転沢遺跡（第2次）

（財）いわき市教育文化事業団	応時遺跡、夏井廃寺跡、菊竹遺跡、玉山古墳、原田Ｃ遺跡、腰巻横穴墓群、根室遺跡、小茶円遺跡、田代原Ａ遺跡、平成16年度市内遺跡試掘調査報告
（財）福島市振興公社	宮畑遺跡、宮畑遺跡史跡整備発掘調査報告書1、古館跡、五十辺遺跡3、摺上川ダム埋蔵文化財発掘報告13、西ノ向Ｄ遺跡 戸上向遺跡、大平・後関遺跡3、平成15年度遺跡詳細分布調査報告（試掘調査）、平成15年度市内遺跡分布・立会・確認調査報告、平成16年度市内遺跡試掘調査報告書、平成16年度市内遺跡分布・立会・試掘・確認調査報告書、本内館跡
茨城県	
（財）茨城県教育財団	年報24、かじや久保遺跡、羽黒遺跡2、下小池遺跡2・大日遺跡2、玉取向山遺跡、金谷遺跡2、元宮本前山遺跡、綱山遺跡、根岸西遺跡、山ノ入古墳群・大日下遺跡、上岩瀬富士山遺跡、新善光寺跡・宍戸城跡、大戸下郷遺跡2、大塚遺跡2・木戸遺跡、辰海道遺跡4、田島遺跡、島名熊の山遺跡、鍋山東原遺跡、坏戸遺跡
ひたちなか市埋蔵文化財調査センター	ひたちなか埋文だより第21号～第22号、平成16年度市内遺跡発掘調査報告書
（財）ひたちなか市文化・スポーツ振興公社	フィールドノートvol.17、見てみよう聞いてみよう！その13、向野Ⅶ、船窪遺跡、武田Ⅺ-2004年度武田遺跡群発掘調査の成果-
取手市埋蔵文化財センター	取手市内遺跡発掘調査報告書7～9
土浦市教育委員会	形部遺跡
土浦市立博物館	土浦市立博物館紀要第15号
上高津貝塚ふるさと歴史の広場	火葬と古代社会-死をめぐる文化の受容-、花室川に生きた古代人、山野を駆ける土偶-その移り変わりと祈りの道具-、上高津貝塚ふるさと歴史の広場年報第10号～第11号
筑波大学歴史・人類学専攻	筑波大学先史学・考古学研究第16号
筑波大世界遺産専攻	ニュースレターvol.1
栃木県	
（財）とちぎ生涯学習文化財団	やまかいどうNo.39～No.41、研究紀要第13号、祇園城跡関連遺跡、上り戸遺跡、東谷・中島地区遺跡群5、東谷・中島地区遺跡群6、彦七新田遺跡、堀越遺跡、埋蔵文化財センター年報第15号（平成17年度版）
栃木県教育委員会	栃木県埋蔵文化財保護行政年報27
小山市教育委員会	祇園城跡Ⅰ、小山添遺跡Ⅱ、日光道西遺跡Ⅲ、飯塚古墳群Ⅲ、飯塚古墳群Ⅲ-遺物編-
足利市教育委員会	藤本観音山古墳発掘調査報告書遺跡、馬坂古墳群発掘調査報告書
群馬県	
（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団	埋文群馬No.44～45、遺跡に学ぶ第26号～第27号、年報24、研究紀要23～24、群馬の遺跡1旧石器時代、群馬の遺跡2縄文時代、群馬の遺跡3弥生時代、群馬の遺跡4古墳時代Ⅰ、群馬の遺跡5古墳時代Ⅱ、群馬の遺跡6古代、群馬の遺跡7中世～近代、最新情報展2005注目された遺跡の注目される成果、鳥川端遺跡、横壁中村遺跡（2）、横壁中村遺跡（3）、下元屋遺跡、久々戸遺跡（2）・中棚Ⅱ遺跡（2）・西ノ上遺跡・上郷Ａ遺跡、荒砥宮田遺跡Ⅱ・荒砥前田遺跡、高崎城ＸＶ遺跡、高林三入遺跡・八反田遺跡、高林西原古墳群、今井三騎堂遺跡・今井見切塚遺跡、今井道上Ⅱ遺跡、諏訪ノ木Ⅳ遺跡、西大室上諏訪遺跡、西田島遺跡、川原湯勝沼遺跡（2）、泉沢谷津遺跡、霜田遺跡、中郷恵久保遺跡、中見里遺跡群、塚畑遺跡・宮内遺跡・稲荷前遺跡・三島木遺跡・城ノ内遺跡、島悪途遺跡、棟高辻久保遺跡、波志江中屋敷西遺跡、浜町遺跡、富田漆田遺跡・富田下大日遺跡、北牧大境遺跡、綿貫小林前遺跡
群馬県教育委員会	角渕八反田Ⅱ・Ⅲ遺跡　天神巡りⅣ遺跡、上ノ台遺跡、赤沼遺跡
埼玉県	
（財）埼玉県埋蔵文化財調査事業団	年報25、研究紀要第20号、伊勢の台遺跡、下田町遺跡Ⅱ、雅楽谷遺跡Ⅱ、宮西遺跡Ⅱ、宮沢遺跡、古宮／中条条里／上河原、川越城跡Ⅱ、大山遺跡第10・11次、徳力東北遺跡、飯塚北遺跡Ⅰ、北島遺跡Ｘ～ＸⅢ
埼玉県立埋蔵文化財センター	埋文さいたま第44～46号、埼玉県立埋蔵文化財センター年報15

所沢市立埋蔵文化財調査センター	所沢市立埋蔵文化財調査センター年報 No.10、市内遺跡調査報告 11、宮林遺跡・城西の上遺跡・茨山遺跡・野竹遺跡、西椿峰遺跡
川本町出土文化財管理センター	下大塚遺跡（2 次調査） 鹿島 76 号古墳地下レーダー探査、鹿島 73 号古墳、鹿島遺跡
飯能市教育委員会	飯能文化財時報 - 第 133 号 -、飯能の遺跡（33）、飯能の石塔
鶴ヶ島市教育委員会	台遺跡
春日部市教育委員会	浜川戸遺跡 1、2、3、4 次調査地点
さいたま川の博物館	かわはく No.21 ～ No.24、蘇る縄文 - 自然と暮らした人々 -
千葉県	
（財）印旛郡市文化財センター	ウチの土器ヨソの土器、フィールドブック vol.18 ～ vol.21、井野安坂山遺跡・井野長割遺跡（第 9 次）・井野城跡・井野宮ノ台遺跡・井野外山遺跡、印旛郡市文化財センター研究紀要 4、角来山王台遺跡、郷野遺跡、曲輪ノ内遺跡（第 5 次）、権現堂遺跡、江原埜谷遺跡（第 4 次）、財団法人印旛郡市文化財センター年報 20、鹿渡遺跡（第 3 次）、神門房下遺跡 C 地点、西和泉和田遺跡・西和泉栗山遺跡・西和泉栗山台遺跡、先崎西原遺跡、前原北遺跡、前戸遺跡、台方下平 I 遺跡・台方下平 II 遺跡発掘調査概報、第 8 回遺跡発表会発表要旨、第 9 回遺跡発表会発表要旨、瀧水寺裏遺跡、谷津田遺跡・前原 No.2 遺跡・木戸場遺跡、中沢野馬木戸遺跡・天神谷津遺跡、東遺跡・馬込遺跡 II、南囲護台遺跡（第 4 地点）、南三里塚宮原第 1 遺跡・南三里塚宮原第 2 遺跡、飯塚荒地台遺跡、浮矢遺跡 I・浮矢遺跡 II、北囲護台遺跡
（財）君津郡市文化財センター	首都圏中央連絡自動車道（木更津ー東金）埋蔵文化財調査報告書 2
（財）山武郡市文化財センター	小野山田遺跡群 III
（財）市原市文化財センター	埋文いちはら 15、市原市文化財センター研究紀要 V ～ VI、市原市文化財センター年報 - 平成 15・16 年度 -、私たちの文化財 No.27、発掘ってなあに - 発掘のしごと篇 -、発掘ってなあに - 弥生土器篇 -、市原市加茂遺跡 A・B 地点、市原市根田代遺跡、市原市市東地区遺跡群、市原市潤井戸西山遺跡 C 地点、市原市潤井戸西山遺跡 D 地点、市原市西広貝塚 II、市原市長平台遺跡
（財）香取郡市文化財センター	加止里第 10 号、事業報告 XIV、一夜山遺跡群、山ノ下城跡、西坂遺跡 1 地点、多田遺跡群、大崎城跡、地々免遺跡 - 遺物編 -、北の内古墳、龍正院瓦窯跡
（財）東総文化財センター	東総文化財センター年報 9 ～ 11、芝崎遺跡 I、新台遺跡、神山谷遺跡（1）、神山谷遺跡（2）、福岡遺跡
（財）千葉県文化財センター	房総の文化財 vol.36 ～ vol.37、千葉県文化財センター年報 No.29 ～ No.30、一般国道 297 号線交通安全施設等整備委託（埋蔵文化財調査）報告書、印西市新井堀 II 遺跡・前戸遺跡、印西市西根遺跡、印西市馬込遺跡、印西市鳴神山遺跡 IV、緊急地方道路整備委託（館山大貫千倉線）埋蔵文化財調査報告書、空港整備地区南側貨物取扱施設埋蔵文化財調査報告書 I、研究連絡誌第 67 号、国道 127 号埋蔵文化財調査報告書、国道道路改築委託（久留里）埋蔵文化財調査報告書、佐倉印西線（緊急地方道路整備）埋蔵文化財調査報告書、佐倉印西線（緊急地方道路整備）埋蔵文化財調査報告書 2、佐倉市佐倉城跡、四街道市小屋ノ内遺跡（1）、市原市江子田遺跡、市原市西野遺跡、市原市石神台遺跡、市原市中潤ヶ広遺跡（1）、芝山町御田台遺跡、主要地方道松戸野田線住宅宅地関連埋蔵文化財調査報告書（2）、主要地方道千葉滝ヶ崎線埋蔵文化財調査報告書、首都圏中央連絡自動車道埋蔵文化財調査報告書 1 ～ 2、松崎地区内陸工業用地造成整備事業埋蔵文化財調査報告書 3、新鎌ヶ谷地区埋蔵文化財調査報告書 II、新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書 XIX ～ XX、成田国際空港埋蔵文化財調査報告書 XXI、西三里塚第 2 代替地埋蔵文化財調査報告書 1、西三里塚第 2 代替地埋蔵文化財調査報告書 2、千原台ニュータウン XI ～ XII、千葉ニュータウン埋蔵文化財調査報告書 XVI ～ XVIII、千葉東南部ニュータウン 31 ～ 33、泉新田野馬堀、船橋印西線埋蔵文化財調査報告書 4、長南町南城跡、東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書 13、東関東自動車道（千葉・富津線）

	埋蔵文化財調査報告書14、東関東自動車道（木更津・富津線）埋蔵文化財調査報告書2、東関東自動車道（木更津・富津線）埋蔵文化財調査報告書3、東関東自動車道（木更津･富津線）埋蔵文化財調査報告書4､東関東自動車道水戸線酒々井ＰＡ埋蔵文化財調査報告書１～２、木更津市田向遺跡、木更津市田向遺跡
（財）千葉県教育振興財団	房総の文化財 vol.38
市川市教育委員会	下総国府跡
船橋市教育委員会	印内遺跡群第14次、瑞花双凰五花鏡・梅花文鏡筥分析報告書、台畑遺跡第1次
野田市教育委員会	平成16年度野田市内遺跡発掘調査報告
市原市教育委員会	平成16年度市原市内遺跡発掘調査報告
白井市教育委員会	市内遺跡調査報告書 - 小森瓢箪塚古墳 -
芝山町教育委員会	平成16年度芝山町内遺跡発掘調査報告書
国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館研究報告第121集～第124集・第129集、国立歴史民俗博物館年報1、弥生農耕の起源と東アジア
市立市川考古博物館	市立市川考古博物館館報第32号
船橋市飛ノ台史跡公園博物館	飛ノ台史跡公園博物館紀要第2号
東京都	
（財）東京都生涯学習文化財団	たまのよこやま No.63 ～ No.65、駕籠町南遺跡、向柳原町遺跡、四ツ谷前遺跡、市谷加賀町二丁目遺跡Ⅲ、市谷本村町遺跡、新宿6丁目遺跡、神宮前一丁目遺跡、西龍ヶ崎遺跡、船田遺跡、多摩ニュータウン No.446 遺跡、多摩ニュータウン遺跡 -No.243・244 遺跡 -、多摩ニュータウン遺跡 -No.70・442・902 遺跡 -、多摩ニュータウン遺跡 -No.72・795・796 遺跡 -（17）、多摩ニュータウン遺跡 -No.72・795・796 遺跡 -（18）、多摩ニュータウン遺跡 -No.72・795・796 遺跡 -（19）、多摩ニュータウン遺跡 -No.72・795・796 遺跡 -（21）、多摩ニュータウン遺跡 -No.72・795・796 遺跡 -（22）、多摩ニュータウン遺跡 -No.874・No.884 遺跡 -、多摩ニュータウン遺跡 -No.9 遺跡 -、太子堂下本村遺跡、鍛冶屋敷遺跡、東京都埋蔵文化財センター研究論集ＸＸＩ、南池袋遺跡、萩藩毛利家屋敷跡遺跡、武蔵国府関連遺跡、武蔵国分寺跡遺跡、武蔵国分寺跡遺跡・恋ケ窪廃寺遺跡、明石町（第2次）遺跡、椚田遺跡Ｅ地区
宮内庁書陵部	書陵部紀要第56号～第57号
北区教育委員会	区内遺跡発掘調査報告、七社神社前遺跡Ⅲ
葛飾区教育委員会	平成15年度葛飾区埋蔵文化財調査年報
八王子市教育委員会	宮下遺跡発掘調査報告書
調布市郷土博物館	ドキュメント合併 - 調布市誕生にいたるまで -、下布田古墳群の調査、郷土博物館だより No.67 ～ No.69、地域を語るくらしの道具、調布の文化財第37号～第39号、調布岡遺跡 - 第10地点の調査 -、調布岡遺跡 - 第9地点の調査 -、調布市の遺跡調査 - 第5～6集 -、調布市埋蔵文化財報告集刊
港区立港郷土資料館	研究紀要 8- 平成16年度 -、港郷土資料館へ行ってみよう！第1号～第2号、港郷土資料館館報 -22-、港区埋蔵文化財調査年報2、資料館だより第54号～第55号、備中新見藩関家屋敷跡、麻布仲ノ町地区武家屋敷跡遺跡発掘調査報告書
国際縄文学協会	国際縄文学協会紀要第1号
明治大学博物館	明治大学博物館年報2003年度
青山学院大学文学部史学研究室	青山史学第二十三号
早稲田大学図書館	安房国分寺、古代118号、扇山遺跡
首都大学東京考古学研究室	人類誌情報2003、人類誌情報2004
神奈川県	
横須賀市教育委員会	猿島遺跡群2、猿島遺跡群3、埋蔵文化財発掘調査概報集Ⅲほか、埋蔵文化財発掘調査概報集Ⅻ
平塚市教育委員会	稲荷前Ｂ遺跡 - 第5地点 -、山王久保遺跡 - 第11地点 -、中原Ｄ／田村館跡・稲荷前 A/ 万田
藤沢市教育委員会	藤沢市文化財調査報告書第40集

平塚市真田・北金目遺跡調査会	平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書５
富山県	
（財）富山県文化振興財団	富山考古学研究第７号～第８号、埋蔵文化財年報（15）-平成15年度-、埋蔵文化財年報（16）-平成16年度-、埋蔵文化財調査概要-平成15年度-、埋蔵文化財調査概要-平成16年度-、下老子笹川遺跡発掘調査報告、吉倉Ｂ遺跡発掘調査報告、中名Ⅴ・Ⅵ遺跡、砂子田Ⅰ遺跡発掘調査報告、任海宮田遺跡発掘調査報告Ⅰ、能越自動車道関連埋蔵文化財包蔵地調査報告、北陸新幹線関係埋蔵文化財包蔵地調査報告（4）
富山県埋蔵文化財センター	埋文とやま第90号～第94号、富山県埋蔵文化財センター年報-平成16年度-
魚津市教育委員会	松倉城塁群発掘調査報告Ⅳ
小矢部市教育委員会	平成７年度小矢部市埋蔵文化財発掘調査概報、平成８年度小矢部市埋蔵文化財発掘調査概報、平成12年度小矢部市埋蔵文化財発掘調査概報、平成13年度小矢部市埋蔵文化財発掘調査概報、平成16年度小矢部市埋蔵文化財発掘調査概報、桜町遺跡発掘調査報告書　縄文遺構編Ⅱ　弥生・古墳・古代・中世編Ⅲ、出土建築材資料集　縄文・弥生・古墳時代
砺波市教育委員会	安川天皇窯跡発掘調査報告、久泉遺跡発掘調査報告Ⅱ、久泉遺跡発掘調査報告Ⅱ、増山裏亀山遺跡発掘調査報告
大島町教育委員会	三ヶ・本開発遺跡発掘調査報告、北高木遺跡発掘調査報告書
石川県	
（財）石川県埋蔵文化財センター	いしかわの遺跡 No.19 ～ No.21、石川県埋蔵文化財情報第13号、年報6、だいじょう寺畑遺跡、塩津遺跡、観法寺墳墓群・観法寺ジンヤマ横穴・観法寺ジンヤマ窯跡・観法寺ヤッタ遺跡、館開テラアト遺跡、館開野開遺跡、九谷Ａ遺跡Ⅰ、今浜墓田山遺跡、三引遺跡Ⅳ、三室オンド遺跡・三室堂ヶ谷内遺跡、四柳白山下遺跡Ⅰ、寺社今社遺跡・高照寺墓地、真脇製塩遺跡、畝田西遺跡群Ⅰ、畝田西遺跡群Ⅱ、畝田東遺跡群Ⅰ、畝田東遺跡群Ⅱ、畝田東遺跡群Ⅴ、大坂古屋垣内遺跡、谷内石山遺跡、冬野遺跡･免田一本松遺跡、南方遺跡、八野Ｂ遺跡･黒川Ｂ遺跡、末松遺跡
金沢市埋蔵文化財センター	平成16年度金沢市埋蔵文化財調査年報、駅西本町１丁目遺跡、観音堂遺跡、窪二丁目遺跡、広坂遺跡（１丁目）Ⅱ、出雲じいさまだ遺跡Ⅰ、中屋サワ遺跡Ⅱ・横江荘遺跡Ⅰ・福増カワラケダ遺跡Ⅰ・下福増遺跡Ⅰ、田上西遺跡Ⅱ、片町二丁目遺跡、木ノ新保遺跡Ⅱ
福井県	
福井県埋蔵文化財調査センター	年報17、年報18、下丁遺跡、京善藤谷口遺跡、坂井兵庫地区遺跡群Ⅰ（遺構編）、坂井兵庫地区遺跡群Ⅱ（遺物編）、坂井兵庫地区遺跡群Ⅲ（自然科学・図版編）、山泉遺跡、　四方谷岩状遺跡、市荒川興行寺遺跡、西山窯跡群、大塩向山遺跡・山腰遺跡、大牧遺跡、滝見古墳群･大飯神社古墳群･山田古墳群･山田中世墓群、発坂山ノ端遺跡、福井城跡、福井城跡、福井城跡、福井城跡、林・藤島遺跡北野上地区
小浜市教育委員会	加茂遺跡発掘調査報告書、小浜市重要遺跡確認調査報告書
福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館	一乗谷朝倉氏遺跡資料館紀要2003
山梨県	
山梨県埋蔵文化財センター	埋文やまなし第18～22号､年報20～21､2005年度上半期遺跡調査発表会要旨、研究紀要21～22、百々遺跡６、加牟那塚古墳、鰍沢河岸跡Ⅱ、鰍沢河岸跡Ⅳ、鎌無川堤防跡群（堤防遺跡 No.23)、原町農業高校前遺跡（第２次)、甲府城跡、国指定史跡　銚子塚古墳附丸山塚古墳、山梨県内分布調査報告書（平成16年)、四ノ側遺跡、酒呑馬遺跡（第１～３次)、小井川･小河原遺跡Ⅰ、足原田遺跡Ⅰ、塚越遺跡・炭焼遺跡・井坪遺跡、
長野県	
（財）長野県埋蔵文化財センター	長野県埋蔵文化財センター年報21、安曇野農業水利事業あづみ野水路埋蔵文化財発掘調査報告書、県営畑地帯総合整備事業野辺山地区埋蔵文化財発掘調査

	報告書2、国道153号伊那・松島バイパス埋蔵文化財発掘調査報告書、国道474号線（飯喬道路）埋蔵文化財発掘調査報告書1、三分遺跡、担い手育成基盤整備事業（芹ヶ沢地区）国道299号線バイパス建設事業埋蔵文化財発掘調査報告書、仲町遺跡、唐松B遺跡、馬込遺跡
長野市埋蔵文化財センター	長野市埋蔵文化財センター所報No.16、桐原宮西遺跡　権現堂遺跡（2）吉田古屋敷遺跡（2）返目遺跡、松ノ木田遺跡、松代城下町跡、水内坐一元神社遺跡Ⅲ、西方遺跡（2）、西方遺跡・中沢城館跡、石川条里遺跡（11）本村東沖遺跡（3）上長畑遺跡、石川条里遺跡（8）、南条遺跡
上田市教育委員会	下町田遺跡Ⅲ～Ⅴ、海禅寺裏遺跡･道祖神遺跡、国分遺跡群、国分寺周辺遺跡群、大日ノ木遺跡、反田遺跡、平成12年度市内遺跡発掘調査報告書、平成13年度市内遺跡発掘調査報告書、平成14年度市内遺跡発掘調査報告書、平成15年度市内遺跡発掘調査報告書、平成16年度市内遺跡発掘調査報告書、林之郷遺跡群
辰野町教育委員会	羽場崎遺跡、羽場崎遺跡
木曽福島町教育委員会	溝口遺跡、川合遺跡、島尻遺跡、板敷野遺跡
松本市立考古博物館	塩倉池遺跡Ⅳ　塚山古墳群、五輪遺跡第1次緊急発掘調査報告、高宮遺跡Ⅱ、高宮遺跡Ⅳ、松本城下町跡宮村町第2次　天神西遺跡第2次、大村遺跡Ⅳ
長野県立歴史館	長野県立歴史館たより vol.42 ～ vol.45
岐阜県	
各務原市埋蔵文化財調査センター	かかみがはらの埋文第13号、上田遺跡・鵜沼西町4号墳、上田遺跡・鵜沼西町4号墳発掘調査報告書、大牧古墳群A地区発掘調査報告書、野口廃寺、野口廃寺C・D地区発掘調査報告書、炉畑遺跡B地区発掘調査報告書
（財）岐阜市教育文化振興事業団	鷺山仙道遺跡Ⅱ、平成15・16年度岐阜市市内遺跡発掘調査報告書
（財）土岐市埋蔵文化財センター	土岐市中央自動車道関連遺跡出土遺物整理報告書
（財）岐阜県教育文化財団	きずな第43号～第45号､平成16年度年報､いじま遺跡･櫨原神向遺跡､柿田遺跡、七反田番場山7・10・11号墳、上恵土城跡・浦畑遺跡、清願寺跡、西ヶ洞廃寺跡･中野山越遺跡･中野大洞平遺跡･大洞平5号古墳、太江遺跡Ⅱ、大杉西遺跡、大平遺跡、土岐口西山3・4号古窯跡、八幡前遺跡・八幡前2号古墳
美濃市教育委員会	貝津遺跡、貝津遺跡B地点、古村遺跡、神輿休遺跡B地区、神輿休遺跡C地区、渡来川北遺跡、勇田遺跡、勇田遺跡B地点
静岡県	
（財）静岡県埋蔵文化財調査研究所	研究紀要第11号～第12号、研究所報No.111 ～ No.114、静岡県埋蔵文化財調査研究所年報21、宮竹野際遺跡、恒武西宮遺跡Ⅲ・笠井若林遺跡Ⅱ、上ノ山遺跡、森町円田丘陵の遺跡、瀬名川遺跡Ⅱ、前岡遺跡・今城、大岡元長窪線関連遺跡Ⅱ、藤守遺跡Ⅲ、来光川遺跡群Ⅰ、来光川遺跡群Ⅱ
磐田市埋蔵文化財センター	遠江国分寺フォーラム - 古代建物の復元を考える -、御殿・二之宮遺跡 - 第79・80・81次発掘調査報告書 -、新豊院山遺跡発掘調査報告書
袋井市教育委員会	愛野向山Ⅱ遺跡、坂尻遺跡、地蔵ヶ谷古墳群・横穴群Ⅰ・Ⅱ、平成14年度掛之上遺跡
浜松市埋蔵文化財調査事務所	笠井若林遺跡8次、梶子北（三永）・中村遺跡 - 弥生時代編 -、梶子北遺跡（三永地区）- 遺構本文編 -、梶子北遺跡（三永地区）- 古墳・奈良時代編 -、梶子北遺跡（三永地区）- 中世編 -、篠原町仲村遺跡、城山遺跡、森西遺跡、村長平遺跡、中村遺跡 - 遺構本文編 -、中村遺跡 - 古墳・奈良時代編 -、中村遺跡 - 中世編 -
芝川町教育委員会	大鹿窪遺跡・窪B遺跡（遺物編）
静岡市立登呂博物館	研究紀要5、静岡市立登呂博物館館報15
愛知県	
（財）瀬戸市埋蔵文化財センター	（財）瀬戸市埋蔵文化財センター研究紀要第12輯、江戸時代の瀬戸・美濃　- 三都と名古屋 -、中世瀬戸焼全国出土遺跡地名表1- 近畿編 -
安城市埋蔵文化財センター	鹿乗川流域遺跡群Ⅲ
南山大学人類学博物館	南山大学人類学博物館紀要第23号
名古屋市見晴台考古資料館	名古屋市見晴台考古資料館研究紀要第7号、名古屋市見晴台考古資料館年報

	22、見晴台遺跡第42・43次発掘調査の記録、森と生きた一万年 - モリゾーとキッコロの考古学 -、千音寺遺跡第5次発掘調査報告書、朝日遺跡第14・15次発掘調査の概要、尾張元興寺跡第11次発掘調査概要報告書、埋蔵文化財調査報告書51、埋蔵文化財調査報告書52
豊田市郷土資料館	豊田市郷土資料館だより No.50 ～ No.54、伊保東古城、吉兼1号古窯跡・兼金1号古窯跡
名古屋大学考古学研究室	名古屋大学文学部研究論集152
三重県	
三重県埋蔵文化財センター	みえ No.39、研究紀要第14号、研究紀要第15-1号、おばたけ遺跡（第5次）発掘調査報告、安濃川中流域の考古資料、一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報17、一般国道42号松阪・多気バイパス埋蔵文化財発掘調査概報9、間ノ田遺跡・辻子遺跡（第4次）発掘調査報告、岩出遺跡群（第5、7，8次）発掘調査報告、筋違遺跡発掘調査 - 第2分冊 -、戸井口遺跡・スブクリ遺跡（第1・2次）発掘調査報告、国分東遺跡（第1・3次）・沖ノ坂遺跡発掘調査報告、国分北遺跡（第3次）発掘調査報告、佐田南浦遺跡（第2次・第3次）発掘調査報告、城ノ広古墳群・城ノ広遺跡（第2次）発掘調査報告、浄土近世墓地調査報告、石山古墳、天花寺丘陵内遺跡群発掘調査報告Ⅲ -1、天花寺丘陵内遺跡群発掘調査報告Ⅵ、天花寺丘陵内遺跡群発掘調査報告Ⅶ、菟上遺跡発掘調査報告、弐ノ坪遺跡発掘調査報告、豊原西町遺跡発掘調査報告、堀田第6次調査、里前遺跡（第2次）発掘調査報告
津市埋蔵文化財センター	埋文センターニュース第21号～第22号、津市埋蔵文化財センター年報9～10、峯治城跡（第4次）発掘調査報告、
松阪市埋蔵文化財センター	嬉野町古代シンポジウム、平成14年度文化財調査概要、平成15年度文化財調査概要、御所垣内遺跡、赤部遺跡発掘調査概報Ⅲ、天白遺跡5次調査発掘調査概報、天白遺跡調査概要、野田遺跡発掘調査報告書3次調査、弥五郎垣内遺跡発掘調査報告書
鈴鹿市教育委員会	伊勢国府跡6～7、伊勢国分寺跡4～5、一般国道23号線中勢道路範囲確認調査報告、史跡伊勢国府跡保存管理計画書
松阪市教育委員会	赤部遺跡発掘調査概報Ⅱ
上野市遺跡調査会	中島遺跡発掘調査報告、北門遺跡（1次）発掘調査報告
伊賀市教育委員会	伊賀市文化財年報1、川上ダム建設事業地内埋蔵文化財発掘調査概報Ⅵ、沢代遺跡（2次）発掘調査概報
紀和町教育委員会	史跡赤木城跡保存整備事業報告
美杉村教育委員会	北畠氏館跡9
鈴鹿市考古博物館	鈴鹿市考古博物館年報第5号～第6号、（仮称）岸岡西土地区画整理事業にかかる埋蔵文化財範囲確認調査報告、一般国道23号線中勢道路発掘調査報告、平田遺跡
滋賀県	
滋賀県埋蔵文化財センター	滋賀埋文ニュース No.299号～ No.310号、近江の弥生時代、その始まりと展開、琵琶湖の傍らで暮らし始める - 滋賀県の縄文時代 -
能登川町埋蔵文化財センター	能登川の遺跡探検ものがたり、能登川町埋蔵文化財調査報告書第58集～第60集
（財）栗東市文化体育振興事業団	はっくつ2004、はっくつ2005、モノを活かす工夫、滑石製模造品の神まつり、縄文人のくらしを探る、忘れられた霊場をさぐる、栗東市埋蔵文化財調査報告2003年度年報、栗東市埋蔵文化財調査報告2003年度年報Ⅱ、栗東市埋蔵文化財調査報告2004年度年報
滋賀県教育委員会	芦苅遺跡・大中の湖南遺跡、下鈎遺跡、穴太飼込古墳群、植遺跡、植城遺跡、西ノ前遺跡、西念寺北遺跡、大篠原西遺跡、唐橋遺跡、蜂屋遺跡、柳遺跡Ⅱ、柳遺跡Ⅲ、里井Ｂ遺跡、竜ヶ崎Ａ遺跡、竜法師城遺跡、竜法師城遺跡・池ノ尻遺跡

大津市教育委員会	穴太遺跡（下大門・東生水地区）発掘調査報告書、山ノ神遺跡発掘調査概要報告書Ⅲ、大津市埋蔵文化財調査年報 - 平成 15（2003）年度 -
米原市教育委員会	佐加太第 22 号
東近江市教育委員会	五個荘地区の主要遺跡、五個荘町内遺跡発掘調査報告書Ⅶ～Ⅸ
日野町教育委員会	日野町埋蔵文化財発掘調査報告書第 21 集～第 22 集
五個荘町教育委員会	五個荘町内遺跡発掘調査報告Ⅳ～Ⅶ、五個荘町埋蔵文化財発掘調査年報Ⅸ～Ⅹ、山本遺跡（第 2 次調査）、神崎地宝、大郡遺跡第 14 次調査、竜田遺跡（第 3 次調査）、梁瀬遺跡
愛知川町教育委員会	なまず遺跡、市遺跡、町内遺跡分布調査概要報告書 1、平成 13 年度・平成 14 年度愛知川町内遺跡発掘調査報告書
竜王町教育委員会	神原Ⅲ遺跡・後平城跡、竜王町内遺跡発掘調査概要報告書平成 10 年度～平成 12 年度、竜王町内遺跡発掘調査概要報告書平成 13 年度～平成 15 年度、竜王町埋蔵文化財発掘調査資料集Ⅱ
滋賀県立安土城考古博物館	おおてみち第 51 号～第 54 号
大津市歴史博物館	大津歴博だより No.58 ～ No.61
滋賀県立琵琶湖博物館	うみんど第 34 号～第 38 号
滋賀県立大学人間文化学部	人間文化第 17 号～第 18 号
京都府	
（財）京都府埋蔵文化財調査研究センター	京都府埋蔵文化財情報第 95 号～第 98 号
（財）京都市埋蔵文化財研究所	史跡・名勝嵐山、史跡旧二条離宮（二条城）・平安宮廩院跡、松ヶ崎廃寺跡、上京遺跡、大藪遺跡発掘調査報告書、醍醐寺子院跡、長岡京右京一条四坊十五町跡、長岡京跡・淀条跡、二宮東遺跡発掘調査報告書、白河街区跡・岡崎遺跡、平安京右京一条四坊十三町跡、平安京右京三条一坊三町跡、平安京右京三条一坊四町跡、平安京右京三条一坊七町跡、平安京右京三条一坊二町跡、平安京右京三条四坊十三・十四町、四条四坊十五・十六町跡、平安京右京三条四坊十三町跡、平安京右京三条四坊十三町跡、平安京右京六条三坊二町跡、平安京右京六条三坊六町跡、平安京左京一条二坊十二町跡、平安京左京三条四坊十町跡、平安京左京三条二坊十三町跡、平安京左京八条四坊七町跡、平安京左京八条二坊十五町跡、平安京左京北辺四坊八町跡
京都市埋蔵文化財調査センター	京都市内遺跡試掘調査概報 - 平成 16 年度 -、京都市内遺跡発掘調査概報 - 平成 16 年度 -、京都市内遺跡立会調査概報 - 平成 16 年度 -
（財）向日市埋蔵文化財センター	長岡京跡ほか、年報都城 17
綾部市教育委員会	綾部市文化財調査報告第 35 集
京田辺市教育委員会	門田遺跡発掘調査概報
加悦町教育委員会	丹後最古の王墓「日吉ヶ丘墳墓」出現の謎に迫る、吉ヶ丘遺跡、駒田遺跡・金屋遺跡、明石大師山古墳群
園部町教育委員会	季刊博物館だより第 12 号～第 15 号、園部町内遺跡発掘調査概報 - 平成 16 年度 -、園部の町風景 - 城下町いまむかし -、
向日市文化資料館	20 世紀のむこうまち、向日丘陵の前記古墳、職人牟田正義氏の竹細工道具類目録、職人牟田正義氏の竹細工道具類目録
京都大学考古学研究室	紫金山古墳の研究、幾地地蔵山遺跡現状調査報告書
竜谷大学考古学実習室	考古学実習 No.2
大阪府	
（財）八尾市文化財調査研究会	久宝寺寺内町遺跡第 1 次調査、財団法人八尾市文化財調査研究会報告 81 ～ 85、平成 16 年度（財）八尾市文化財調査研究会事業報告
（財）枚方市文化財研究調査会	ひらかた文化財だより第 63 号～第 64 号、枚方市文化財年報 26（2004 年度分）、楠葉東遺跡、牧野車塚古墳 - 第 2 次調査 -
高槻市立埋蔵文化財調査センター	史跡・今城塚古墳 - 平成 15 年度・第 7 次規模確認調査 -、史跡・今城塚古墳 - 平成 16 年度・第 8 次規模確認調査 -、嶋上遺跡群 29
堺市立埋蔵文化財センター	堺市文化財調査概要報告第 102 冊～第 107 冊、堺埋蔵文化財だより第 17 号～第

	18号、平成15年度国庫補助事業発掘調査報告書、平成16年度国庫補助事業発掘調査報告書
（財）大阪府文化財センター	OCCH No.29～No.32、カルチュアはっとりNo.4～No.8、年報平成15年度、年報平成16年度、大阪文化財研究第26号～第28号、大阪府埋蔵文化財研究会（第51回）資料、第二京阪道路内の発掘調査講演会発表資料、2003年度共同研究成果報告書、河内平野における古墳の出現 - 久宝寺遺跡と加美遺跡 - 要旨集、伽羅橋遺跡Ⅲ、岩田遺跡、久宝寺遺跡に最古の土師器を探る、久宝寺遺跡発掘調査成果、弓削ノ庄遺跡他、小坂合遺跡（その3）、小路遺跡（その2）、寝屋東遺跡Ⅰ、寝屋東遺跡Ⅱ、船橋遺跡Ⅱ、船橋遺跡Ⅲ、太秦遺跡・太秦古墳群・大尾遺跡・高宮遺跡、太秦遺跡・太秦古墳群Ⅰ、太秦古墳群発掘調査成果、大坂城・難波宮、大尾遺跡Ⅱ、男里遺跡、池島・福万寺遺跡発掘調査概要ＸＸＸ、東雲遺跡隣接地、東倉治遺跡Ⅰ、福井遺跡、北河内発掘！緑立つ道に歴史わきたつ、弥生ムラの風景 - 八尾南遺跡の最新成果 -、民家集落ふるさとだより第25号～第26号
大阪府教育委員会	大阪府教育委員会文化財調査事務所年報7～9、陶邑・窯・須恵器
豊中市教育委員会	豊中市埋蔵文化財発掘調査概要 - 平成16（2004）年度 -
枚方市教育委員会	枚方市埋蔵文化財発掘調査概要2004
東大阪市教育委員会	鬼虎川遺跡第56次発掘調査報告、若江遺跡第83次発掘調査概要、東大阪市下水道事業関係発掘調査概要報告 - 平成16年度 -、東大阪市埋蔵文化財発掘調査概報 - 平成16年度 -
羽曳野市教育委員会	羽曳野市内遺跡調査報告書 - 平成12年度 -、古市遺跡群ＸＸＶ～ＸＸⅥ
富田林市教育委員会	新堂廃寺跡、富田林寺内町遺跡、平成15年度富田林市内遺跡群発掘調査報告書、平成16年度富田林市内遺跡群発掘調査報告書
貝塚市教育委員会	貝塚市遺跡群発掘調査概要27
泉佐野市教育委員会	宮ノ前遺跡、泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要第46号～第47号、日根荘遺跡範囲確認調査・詳細分布調査報告書、平成16年度泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要
泉南市教育委員会	戎畑遺跡発掘調査報告書、泉南市遺跡群発掘調査報告書ＸＸⅡ
交野市教育委員会	1989年度交野市埋蔵文化財発掘調査概要、平成2年度～平成16年度交野市埋蔵文化財発掘調査概要
吹田市教育委員会	平成16年度埋蔵文化財緊急発掘調査概報
茨木市教育委員会	郡遺跡発掘調査概要報告書、平成16年度発掘調査概報
大阪府立弥生文化博物館	東海の弥生フロンティア、北陸の玉と鉄、弥生倶楽部vol.28、弥生文化博物館要覧 - 平成16年度 -
大阪府立近つ飛鳥博物館	博物館だより - アスカディア・古墳の森vol.22～vol.24、大阪府立近つ飛鳥博物館館報9～10、王権と儀礼 - 埴輪群像の世界 -、年代のものさし - 陶邑の須恵器 -、遙かなり音の道
吹田市立博物館	ふしぎ探検 - 足とはきもの -、吹田市文化財ニュースNo.26、吹田市立博物館館報5、博物館だよりNo.24
大阪府立狭山池博物館	近代滔々、大阪府立狭山池博物館研究報告2
八尾市立歴史民俗資料館	研究紀要第16号、八尾市立歴史民俗資料館報 - 平成15年度 -
大阪大学考古学研究室	井ノ内稲荷塚古墳の研究
兵庫県	
兵庫県教育庁埋蔵文化財調査事務所	ひょうごの遺跡第55号～第58号、兵庫県埋蔵文化財研究紀要第4号、平成15年度年報、珉平焼窯跡、下大部岡ノ山遺跡、加都遺跡Ⅰ、火山古墳群・火山城跡・火山遺跡、御船遺跡、御船遺跡Ⅱ、高坂古墳群、市之郷遺跡、十ノ貝遺跡、生栖遺跡、大中遺跡、中山手西遺跡、舞子浜遺跡、野坂大谷古墳群
神戸市埋蔵文化財センター	遺跡のお医者さん
妙見山麓遺跡調査会	下小名田遺跡、三番町遺跡
神戸市教育委員会	平成14年度神戸市埋蔵文化財年報、戎町遺跡第35・38・50・56次・松野遺跡

	第32・33・38次、戎町遺跡第35・38・50・56次　松野遺跡第32・33・38次発掘調査報告書、森町遺跡発掘調査報告書 - 第1次・2次調査 -、森北町遺跡第20次調査発掘調査報告書、水谷遺跡・馬掛原遺跡、兵庫松本遺跡
姫路市教育委員会	特別史跡姫路城跡石垣修理工事報告書（7）
加西市教育委員会	三口町の原始・古代、横田遺跡Ⅱ、横田町の原始・古代、玉丘古墳群Ⅰ、笹倉・堂ノ下遺跡
赤穂市教育委員会	発掘された赤穂城下町
龍野市教育委員会	小神南遺跡
尼崎市教育委員会	尼崎市内遺跡復旧・復興事業に伴う発掘調査、尼崎市埋蔵文化財調査年報平成7年度（6）
姫路市立城郭研究室	江戸の修理、昭和の修理、城郭研究室年報 vol.14
加古川市教育委員会	文化財ニュース No.48、野口廃寺発掘調査概要報告書
加東郡教育委員会	黒石山古墳群確認調査、埋蔵文化財調査年報 -2003年度 -、掎鹿谷・東萩原遺跡
中町教育委員会	安坂・城の堀遺跡Ⅲ、牧野・町西遺跡Ⅲ
太子町教育委員会	太子町の寺社建築
佐用郡教育委員会	平成5年度埋蔵文化財調査年報、平成15年度埋蔵文化財調査年報
神戸市立博物館	研究紀要第21号、神戸市立博物館年報 No.20
赤穂市立歴史博物館	錦絵にみる「東海道四谷怪談」の世界、赤松滄洲
播磨町郷土資料館	心に生きる別府鉄道、播磨町郷土資料館館報16
奈良県	
桜井市立埋蔵文化財センター	平成16年度発掘調査速報展、古墳時代中期の桜井、大陸文化と渡来人 - 奈良分地南部における渡来系集団の動向 -、ホケノ山古墳第1次調査概要報告書、ホケノ山古墳第2次調査概要報告書、桜井市内埋蔵文化財2002年度発掘調査報告書2～3、大藤原京関連遺跡第43次調査、平成8年度国庫補助による発掘調査報告書、平成15年度国庫補助による発掘調査報告書、平成16年度国庫補助による発掘調査報告書
奈良文化財研究所	遺跡情報交換標準の研究、埋蔵文化財ニュース No.118～No.121
橿原市教育委員会	平成15年度橿原市文化財調査年報、平成16年度橿原市文化財調査年報、平成16年度橿原市埋蔵文化財発掘調査概報
田原本町教育委員会	笹鉾山古墳群、田原本町埋蔵文化財調査年報13
広陵町教育委員会	史跡　牧野古墳、巣山古墳調査概報
榛原町教育委員会	榛原町内埋蔵文化財発掘調査概要報告書2002年度、榛原町内埋蔵文化財発掘調査概要報告書2003年度
唐古・鍵考古学ミュージアム	唐古・鍵遺跡と周辺の弥生遺跡
（財）元興寺文化財研究所	元興寺文化財研究 No.86、筑後東部地区遺跡群Ⅸ、中の池遺跡 - 第11次調査 -
帝塚山大学考古学研究所	帝塚山大学考古学研究所研究報告Ⅰ～Ⅲ、帝塚山大学考古学研究所研究報告Ⅵ～Ⅶ
天理大学考古学研究室	古事第9冊
天理大学附属天理参考館	天理参考館報第18号
和歌山県	
（財）和歌山市文化体育振興事業団	和歌山市埋蔵文化財発掘調査年報8～9、井辺遺跡第6次発掘調査概報、井辺遺跡第7次発掘調査概報、秋月遺跡第9次発掘調査概報、太田・黒田遺跡第55次発掘調査概報、田屋遺跡発掘調査概報
（財）和歌山県文化財センター	風車12～15、（財）和歌山県文化財センター年報2004、岩橋高柳遺跡
吉備町教育委員会	浄教寺当麻曼荼羅修理報告書、天満Ⅰ遺跡発掘調査報告書、平成15年度吉備町埋蔵文化財調査年報、平成16年度吉備町埋蔵文化財調査年報
鳥取県	
（財）鳥取県教育文化財団	年報 -2004-、年報 -2005-、弥生の器、化粧川遺跡、久蔵谷遺跡、上伊勢第1遺跡・三保第1遺跡、中道東山西山遺跡、湯坂遺跡・福留遺跡、南原千軒遺跡、八幡遺跡、名和中畝遺跡、名和飛田遺跡、門前第2遺跡

（財）米子市教育文化事業団	埋蔵文化財調査室年報5～6、吉谷銭神遺跡 - 第2次調査 -、車尾7丁目西濱中遺跡、泉角屋敷遺跡、米子市内遺跡発掘調査報告書（遺跡分布調査）
（財）鳥取市文化財団	横枕古墳群発掘調査概要報告書、大井聖坂遺跡 2次調査発掘調査報告書、内海中寺ノ谷遺跡（第1冊）
鳥取県埋蔵文化財センター	青谷上寺地遺跡出土品調査研究報告1木製容器・かご、調査研究紀要1
鳥取市教育委員会	内海中寺ノ谷遺跡（第2冊）、平成16年度鳥取市内遺跡発掘調査概要報告書、平成16年度鳥取市内遺跡発掘調査報告書
倉吉市教育委員会	雨堤遺跡発掘調査報告書、向野遺跡第3次発掘調査報告書、倉吉市内遺跡分布調査報告書13、大境遺跡発掘調査報告書
鳥取県教育委員会	妻木晩田遺跡発掘調査研究年報2004、史跡妻木晩田遺跡整備事業報告書2000－2004、鳥取県文化財調査報告書第18集
米子市教育委員会　淀江分室	岩屋古墳、小波上遺跡、上淀廃寺跡Ⅳ、上淀廃寺跡Ⅴ
北条町教育委員会	町内遺跡発掘調査報告書第13集
大山町教育委員会	名和町内遺跡発掘調査報告書
島根県	
島根県埋蔵文化財調査センター	ドキ土器まいぶん No.30 ～ No.32、オロチのいぶき特別号（3）、埋蔵文化財調査センター年報13、宮ノ脇遺跡・家の後Ⅱ遺跡1、古代文化の郷 No.5、五反配遺跡（平成16年度調査）、山持遺跡（vol.1）、史跡出雲国府跡　-3-、川津バイパス発掘だより No.2、前田遺跡（2）・下布施氏館跡・原田遺跡Ⅰ区、中野清水遺跡（2）、畑ノ前遺跡・菅原Ⅰ遺跡・クボ山遺跡・菅原Ⅱ遺跡・菅原Ⅲ遺跡・廻田Ⅴ遺跡・保知石遺跡、北原本郷遺跡1
島根県古代文化センター	価谷鈩跡発掘調査報告書、古代出雲における玉作の研究Ⅱ、崎ヶ鼻洞窟遺跡、装飾付大刀と後期古墳、大寺1号墳発掘調査報告書
（財）松江市教育文化振興事業団	菅田横穴墓群・薦沢砦跡、埋蔵文化財課年報Ⅷ～Ⅸ
出雲市教育委員会	寿昌寺遺跡・築山遺跡発掘調査報告書、出雲市埋蔵文化財発掘調査報告書第15集、小山遺跡第3地点発掘調査報告書（第5次発掘調査）、浜井場古墳群発掘調査報告書
島根県立八雲立つ風土記の丘資料館	八雲立つ風土記の丘 No.180 ～ No.183
鹿島町立歴史民俗資料館	古浦遺跡、寺床谷古墳、堀部第1遺跡
島根大学埋蔵文化財調査研究センター	島根大学構内遺跡第12・13次調査（京田地区2・3）
岡山県	
岡山県古代吉備文化財センター	所報吉備第38号～第39号、発掘 / 高島のむかし、よみがえる久田の歴史、伊福定国前遺跡2、塩納成遺跡、夏栗遺跡、久田堀ノ内遺跡、持坂20号墳、川入遺跡、長縄手遺跡、津島遺跡6、土井遺跡・谷の前遺跡・慶運寺跡、苫田ダム建設に伴う発掘調査4
津山弥生の里文化財センター	津山弥生の里第12号、美作国分寺跡保存整備基本構想、林田池ノ内遺跡
岡山市埋蔵文化財センター	岡山市埋蔵文化財センター年報4、史跡賞田廃寺跡、赤田東遺跡、南方（済生会）遺跡 - 木器編 -
岡山県教育委員会	岡山県埋蔵文化財報告35
備前市教育委員会	史跡伊部南大窯跡整備基本構想、備前市の耐火物 - 耐火レンガ発祥の地 -、備前焼研究最前線Ⅱ
笠岡市教育委員会	鉄塊遺跡
総社市教育委員会	古代山城鬼ノ城、総社市埋蔵文化財調査年報14
瀬戸内市教育委員会	長船町の文化財
赤磐市教育委員会	両宮山古墳
真庭市教育委員会	高田城三の丸遺跡
御津町教育委員会	上伊田遺跡
久米町教育委員会	曾根田遺跡・半太遺跡・稗田遺跡・久保田遺跡
湯原町教育委員会	湯原町の石仏・石造物
岡山県立博物館	吉備の渡来文化 - 渡り来た人々と文化 -

津山郷土博物館	博物館だより No.46 ～ No.49、高野神社の文化財、津山松平藩とその系譜、津山松平藩町奉行日記十三、
倉敷市立自然史博物館	倉敷市立自然史博物館研究報告第 20 号、倉敷市立自然史博物館報 14
岡山県立美術館	美術館ニュース No.68 ～ No.72
岡山県立吉備路郷土館	吉備路郷土館だより No.29
岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第 33 号～第 35 号、岡山大学埋蔵文化財調査研究センター紀要 2003 ～ 2004、津島岡大遺跡 15 ～ 17
岡山理科大学　自然科学研究所	自然科学研究所研究報告第 30 号
岡山理科大学「岡山学」研究会	旭川を科学する Part1
岡山大学文学部日本史研究室	「災害など緊急時における歴史遺産の保全に関する県内自治体等との連携事業」報告書
岡山市立オリエント美術館	岡山市立オリエント美術館研究紀要 20
倉敷市史研究会	新修倉敷市史第 7 巻「現代」、倉敷の歴史 - 倉敷市史紀要 - 第 15 号
岡山県遺跡保護調査団事務局	調査団ニュース第 25 号～第 27 号
倉敷市立自然史博物館友の会	しぜんしくらしき No.50 ～ No.52
広島県	
（財）東広島市教育文化振興事業団	阿岐のまほろば vol.20 ～ vol.32、黄幡 1 号遺跡発掘調査報告書、史跡安芸国分寺跡発掘調査報告書Ⅵ～Ⅶ、四日市遺跡発掘調査報告書Ⅰ～Ⅱ、蛇迫第 1 ～ 4 号古墳・蛇迫遺跡発掘調査報告書、小西遺跡発掘調査報告書、城仏土居屋敷跡発掘調査報告書
（財）広島県教育事業団	ひろしまの遺跡第 96 号～第 98 号、みたち第 1 号古墳、牛の皮城跡・曽川 2 号遺跡、広島城跡（中堀跡）、三太刀遺跡（Ⅲ）、川高 2 号遺跡、曽川 1 号遺跡、曽川 1 号遺跡（A～D 地区）、大野郷遺跡、池ノ奥古墳、塔之原遺跡、年報 2、布掛遺跡・大槙神遺跡、槙山古墓
（財）安芸高田市地域振興事業団	郡山城跡周辺遺跡
府中市教育委員会	府中のあゆみ - 先人たちのいとなみ -、府中市内遺跡 8 ～ 9
尾道市教育委員会	市原 1 号遺跡・市原 2 号遺跡、尾道市内遺跡 2003 年度～ 2004 年度
広島県立歴史博物館	広島県立歴史博物館ニュース第 66 号
広島県立歴史民俗資料館	広島県立歴史民俗資料館研究紀要第 5 集、最上川・荒川・江の川の漁労用具、年報第 24 号～第 25 号、歴風第 39 号～第 41 号
広島大学文学部考古学研究室	金田石谷製鉄遺跡、帝釈峡遺跡群発掘調査室年報ⅩⅧ～ⅩⅨ
広島大学環境保全委員会埋蔵文化財調査室	広島大学東広島キャンパス埋蔵文化財発掘調査報告書 3
山口県	
山口県埋蔵文化財センター	陶けん第 18 号、井ノ山遺跡、宮迫神田遺跡・的場遺跡、銭屋遺跡、尾崎原遺跡・大里遺跡・北智雲院遺跡、傍示古墳群
山口県教育委員会	江良古墳群
下関市立考古博物館	あやらぎ No.14、一衣帯水の世界 - 古の日韓交流 -、下関市立考古博物館年報 10、研究紀要第 9 号
山口大学埋蔵文化財資料館	てらこや埋文創刊号～第 2 号、てらこや埋文第 6 号、古墳の世界 - 山口県の古墳を探る -、平成 15 年度山口大学埋蔵文化財資料館年報
徳島県	
（財）徳島県埋蔵文化財センター	井出上遺跡、庄（庄・蔵本）遺跡、真朱第 5 号、西原遺跡、大谷尻遺跡、中庄東遺跡、徳島城下町遺跡　中前川町 2 丁目地点、発掘された徳島の至宝
海部町教育委員会	芝遺跡
徳島大学埋蔵文化財調査室	常三島遺跡 1
香川県	
香川県埋蔵文化財センター	平成 15 年度香川県埋蔵文化財センター年報、平成 16 年度香川県埋蔵文化財センター年報、香川県埋蔵文化財センター研究紀要Ⅰ、花池尻北遺跡　西久保谷遺跡、原間遺跡、成重遺跡Ⅱ、西末則遺跡Ⅰ、前田東・中村遺跡Ⅱ、大堀城跡
（財）香川県埋蔵文化財調査センター	いにしえの讃岐第 45 号～第 48 号

高松市教育委員会	雨山南古墳群、奥の坊遺跡群Ⅲ、高松市内遺跡発掘調査概報、高松城跡（東町奉行所跡）、高松城跡（無量壽院跡）、史跡高松城跡地久檜台発掘調査概報平成14・15年度調査、松林遺跡、神高古墳群、神内家墓地石塔群、西ハゼ土居遺跡、多肥宮尻遺跡、日暮・松林遺跡、日暮・松林遺跡（済生会特養ホーム）
善通寺市教育委員会	史跡有岡古墳群（野田院古墳）保存整備事業報告書、善通寺市内遺跡発掘調査事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書8～9
丸亀市教育委員会	中ノ池遺跡 - 第11次調査 -、田村遺跡発掘調査報告書
さぬき市教育委員会	さぬき市内遺跡発掘調査報告書、蓑神古墳群
綾南町教育委員会	綾南町誌追補版、西村遺跡川北東地区発掘調査報告書
綾歌町教育委員会	綾歌町内遺跡発掘調査報告書第4集～第9集、快天山古墳発掘調査報告書、史跡名勝天然記念物調査報告第15、定連池東丘古墳群
香川県歴史博物館	香川県歴史博物館ニュース vol.22 ～ vol.26
愛媛県	
（財）愛媛県埋蔵文化財調査センター	湯築城だより7号～8号、愛比売 - 平成15年度年報 -、愛比売 - 平成16年度年報 -、紀要愛比売第5号、願連寺泉遺跡2次・願連寺元泉遺跡・願連寺建ヶ内遺跡、久枝Ⅱ遺跡2次・本郷Ⅰ遺跡、久枝遺跡・久枝Ⅱ遺跡・本郷Ⅰ遺跡、久枝遺跡・久枝Ⅱ遺跡・本郷Ⅰ遺跡、大開遺跡2次、大畑遺跡、長網Ⅰ遺跡・長網Ⅱ遺跡・実報寺高志田遺跡・福成寺遺跡・旦之上遺跡、道後町遺跡Ⅱ、務田遺跡
（財）松山市生涯学習振興財団	松山市埋蔵文化財調査年報16、宮前川流域の遺跡、古市遺跡・五楽遺跡、上苅屋遺跡、東本遺跡6次調査地・桑原遺跡2次調査地・桑原遺跡4次調査地
愛媛大学埋蔵文化財調査室	愛媛大学埋蔵文化財調査室年報 -2001・2002年度 -、愛媛大学埋蔵文化財調査室年報 -2003年度 -、発掘愛媛大学、文京遺跡Ⅲ、文京遺跡Ⅳ
高知県	
高知県教育委員会	高知県埋蔵文化財年報2、埋文こうち第18号
四万十市教育委員会	古津賀遺跡群
野市町教育委員会	上岡遺跡、深渕北遺跡
土佐山田町教育委員会	ひびのき岡ノ神母遺跡、久次遺跡・カリヤガノ地区、久次遺跡・林田地区、須江上段遺跡松ノ本地区、大塚遺跡Ⅱ
越知町教育委員会	女川遺跡、女川遺跡Ⅱ
大月町教育委員会	ムクリ山遺跡
吾川村教育委員会	加牟曽宇城跡
十和村教育委員会	川口新階遺跡ほか
赤岡町教育委員会	大東遺跡
香北町教育委員会	刈谷我野遺跡Ⅰ、仁井田遺跡
高知県立歴史民俗資料館	岡豊風日第54号～第56号、高知県立歴史民俗資料館年報 No.14
安芸市歴史民俗資料館	瓜尻遺跡
高知大学人文学部考古学研究室	朝倉古墳測量調査報告書
福岡県	
福岡市埋蔵文化財センター	福岡市埋蔵文化財センター年報第24号
小郡市埋蔵文化財調査センター	あるいてみようふるさと小郡の文化財、薩摩街道筑後国境石、薩摩街道筑後国境石2、三沢蓬ヶ浦遺跡3地点、三沢北中尾遺跡10Ａ地点、寺福童遺跡3、寺福童遺跡4発掘調査概報、小郡正尻遺跡4、小板井京塚遺跡3、福童町遺跡、力武前畑遺跡3、力武前畑遺跡7、力武町口遺跡
久留米市埋蔵文化財センター	まいぶん久留米第4号、わたしの縄文ライフ、久留米市埋蔵文化財調査集報Ⅶ、久留米市埋蔵文化財年報 vol.1、久留米城下町遺跡、玉満松木ソノ遺跡、市ノ上東屋敷遺跡、西牟田清導寺浦遺跡、筑後国三潴郡衙跡Ⅱ、筑後国府跡、筑後国府跡・国分寺跡、筑後国府通信 vol.1、二本木遺跡群Ⅱ、日渡遺跡群Ⅲ、福聚寺古墳群、平成16年度久留米市内遺跡群
（財）北九州市芸術文化振興財団	埋蔵文化財調査室年報21、紀要 - 第19号 -、宇土遺跡・朽網城跡、加治屋敷遺跡2、開善寺跡、朽網原遺跡第2地点、熊西遺跡、高見遺跡、黒崎城跡1、室町

	遺跡第7地点、室町遺跡第8地点、小倉城御花畠跡･新馬場跡、上清水遺跡Ⅷ区、真光寺遺跡1区、中貫ミカシキ遺跡2、中貫ミカシキ遺跡3、猪の谷遺跡、能行遺跡第2地点、冷水遺跡第3次･峠遺跡第3次･長野フンデ遺跡（6Ｄ区･6Ｅ区）
福岡県教育委員会	福岡県埋蔵文化財発掘調査年報 - 平成15年度 -、海津横馬場遺跡Ⅰ、西新町遺跡Ⅳ、東蒲地榎町遺跡、堂畑遺跡Ⅲ、日詰遺跡Ⅱ
福岡市教育委員会	福岡市埋蔵文化財年報 vol.18、井尻Ｂ遺跡14、浦江遺跡第5次調査2、浦江古墳群1号墳、下月隈Ｃ遺跡Ⅴ、兜塚古墳2、蒲田部木原7次、吉武遺跡群ⅩⅦ、久保園遺跡3、金武2、元岡・桑原遺跡群4、元岡・桑原遺跡群5、広瀬遺跡1、鴻臚館跡15、今山遺跡第8次調査、雑餉隈遺跡5、次郎丸高石2、西新町遺跡8、中南部（8）、長垂大谷遺跡、那珂37～40、博多101～105、麦野Ａ4、箱崎22～24、比恵38～41
北九州市教育委員会	高島遺跡第2次調査、潤崎遺跡第9地点
大野城市教育委員会	ヒケシマ遺跡、牛頸本堂遺跡群Ⅲ、牛頸野添遺跡群Ⅱ、御笠の森遺跡Ⅱ、大野城市の文化財第37集
筑紫野市教育委員会	トドキ遺跡Ⅲ、下見橋橋台確認調査、貝元遺跡2、国境石確認調査、太宰府条坊跡第155次発掘調査、竹敷遺跡第2次発掘調査、道徳遺跡
春日市教育委員会	春日市埋蔵文化財年報12、ウトグチ遺跡Ｂ地点、須玖タカウタ遺跡2、須玖永田Ａ遺跡2、野藤遺跡2
前原市教育委員会	邪馬台国の時代「伊都国」、ワレ塚古墳、潤地頭給遺跡、銭瓶塚古墳
大牟田市教育委員会	一般国道208号大牟田高田道路関係既存景観施設等調査報告書
若宮町教育委員会	中遺跡群Ⅲ、中遺跡群Ⅳ、中遺跡群Ⅵ　宮ノ下遺跡Ⅱ－1区・Ⅲ区
田主丸町教育委員会	益生田古墳群Ⅰ、殖木地区遺跡群Ａ地点･Ｂ地点　鷹取一条遺跡、殖木平田遺跡、清長橋古墳群、西館古墳、石垣高尾遺跡、千代久遺跡Ⅰ、千代久遺跡Ⅱ、船越一ノ上遺跡、船越宮ノ前遺跡Ⅰ、船越宮ノ前遺跡Ⅱ、船越高原遺跡、善院古墳群、善院古墳群Ⅱ、鷹取堺町遺跡、中原狐塚古墳、田主丸町遺跡等詳細分布調査報告書、豊城中ツブロ遺跡
北野町教育委員会	金島馬場遺跡、古賀ノ上遺跡3、古賀ノ上遺跡4、仁王丸古墳、大城中筒井遺跡、良積遺跡Ⅰ、良積遺跡Ⅳ
九州歴史資料館	九歴だより No.21～No.22、九州歴史資料館研究論集30、九州歴史資料館年報 - 平成16年度 -
福岡大学人文学部考古学研究室	韓国無文土器・原三国時代の集落構造研究、森貞次郎先生寄贈資料目録1
佐賀県	
佐賀県教育委員会	佐賀県文化財年報7～10
佐賀市教育委員会	原口遺跡、佐賀市埋蔵文化財確認調査報告書 -2002年度 -、寺小路遺跡、神野二本松遺跡、徳永遺跡23区、平尾二本杉遺跡Ⅴ、平尾二本杉遺跡Ⅵ、薬師丸五本柳遺跡・園田遺跡
唐津市教育委員会	岸岳城跡Ⅱ、佐志中通遺跡（3）、菜畑内田遺跡（5）、星賀城塞群Ⅰ、川頭遺跡･半田引地遺跡、唐津市内遺跡確認調査（21）、唐津城跡（Ⅳ）
鎮西町教育委員会	前田利家陣跡
神埼町教育委員会	花浦古墳群野、吉ヶ里遺跡、姉川城跡、船塚遺跡Ⅱ、塚原一の角遺跡、的遺跡、日の尺池古墳群、本堀朝日遺跡Ⅲ区
肥前町教育委員会	赤坂Ⅲ遺跡、太田遺跡
佐賀県立名護屋城博物館	日韓交流史理解促進事業調査研究報告書
長崎県	
鷹島町埋蔵文化財センター	鷹島海底遺跡Ⅺ
長崎市教育委員会	シーボルト宅跡調査報告書、シーボルト宅跡発掘調査概報、深堀遺跡、神浦城跡発掘調査報告書
熊本県	
宇土市教育委員会	宇土城跡（西岡台）Ⅶ、宇土城跡（西岡台）Ⅷ、轟貝塚・馬門石石切場跡

大分県	
大分県教育庁埋蔵文化財センター	大分県埋蔵文化財年報13、大分県内遺跡発掘調査概報8、賀来西遺跡　宮苑井ノ口遺跡、坂手隈横穴墓　坂手隈城跡、津久見門前遺跡　瀬戸遺跡　佐伯門前遺跡、豊後府内1～2、北友田横穴墓群、大分県の中世城館第四集総論編
日田市埋蔵文化財センター	穴観音古墳Ⅱ、古屋敷遺跡、吹上Ⅲ、大波羅遺跡3次、中尾原遺跡、朝日天神山古墳群、平成15年度～平成16年度日田市埋蔵文化財年報
大分市教育委員会	大分市埋蔵文化財調査年報vol.1～vol.15、永興千人塚古墳発掘調査報告書、下郡遺跡群Ⅲ、下志村遺跡、駕来西遺跡、海部の遺跡1、玉沢地区条里跡第3次発掘調査報告、玉沢地区条里跡第8次発掘調査報告、金谷迫遺跡発掘調査報告書、古国府遺跡群・上七曾子遺跡、大分市市内遺跡確認調査概報-2003年度-、大分市市内遺跡確認調査概報-2004年度-、大友府内5、鶴崎町遺跡群（三軒町）、鶴崎町遺跡群（堀川）、東田室遺跡2、府内城・城下町遺跡-第15次発掘調査概報-
中津市教育委員会	2005年度中津地区遺跡群発掘調査概報18、ボウガキ遺跡・福島遺跡棒垣地区・福島遺跡西入垣地区、沖代地区条里跡・上安地区・竹ノ下地区・中津城本丸南西石垣（Ⅳ）、黒水遺跡拝香地区、定留遺跡・八反ガソウ地区発掘調査報告書、定留遺跡田畑地区、塔ノ熊廃寺
大分県立歴史博物館	おおいた歴博No.18～No.19
宮崎県	
宮崎県埋蔵文化財センター	宮崎県埋蔵文化財センター年報第9号、永牟田第1遺跡、虚空蔵免遺跡・赤石・天神本遺跡、銀座第1遺跡、銀座第2遺跡、向原第1遺跡、市納上第1遺跡・市納上第4遺跡、西ノ別府遺跡、前ノ田村上第1遺跡、天神本第2遺跡・大内原遺跡、東九州自動車道（都農～西都原）関連埋蔵文化財発掘調査概要報告書Ⅴ、尾小原遺跡（二次調査）、老瀬坂上第3遺跡
日南市教育委員会	平成15年度～平成16年度日南市内遺跡発掘調査概報
高岡町教育委員会	肱畔遺跡、高岡町内遺跡X、高岡麓遺跡（12地点）、史跡穆佐城跡、茶薗堀遺跡・吹上遺跡・瀬ノ上遺跡、八反田・川子地区墓地群　八反田遺跡
田野町教育委員会	本野原遺跡二
都城市教育委員会	横市地区遺跡群、久玉遺跡、郡元地区遺跡群、江内谷遺跡、今房遺跡、築池遺跡・十三束第2遺跡、中央東部地区遺跡群、鶴喰遺跡、都城島津家領の唐人町周辺の遺跡、馬渡遺跡、平田遺跡A地点・B地点・C地点
鹿児島県	
鹿児島県立埋蔵文化財センター	埋文だより第38号～第40号
鹿児島県教育委員会	先史・古代の鹿児島（資料編）
垂水市教育委員会	柊原貝塚、柊原貝塚Ⅱ
鹿児島大学埋蔵文化財調査室	鹿児島大学埋蔵文化財調査室年報19
沖縄県	
沖縄県立埋蔵文化財センター	沖縄県史各論編2考古（CD-ROM）
その他	
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会	公立埋文協会報第33号～第36号
全国埋蔵文化財法人連絡協議会	全国埋文協会報No.67～No.69
文化環境研究所	カルチベイトNo.25～No.27、文環研レポート第22号
日本考古学協会	第3次埋蔵文化財白書
（株）講談社	ビジュアル日本の合戦No.10、ビジュアル日本の合戦No.39
（株）国際航業	文化遺産の世界17号20号
（株）テイケイトレード	山王A遺跡
（株）共同開発	御殿前遺跡
（株）イビソク	平安京左京二条四坊五町跡
（株）京都科学	ミュージアムワークスvol.17

平成18（2006）年度

Ⅰ 組　織

埋蔵文化財センターは、文化財保護課の一施設として、市域内の埋蔵文化財に係る業務を一括して担当している。平成18年度における埋蔵文化財センターの組織及び人員は下記のとおりとなっている。

倉敷市教育委員会 ― 生涯学習部 ― 文化財保護課 ― **埋蔵文化財センター**

文化財保護課	課　長	浅野 弘文
埋蔵文化財センター	館　長	福本　明
〃	主　任	鍵谷 守秀（科学センター主任兼務）
〃	主　任	小野 雅明
〃	臨時職員	清水 紀子
〃	〃	岸本 佳与
〃	〃	森　圭子

（職名等は平成19年3月31日現在）

Ⅱ 事業の概要

1．調査事業

(1) 事前協議　Fax等による埋蔵文化財包蔵地照会は、340件あり、開発指導要綱に基づく事前協議の件数は、前年度比12件増の175件であった。埋蔵文化財包蔵地に係る件数は少ないとは言え、依然として増加傾向にあることがわかる。

(2) 発掘調査　平成18年度は本発掘調査１件、確認調査９件、立会調査14件を実施した。前年度に少なかった反動か、件数は前年の4倍となっている。本発掘調査を行った児島塩生の溝落遺跡では、堆積土中からの検出ではあるが、縄文時代の土器・石器が多数出土した。また、消防機庫建設にともなって実施した塩生遺跡の調査では、製塩に関係すると考えられる粘土張りの土坑を確認している。立会調査は前年に比べ10件増加し、その３分の２は公共事業に伴うものであった。

(3) 分布調査　昨年度に引き続き真備・船穂地区の調査の予定であったが、発掘調査の増加に伴い、人手が不足したため、分布調査を実施できなかった。来年度は目標値を設定し、発掘調査とバランスをとりつつ、分布調査を進めていく必要がある。

(4) 整理作業　今年度実施した溝落遺跡発掘調査で出土した遺物について、洗浄・註記・復元・等の作業を行った。また、横内北窯跡群１号等の遺物について、報告書作成にむけた復元・実測・トレース等を行った。

2．教育普及事業

(1) 主催講座等　春の遺跡見学会など、延べ8回の講座等を実施。延べ参加人数1,823人。

講座名	実施日	講座内容	参加人数
春の遺跡見学会⑪	5/14（日）	真庭市南部の遺跡めぐり	33人
考古学体験講座	7/29（土）	古代の勾玉をつくろう！	24人
ライフパークの集い	8/20（日）	ドキドキ発掘体験	1,650人
考古学体験講座	10/28（土）	古代の耳飾りをつくろう	8人
秋の考古学講座 「真備の古代史を学ぶ」	10/29（日）	真備町の前期古墳	40人
〃	11/5（日）	巨石墳－箭田大塚古墳の発掘調査	27人
〃	11/12（日）	吉備真備とその時代	28人
親子考古学教室	11/18（土）	土器で古代米を炊こう！	13人

(2) 出前講座等講師派遣　古代の土笛づくり等、延べ17回の派遣。延べ参加人数805人。

派遣内容	開催日	依頼団体	参加人数
博物館学実習	5/10（水）	倉敷芸術科学大学	45人
古代文化体験教室	5/12（金）	倉敷市立倉敷東小学校	47人
ドキドキ発掘体験	5/16（火）	二福小学区ひまわりの会	50人
古代の土笛づくり	5/26（金）	倉敷ふれあい教室倉敷中央分室	12人
古代文化体験教室	6/8（木）	倉敷市立西阿知小学校	72人
古代文化体験教室	6/9（金）	倉敷市立西阿知小学校	69人
古代の生活を体験してみよう	6/18（日）	倉敷市立味野小学校 PTA	126人
古代の土笛づくり	7/22（土）	茶屋町5町内子ども会	28人
古代の土笛づくり	7/25（火）	四福小学校児童クラブ	43人
古代の土笛づくり	7/28（金）	四福小学校児童クラブ	42人
古代の土笛づくり	8/6（日）	なかがたキッズ	21人
古代の土笛づくり	8/23（水）	茶屋町児童育成ゆめっこクラブ	35人
古代の土笛づくり	8/24（木）	茶屋町児童育成ゆめっこクラブ	45人
古代の装飾品 - 勾玉 - を作ろう	8/25（金）	水島公民館	27人
古代の土笛づくり	8/29（火）	元気ほいだっこクラブ	19人
備中倉敷学	10/21（土）	観龍寺	80人
古代の話あれこれ	12/23（土）	玉島百働会	46人

(3) 報告書等の刊行

倉敷市埋蔵文化財発掘調査報告第12集「横内北窯跡群1号　下庄遺跡　上東遺跡」
A4判　本文59頁　図版18頁　600部　平成19年3月刊行

(4) 資料の貸出

	貸出期間	資料名	貸出先	使用目的
1	8月10日～10月6日	楯築遺跡 カラースライド1点	(株) 吉備人	『岡山検定』公式テキストに掲載
2	9月29日～11月30日	楯築遺跡 カラースライド1点	(株) デコ	『邪馬台国トラベルガイド50』に掲載
3	10月25日～11月25日	板谷コレクション 弥生土器プリント1点	(株) 吉備人	吉備考古ライブラリィ『吉備の弥生集落』に掲載

3. 寄贈資料

平成18年度には下記の考古資料の寄付を受けた。

寄贈日	寄贈者名	資料名	点数
平成18年7月27日	新谷郁世	酒津地区出土の考古資料	61点
平成18年10月8日	片山新助	古代瓦等の考古資料	45点

4. 利用者数

展示・講座等を含めた平成18年度の利用者数は下表のとおりである。総利用者数は14,530人で、昨年度と比較して13%の増となった。これは、昨年度以上に積極的に展示室への子ども向け器具を設置したことに加えて、出前講座の実施回数が増加したことが要因である。

《平成18年度月別利用者数》

月	大人	子ども	講座等	計	開館日数	1日平均利用者数
4	426	461		887	25	35
5	558	487	187	1,232	24	51
6	467	486	267	1,220	26	47
7	611	567	137	1,315	25	53
8	1,697	2,029	147	3,873	27	143
9	444	516		960	24	40
10	402	454	128	984	25	39
11	477	413	68	958	24	40
12	249	185	46	480	22	22
1	372	420		792	22	36
2	464	354		818	23	36
3	517	494		1,011	26	39
合計	6,684人	6,866人	980人	14,530人	293日	49.6人

Ⅲ 教育普及事業報告

1．春の遺跡見学会⑪
～真庭市南部の遺跡めぐり～

日　時　平成18年5月14日（日）
講　師　小野雅明（倉敷埋蔵文化財センター）
対　象　一般
参加者　33人

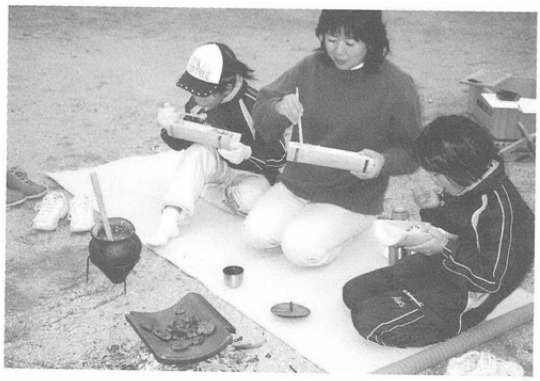
古代において大和勢力と深いつながりを示す遺跡が集中している旧北房町地域の遺跡見学を行った。当日は晴天に恵まれ、きれいに整備された大谷1号墳をはじめ、定東塚・西塚古墳、定北古墳などの終末期の古墳を見学したのち、白鳳時代創建の英賀廃寺を訪れた。また北房町ふるさとセンターと真庭市北房支局では、大谷1号墳をはじめ周辺の遺跡から出土した考古資料を見学することができ、見ごたえのある内容で参加者からも好評をいただいた。

2．ライフパークの集い
～ドキドキ発掘体験～

日　時　平成18年8月20日（日）
会　場　倉敷埋蔵文化財センター「遺物整理室」
対　象　一般
参加者　1,650人

毎年、当センターの年間入館者数の一割以上を稼ぐイベントであり、今年も砂箱からミニチュアの土器や埴輪を掘り出す「ドキドキ発掘体験」は大盛況であった。抽選でもらえる滑石で作ったアクセサリーも相変わらずの人気で、これを目当てに何度も発掘体験に挑戦する子どもたちで賑わった。

3．親子考古学教室
～土器で古代米を炊こう！～



日　時　平成18年11月18日（土）
講　師　鍵谷守秀・小野雅明（倉敷埋蔵文化財センター）
対　象　小学校高学年と保護者
参加者　13人

昨年度までは夏休みに実施していたが、今年度はアンケート等で要望の多かった秋に行った。赤米入りのご飯を土器で炊いたほか、縄文風ハンバーグ作りに挑戦した。くるみ・鳥ミンチ・どんぐり粉・うずら卵を混ぜたものを一口サイズにし、熱した瓦の上で焼くのだが、クルミが香ばしくクッキーに似た食感で、参加者全員に好評であった。

4．秋の考古学講座

真備町の古代史を学ぶ～古墳時代と吉備真備～

日　時　平成18年10月29・11月5・12日（日）
講　師　第1回　松木武彦（岡山大学大学院）
「真備町の前期古墳」
第2回　中野雅美（岡山県古代吉備文化財センター）
「巨石墳 - 箭田大塚古墳の発掘調査 -」
第3回　高見茂（古代史研究家）
「吉備真備とその時代」
会　場　ライフパーク倉敷「視聴覚ホール」
対　象　一般
参加者　95人（延べ人数）

吉備真備を輩出した下道氏ゆかりの地である真備町の古代文化をテーマとして3回の講演を開催した。

第1回は、松木武彦氏による真備町の前期古墳についての講演をお聞きした。現在、岡山大学による「雄略朝プロジェクト」の一環として、古墳前期の遺跡については同氏を中心に研究が進められている。真備町では、天狗山古墳、勝負砂古墳、竜王塚古墳の調査が行われており、これまでの成果とその歴史的評価について解説された。また、当地域の前期古墳の特色を論じ、来年行われる勝負砂古墳の埋葬主体の発掘調査について期待と抱負が語られた。

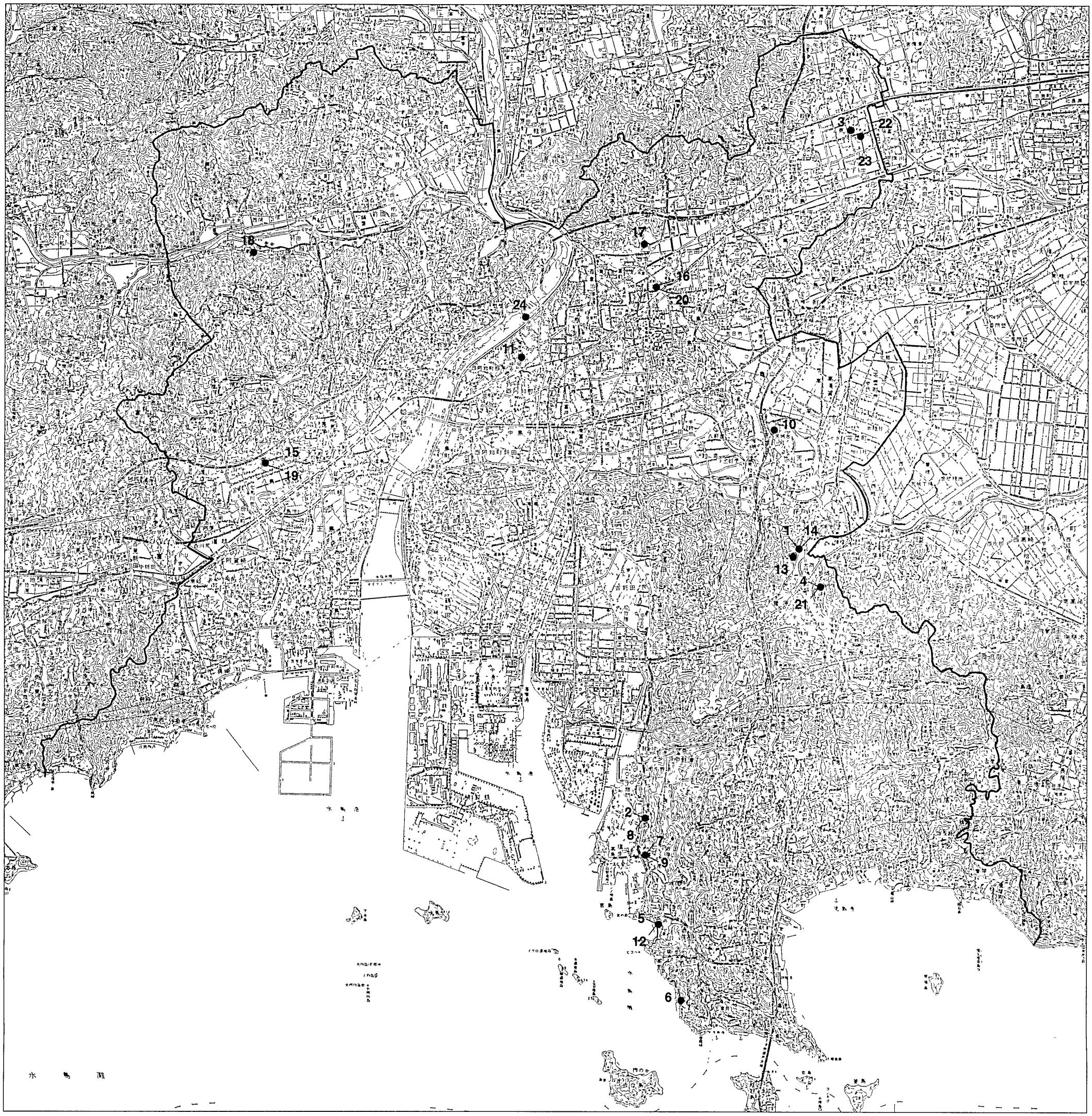
第2回は、吉備の三大巨石墳の一つである箭田大塚古墳の発掘調査を担当された中野雅美氏の講演である。同古墳の調査記録は明治34年にさかのぼり、円筒埴輪が4重にめぐり、周溝をもつ姿が描かれている。その後、地形の改変により、旧状を留めている部分は少ないが、調査結果から張り出しをもつ円墳の可能性が高いことがわかった。出土遺物の一部を会場に陳列すると、珍しい人物埴輪に参加者の関心が集まった。

第3回は、真備町在住の古代史研究家高見茂氏の講演をお聞きした。矢掛町出土の真備の祖母の骨蔵器について、早くから火葬を採用したこと、中国の新字「圀」の字が用いられていることなどは、出自の下道氏の先進性を示すと説いた。中国に二度も渡航して最新の文化を学び、右大臣として国政を支えた吉備公を平安時代の菅原道真と対比させて人物像を浮き彫りにした。

Ⅳ 調査事業報告

平成18年度調査一覧表

No.	遺跡名	該当地	調査原因	区 別	調査期間	調査結果
1	柿ノ木遺跡	串田	下水道工事	立　会	06.04.07	遺物・遺構なし
2	溝落遺跡	児島塩生	消防署建設工事	確　認	06.05.03 ～ 06.06.02	縄文土器・石器
3	上東遺跡	上東	宅地造成工事	〃	06.05.18	弥生土器・中世土器
4	新熊野山遺跡	林	石垣改修工事	立　会	06.06.13	遺物・遺構なし
5	通生遺跡	児島通生	アパート建設工事	確　認	06.06.13 ～ 06.06.14	縄文土器・石器
6	大室遺跡	下津井	水道管改修工事	立　会	06.06.27	遺物・遺構なし
7	塩生遺跡	児島塩生	消防機庫建替工事	確　認	06.06.30 ～ 06.07.05	粘土遺構・製塩土器
8	溝落遺跡	児島塩生	消防署建設工事	本調査	06.07.06 ～ 06.08.31	縄文土器・石器
9	塩生遺跡	児島塩生	消防機庫建設工事	確　認	06.08.01	製塩土器・中世土器
10	川子岩貝塚群３号	藤戸町天城	下水管埋設工事	立　会	06.08.10	遺物・遺構なし
11	西阿知遍照院遺跡	西阿知町	本堂建替工事	〃	06.08.30	〃
12	通生遺跡	児島通生	浄化槽埋設工事	〃	06.09.06	〃
13	大坪遺跡	串田	下水管埋設工事	〃	06.09.08	〃
14	柿ノ木遺跡	串田	水道管移設工事	〃	06.09.08	〃
15	亀山遺跡	玉島八島	水道管移設工事	〃	06.09.26	〃
16	浜町遺跡	浜町	アパート建設工事	確　認	06.10.24 ～ 06.10.25	中世土器片
17	西岡貝塚	西岡	道路改修工事	立　会	06.11.21・ 06.11.24	遺物・遺構なし
18	真備町366遺跡	真備町服部	水路改修工事	〃	06.12.08	〃
19	亀山遺跡	玉島八島	携帯電話基地局建設工事	〃	06.12.22	〃
20	浜町遺跡	浜町	アパート建設工事	〃	07.01.26	〃
21	新熊野山遺跡	林	長床拝殿再建工事	確　認	07.02.20	中世土器片
22	上東遺跡	上東	宅地造成工事	〃	07.02.21	土坑・弥生土器片
23	上東遺跡	上東	宅地造成工事	立　会	07.03.06	土坑３・pit2
24	水江遺跡	水江	架橋工事	確　認	07.03.13 ～ 07.03.14	土師器



調査地点位置図（S=1/100,000）

上東（じょうとう）遺跡確認調査報告（一覧表 No.3）

調査位置　上東字神光寺654番1
調査原因　宅地造成工事　　**調査面積**　4㎡
調査期間　06.05.18　　**調査担当**　鍵谷・小野

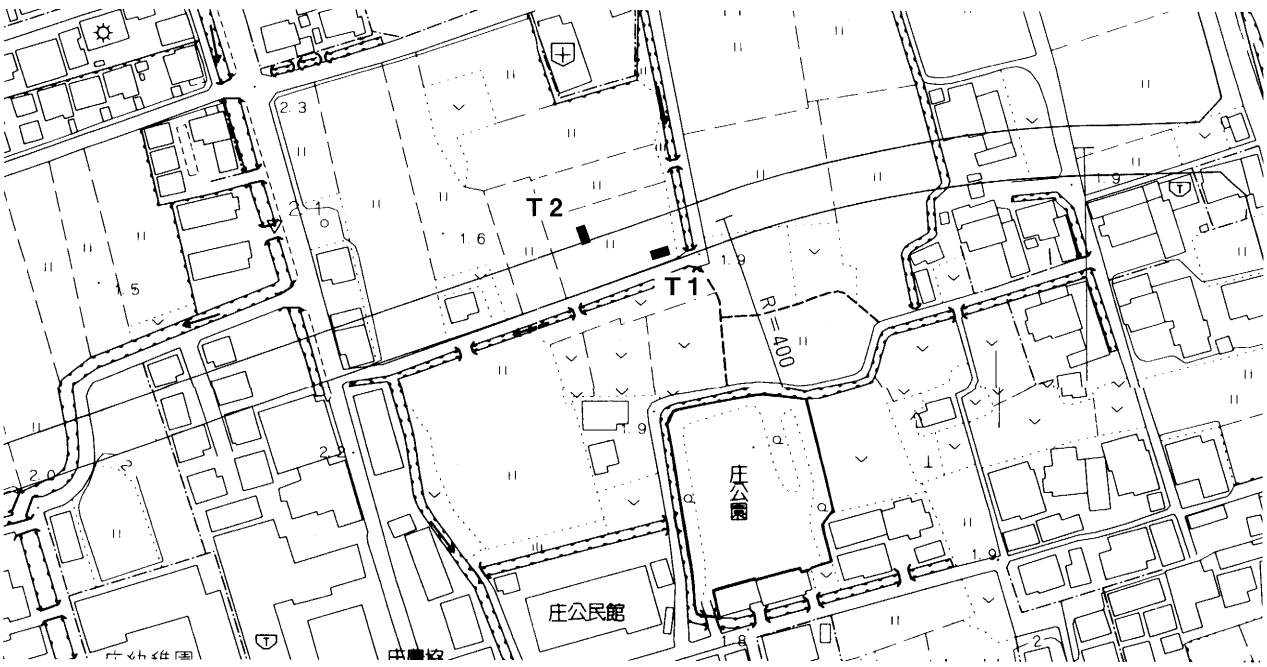
遺跡の概要　上東遺跡は足守川によって形成された沖積地に立地する集落遺跡である。弥生時代後期を中心とし、旧石器時代から中世までの各時期の遺構・遺物が確認されている。今回の調査地の南100ｍの庄公民館改築工事に伴う確認調査では、微高地が確認され、弥生時代遺物が出土している。

調査の概要　調査地は、倉敷市上東の水田地帯に位置する。近年、このあたりの水田は徐々に埋め立てられ、急速に宅地化が進んでいる。当該地も宅地・道路に取り囲まれた水田であったが、周囲との段差を埋めるために高さ30㎝くらい盛土造成が行われていた。ここに、２×１ｍのトレンチを２カ所設定し、土層の断面観察を中心に調査を実施した。

トレンチ１は工事計画区域内の東に設定したものである。水田耕作土、床土の下には弥生時代の遺物を少量含む灰色土がみられる。この層を切ってオリーブ灰色土が入り込んでいるのが確認されたが、土質などから撹乱層と思われる。その下、標高約1.1ｍで弥生時代の基盤層である灰黄色土が検出された。その下には固く締まった粘質土層が続く。明瞭な遺構は検出されていない。

トレンチ２は工事計画区域内の西に設定したものである。水田耕作土の下には中世の遺物を含むにぶい黄橙色土がみられる。その下、標高約1.0ｍで弥生時代の基盤層である灰黄色土が検出された。その下には固く締まった粘質土層が続いている。トレンチ２でも遺構は検出されていない。

以上のように、今回の調査では弥生～中世の遺物包含層、弥生時代の基盤層が検出された。先述のとおり、これより100ｍ南に位置する庄公民館の北側駐車場でも弥生時代の遺跡が確認されており、同一の微高地上に立地している可能性が考えられる。　（小野）



トレンチ位置図（S=1/2,500）

通生（かよう）遺跡確認調査報告（一覧表 No.5）

調査位置　児島通生字浜989番1外
調査原因　共同住宅建設工事　　**調査面積**　8㎡
調査期間　06.06.13～06.06.14　　**調査担当**　鍵谷・小野

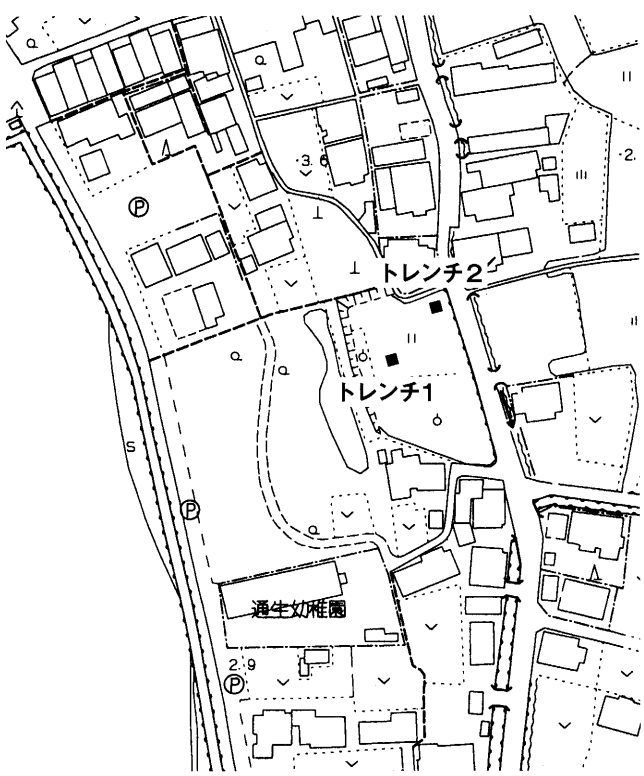
遺跡の概要　通生遺跡は南北に延びる砂洲上に立地する製塩遺跡で、古墳時代の師楽式製塩土器が散布することが知られている。これまでに正式な調査が行われた事はなく、遺跡の正確な範囲や内容についてはあまり明らかになっていない。

調査の概要　今回の開発予定地は、遺跡のほぼ中央部東端にあたる、面積約730㎡の荒れ地である。調査は、開発予定区域内の北東部及び南西部に２×２ｍのトレンチをそれぞれ１カ所ずつ設定し、断面観察を中心に行った。

開発区域の南西部にトレンチ１を設定した。約20㎝の耕作土の下には、灰黄褐色及び燈色の硬質土が認められる。この硬質土は、かつて水田耕作が行われていた際水抜けを防止するための造成土と思われる。この下には、厚さ15㎝程度の灰黄褐色の細砂層が存在する。部分的にマンガン（Mn）の沈着が認められるこの層には、縄文時代中期の土器及びサヌカイト片が比較的多く含まれている。この下には黄色系の砂層が２層続くが、遺物等は出土しておらず、自然堆積層と思われる。なお、地表下約0.7ｍで湧水により調査不能となった。

開発区域の北東部にトレンチ２を設定した。基本的な層序はトレンチ１と同様であるが、トレンチ２では、造成土直下に硬く締まった灰黄褐色の砂質土層が認められた。砂の色・細かさはトレンチ１の灰黄褐色細砂層に酷似するが、直上の造成土と同様非常に硬く締まっており、造成時に撹乱を受けたものと思われる。この層からは須恵器片、サヌカイト片等が少量出土している。この下の黄橙色砂層からは縄文土器片が１点出土しているが、上層からの混入の可能性がある。最下層はマンガン（Mn）の沈着が著しい黄橙色の砂層で、トレンチ１と同様地表下約0.7ｍで湧水により調査不能となった。

調査の結果、トレンチ１付近においては、縄文中期の土器とサヌカイト片を含む遺物包含層が残存していることが確認された。一方トレンチ２付近では、この包含層が水田造成時に既に撹乱を受けている可能性が高いと思われる。なお、通生遺跡は師楽式製塩土器が散布する古墳時代の遺跡として周知されていたが、今回の調査により、縄文時代の遺物も出土することが明らかとなった。（鍵谷）



トレンチ位置図（S＝1/2,500）

塩生（しおなす）遺跡確認調査報告（一覧表 No.7・9）

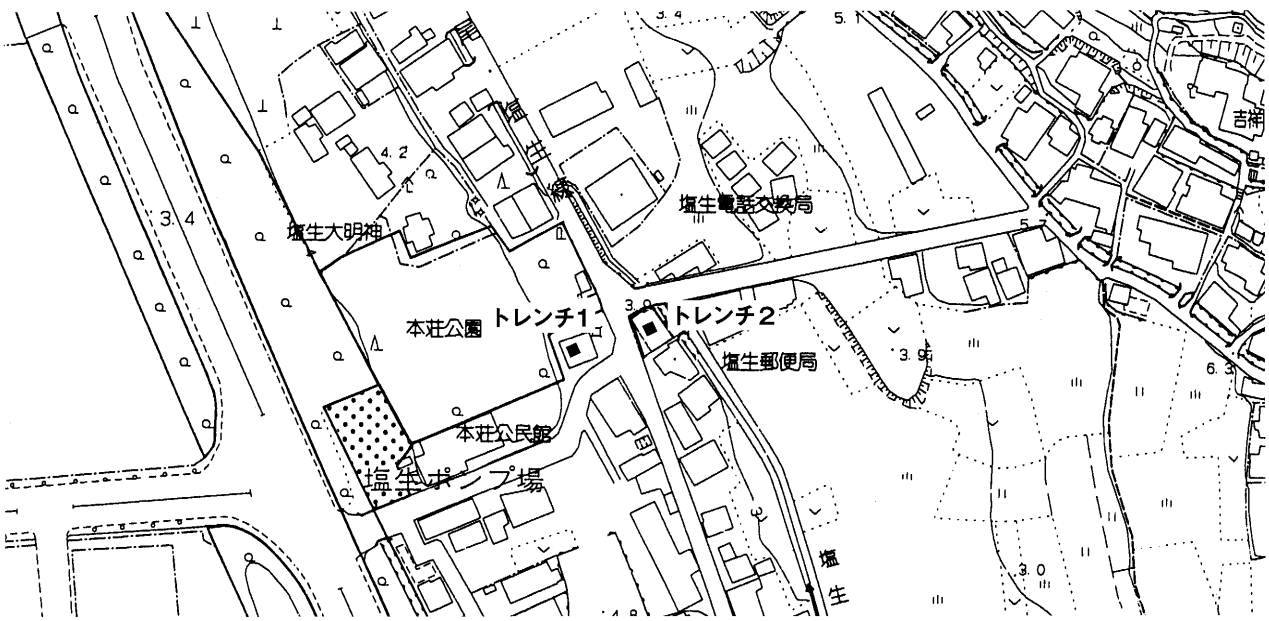
調査位置	児島塩生1945番2外		
調査原因	消防機庫建替工事	**調査面積**	4㎡
調査期間	06.06.30・06.07.05 06.08.01	**調査担当**	福本・鍵谷 小野・藤原憲

遺跡の概要　塩生遺跡は、弥生時代から中世にかけての製塩遺跡であるが、特に古墳時代の師楽式製塩土器を多く出土する遺跡として知られている。かつて児島の西岸に南北に細長く延びていたと思われる砂洲上に立地しているが、現在ではその多くが宅地化され、遺物の採集も困難な状況となっている。

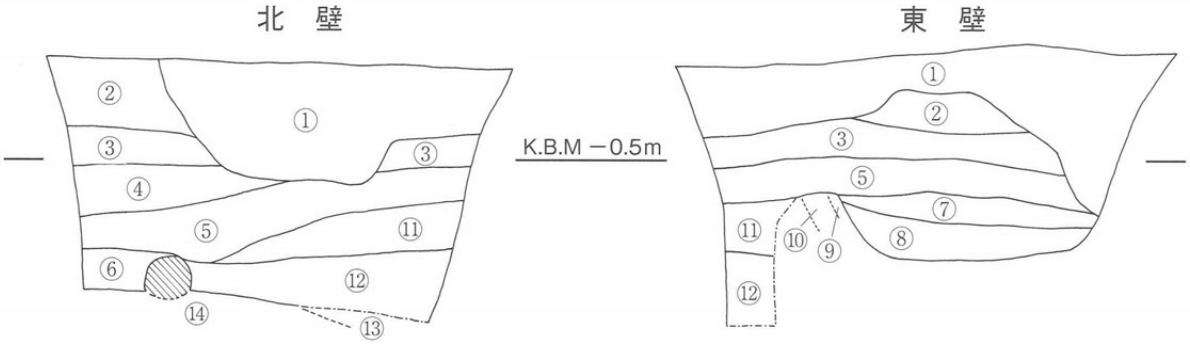
調査の概要　まず、現在ある消防機庫を撤去した後、建替予定地に２×２ｍのトレンチを１カ所（トレンチ１）設定し調査を実施した。その結果、製塩に関係すると思われる中世の遺構が確認されたため、この場所での建て替えを中止し、次に約25m東へ行った地点に同様のトレンチを１カ所（トレンチ２）設定し、土層観察を中心に調査を行った。以下、トレンチごとにその概要を述べる。

トレンチ１　地表下約30cmまでは、消防機庫建設時のものと思われる造成土が見られる。それを切り込むように建物撤去時の撹乱土が見られ、その深さは部分的に60cmにまで及んでいる。これらの造成土及び撹乱土の下には、暗褐色の砂質土が約15cmの厚みでほぼ水平に堆積している。この下は、黒褐色～暗褐色を呈する砂質土（④・⑤・⑪層）が、東から西へ向かって緩やかな傾斜をもって堆積している。

この⑪層を切り込んで、トレンチ東端において粘土を貼った土坑状の遺構（以下「粘土遺構」と呼ぶ）を１基検出した。貼られている粘土は、厚さ５cm程度の硬化した褐灰色粘土（内側）と厚さ10cm程度の灰色粘土（外側）とに分層できる。大部分がトレンチ外へ延びているため、この粘土遺構の大きさや全体の形状等については明らかでない。また、遺構内の埋土に遺物が含まれておらず、その時期を



トレンチ位置図（S=1/2,500）



① 撹乱土
② 造成土
③ 暗褐色砂質土
④ 暗褐色砂質土(やや硬質)
⑤ 黒褐色砂質土
⑥ 黒褐色砂質土(小礫を含む)
⑦ 黒褐色粗砂
⑧ 黒褐色砂質土(炭を少し含む)
⑨ 褐灰色粘土　(硬質)
⑩ 灰色粘土
⑪ 黒褐色砂質土
⑫ 黄橙色砂　(黒色のしみ込み有)
⑬ 暗黄橙色砂(無遺物層？)
⑭ 黄色砂　(無遺物層)

トレンチ１ 北壁・東壁断面図（S＝1/30）

特定することはできないが、⑪層には古墳時代の製塩土器に混ざって中世土器片（亀山焼）が含まれていることから、おおむね中世頃のものと考えられる。

トレンチ１東壁

地表下約70cmで、トレンチ西壁に沿うように並べられた石列が検出された。石列は一段で、長さ30cm程度の石材を西側がほぼ一直線になるように並べている。周囲に崩れた石材が全くないことから、もともと一段の石列であったと思われる。使用されている石は全て花崗岩で、いずれも火を受けたように赤く変色しており、劣化が激しく表面がボロボロになっているものもある。石列上面と粘土遺構上面とでは約20cmの比高差があるが、層位的にはほぼ同時期のものと考えられることから、この石列は粘土遺構に伴う何らかの施設の一部である可能性が高い。

トレンチ１遺構平面図
（S＝1/30）

平成５年に、今回の調査地から約50m南の地点において実施した確認調査[1]では、粘土を貼った土坑２基と同じく粘土を貼った炉跡が１基検出されている。土坑は、直径2.1～2.3m、深さ80cm程度の円形で、中世の鹹水溜土坑と考えられている。一方、炉跡は底部のみの残存であったが、検出面で1.9×1.2mを測り、内面はよく焼けて黒色を呈していた。この炉跡は、鹹水を容器に入れて煎熬するための施設と考えられ、鹹水溜土坑とセット関係でとらえられている。

今回出土した粘土遺構は、貼られた粘土の厚さや形状等から前回確認されたような炉跡と思われるが、検出部分がごく一部であるため、鹹水溜土坑など粘土を貼った他の遺構の可能性もある。いずれにしても中世における製塩に関係する遺構と思われ、前回の調査と併せて考えるなら、そうした遺構

がこのあたりに良好な状態で残存している可能性が高い。

トレンチ２　当該地には、以前郵便局が建っていたということであり、②層はその建築時の造成土、①層は建物撤去に伴う撹乱土と思われる。この造成土の下には2層の灰褐色土（③・④層）が認められ、その下は黒褐色の砂質土（⑤層）となる。③～⑤層には、古墳時代の製塩土器片が含まれているが、その量は少ない。⑤層の下は、褐色～橙色を呈する砂質が強い土層（⑧・⑨層）となり、遺物も含まれていないことから、遺跡のベースとなる砂層と考えられる。このベースと思われる砂層は、先に確認調査を実施した25m程西の地点と比べて標高で約50cm低く、また、土層自体も南西から北東に向けて下がっており、今回のトレンチの位置が、南北に細長く延びる砂洲の東端に近い部分であることを示している。

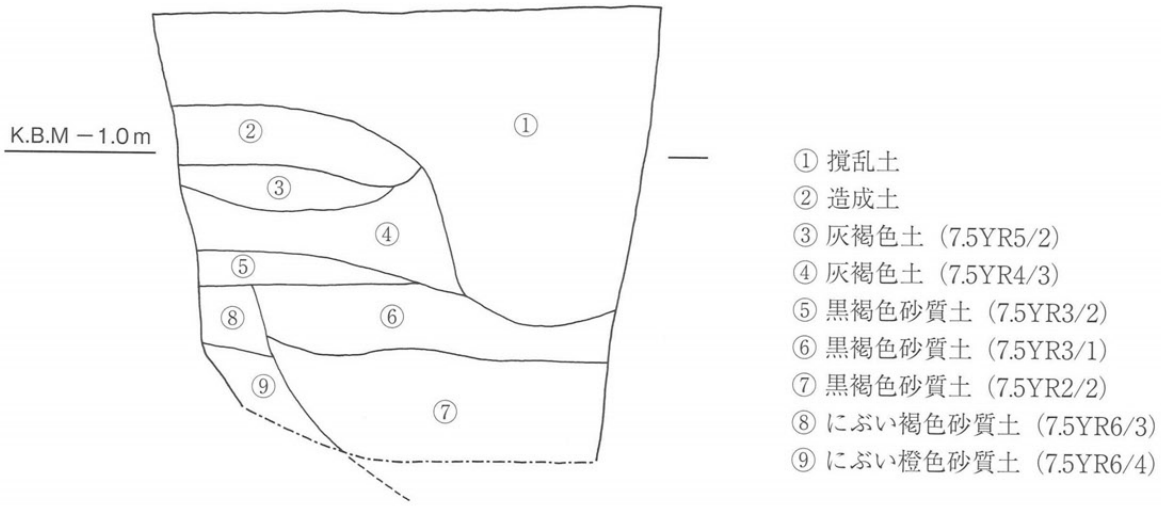
トレンチ１北壁

トレンチ１石列検出状況

なお、ベースとなる砂層の上に堆積している⑥・⑦層については、当初⑤層に続く黒褐色砂質土として掘り下げを行っていたが、トレンチ断面精査の段階で、ベース面に切り込む土坑状の遺構であることが判明した。断面崩落の危険があったため底まで完掘しておらず、また、東側はトレンチ外へ延びているため、その形状や大きさについては不明である。遺構内の堆積土である⑥・⑦層からは、古墳時代の製塩土器片と中世土器片がわずかに出土している。

（鍵谷）

註（１）　小野雅明「塩生遺跡発掘調査報告」『倉敷埋蔵文化財センター年報１』1994



トレンチ２北壁断面図（S＝1/30）

溝落（みぞおち）遺跡発掘調査概要（一覧表 No.2・No.8）

調査位置　児島塩生字金浜大開2946番地3外
調査原因　消防署建設工事　　**調査面積**　550㎡
調査期間　06.05.03～06.06.02　　**調査担当**　福本・小野
06.07.06～06.08.31

遺跡の概要　溝落遺跡は、児島半島の西岸、水島灘に面した丘陵裾部に位置する。標高は10m前後で、真下の旧海岸には古墳時代製塩遺跡で知られる金浜遺跡が存在する。背後には険しい斜面が迫っているが、溝落遺跡の周辺だけは畑作や水田耕作も行われるほど緩かな傾斜地となっている。今回の工事に伴いボーリング調査を行ったところ、厚さ10m以上の堆積層が確認された。山の斜面が浸食され、流れ出た土砂が谷間を埋めてこのような緩傾斜地が形成されたと考えられる。

調査の概要　平成18年5月から6月にかけて溝落遺跡の確認調査を行った結果、工事予定区域の南端で遺物包含層が確認され、この部分を対象に発掘調査を行うこととした。発掘調査は、調査区の西半分（海側）を1区、東半分（山側）を2区とし、はじめに1区を調査した後、その場所を土置場として2区の調査を行った。以下、それぞれの概要を述べる。

1区の調査　先に実施した確認調査では、表土直下の堆積層を中心に縄文時代等の遺物が出土しているため、この土層を人力で慎重に掘り下げた。遺物の取り上げについては、二次堆積層に含まれるものであるため出土地点の詳細な記録は行わず、調査区を田の字に4分し、各地区ごとに厚さ約20cmずつ掘り下げて出土傾向をおおまかに把握しながら進めていった。その結果、地区別にみると遺物

調査地位置図（S=1/5,000）

の出土量には偏りが認められ、斜面下方の南西区と北西区からより多くの縄文時代遺物が出土した。北東区では旧水田が確認され、また、北西区にはかつて野小屋が建てられており、遺物包含層が撹乱されていた。南東区と北東区については、２回通り掘り下げた時点で遺物の出土量が希薄になったため掘り下げを終了した。一方、南西区と北西区については３回通り掘り下げを行い、さらに重機で深掘りし、遺物がほとんど含まれない深さに達したところで１区の調査を終了した。

１区において検出された遺構には、隣接するピット２基があり、埋土中に焼土が含まれる。遺物が出土しておらず、時期は不明である。

出土遺物については、縄文時代遺物が中心で、わずかに古墳時代須恵器、中世土器が含まれる。縄文土器には、早期（黄島式）・前期（羽島下層式）・中期（船元Ⅰ式から中期末までの各型式）・後期（中津式、福田ＫⅡ式、津雲Ａ式、彦崎ＫⅡ式）・晩期（突帯文）が認められる。出土量からすると中期、後期が中心で、特に目立つのが船元Ⅱ式、津雲Ａ式である。また、長縄手遺跡や矢部奥田遺跡の中期末の資料に類似するものも含まれる。石器類では、石鏃、石匙、スクレイパー、異形石器、石錐、石斧、磨石、叩石、石核、板状石材等がある。材質はサヌカイトが主で、倉敷市玉島黒崎地区に産出する流紋岩系と考えられる石材で作られたスクレイパーや剥片が少量含まれる。また、姫島産黒曜石の小片が出土した。この他、石製の玦状耳飾りが出土している。切れ込みの反対側が割れて半分を欠損しており、割れた部分の近くに穿孔が１つある。

２区の調査　１区と同様に、調査区を田の字に４分し、厚さ約15㎝ずつを３回に分けて掘り下げていきながら遺構の検出および遺物の取り上げを行った。

２区において検出された遺構については、北東区の溝１がある。これは、確認調査で「落ち込み」として認識されていたものである。溝の西肩は必ずしも明瞭ではないが、遺物の出土状況等により、南北方向に延びる溝と判断した。幅１ｍ、検出面からの深さ約20㎝を測る。調査区の北壁より約７ｍで溝の西肩が不明瞭となり、溝の形状をなさなくなる。埋土はにぶい黄褐色土あるいは黒褐色土である。埋土中から薄手円筒形で丸底の製塩土器数点や土師器片が出土した。これらの遺物から溝の時期は古墳時代中期頃と思われる。

出土遺物については、縄文時代土器、石器類、古墳時代製塩土器・土師器、中世土器が出土している。縄文時代遺物の出土量は、１区に比べて少ない。このことは、１区でも斜面下方からより多くの遺物が出土している傾向と合致する。古墳時代製塩土器には、台脚がつくものと薄手円筒で丸底形のものがある。金浜遺跡において多量に出土する古墳時代後期の師楽式土器はほとんど見当たらない。

まとめ　以上のことから、縄文遺跡としての溝落遺跡の性格を考えると、当遺跡は海岸を少し上がったところに位置する、貝塚を伴わない遺跡であり、縄文時代中期初頭から後期中葉の時期にその中心がある。近隣の海浜に立地する広江・浜遺跡では、後期から晩期まで多くの遺物が出土しており、主要な活動期間が異なっている。縄文時代の遺物が含まれる層は二次堆積層で、山側の２区よりも海側の１区の方が遺物の密度が高かった。近い場所に生活痕跡があったと考えられるが、もろい真砂土層であるため遺構は既に流失してしまっている可能性が高い。石器類について特筆されるのは、比較的大型のサヌカイト製板状剥片（重量2.88kg、1.36kg等）が出土したことである。また、サヌカイトの他に地元産の石材も含まれており、石材流通の面から注目される。（小野）

浜町（はままち）遺跡確認調査報告（一覧表 No.16）

調査位置　浜町2丁目886番1
調査原因　アパート建設工事　　**調査面積**　20㎡
調査期間　06.10.24～06.10.25　　**調査担当**　鍵谷・小野

遺跡の概要　浜町遺跡は、高梁川東岸の沖積地に立地する。当該地域については、これまで、近世干拓以前は遠浅の海であったと考えられていたが、倉敷市教育委員会が行った遺跡分布調査で中世土器の散布が確認され、中世段階には陸地化が進んでいた可能性も出てきた。現状は水田であるが、周囲には戸建て住宅や高層マンションが建つなど市街化が進んでいる。

調査の概要　確認調査は、2×2mのトレンチを5カ所設定して土層の観察を中心に行った。以下、トレンチごとにその概要を記す。

トレンチ1　水田床土の下に黄灰色弱粘質土がみられ、中世土器の細片が少量出土した。その下の黄灰色砂質土、灰黄色砂質土は遺物を含まない軟弱な堆積層である。遺構は認められない。

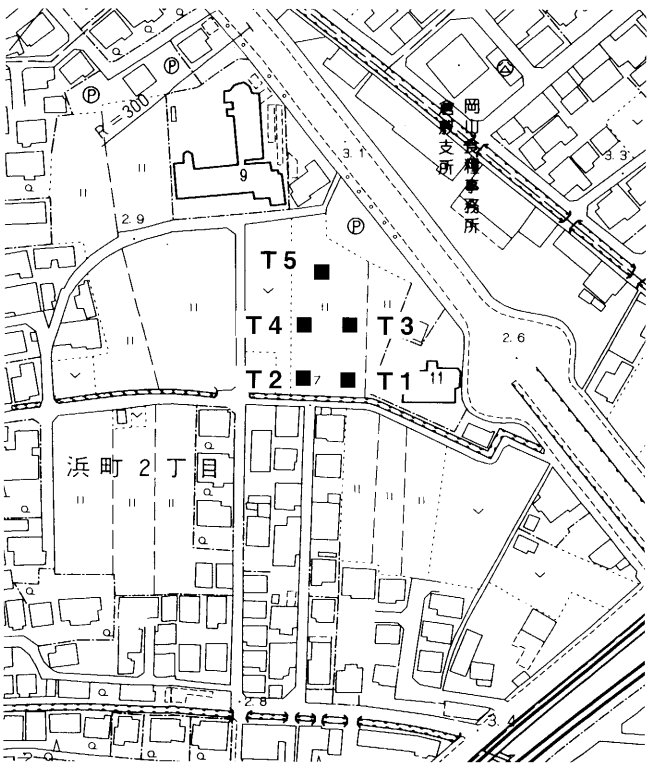
トレンチ2　水田床土の下に灰色粘質土、マンガン粒を含む黄灰色弱粘質土がみられるが、これらは旧水田の耕作土と床土の可能性がある。その下の黄灰色砂質土を除去すると東西方向に延びる溝状遺構あるいは落ちの北肩が検出された。軟弱な砂質土層を掘り込んでおり、検出面から底までの深さは35cm程度。底面は平坦で、鉄分の沈着が認められる。埋土から亀山焼、土師質椀などの中世土器の細片が出土しており、中世以降のものと考えられる。

トレンチ3　水田床土直下の黄灰色粘質土とその下の黄灰色砂質土に中世の遺物が少量含まれる。下層ほど砂質が強くなり、地表下80cmあたりから湧水が出はじめるのは他のトレンチと同様である。遺構は認められない。

トレンチ4　水田床土直下の黄灰色砂質土に中世の遺物がわずかに含まれていることが確認された。遺構は認められない。

トレンチ5　砂混じりの弱粘質土層を掘り込む土坑が検出された。性格は不明であるが、近世以降のものと思われる。

まとめ　今回の確認調査では、水田床土の直下に中世の遺物を含む堆積層が存在することが確認された。しかし、出土した土器は全て細片で、周辺から流れ込んだ可能性が高い。また、安定した基盤層は認められず、少なくとも中世までは湿地のような状態であったと推測される。付近になんらかの活動拠点が存在すると考えられるが、その場所や性格については今後の課題としたい。（小野）



調査地位置図（S=1/3,000）

新熊野山（しんくまのさん）遺跡確認調査報告（一覧表 No.21）

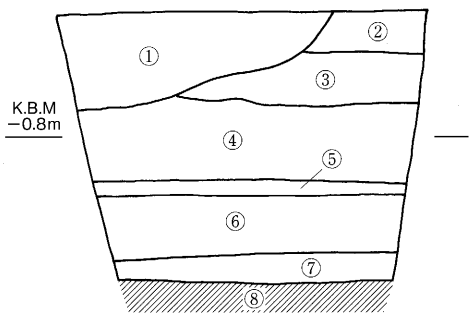
調査位置　林684番地
調査原因　長床拝殿再建工事　　**調査面積**　4㎡
調査期間　07.02.20　　**調査担当**　鍵谷・小野

遺跡の概要　新熊野山遺跡は中世の散布地で、国の重要文化財である熊野神社本殿や五流尊瀧院宝塔などが位置する。遺跡の一部分は、「新熊野山」として岡山県の史跡に指定されている。今回の調査地点は、熊野神社の境内地で、かつて神社の長床拝殿が建っていた場所である。

調査の概要　長床拝殿再建予定地に２×２ｍのトレンチを１カ所設定し、断面観察を中心に調査を行った。

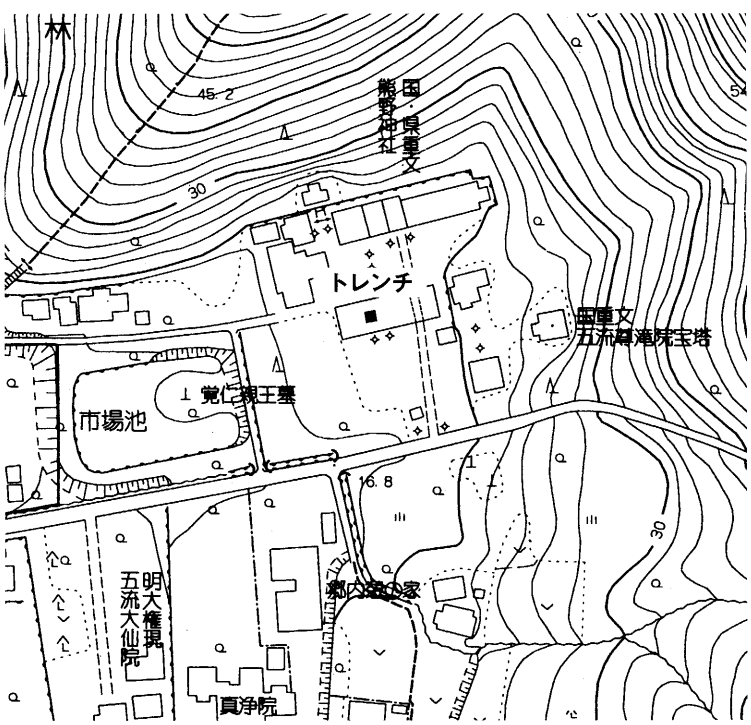
①層は炭・近世瓦片を多く含んでおり、火災により消失した旧長床を撤去した際の撹乱層と思われる。②～④層には近世の瓦片等が含まれ、中世以前にさかのぼる遺物を含まないことから、これらの層は近世以降の造成土と思われる。⑤層は、明黄褐色を呈する厚さ10cm程度の層で、中世土器の細片を含んでいる。この下に存在する⑥・⑦層にも少量ではあるが中世土器が含まれている。⑤～⑦層からは、中世の遺物のみで近世以降の遺物は出土していないことから、いずれも中世の土層と考えられる。特に⑤層については、それほど硬く締まった層ではないものの、土器細片を含む地山混じりの薄い層が水平に堆積しており、中世における整地層の可能性がある。この⑤層上面で、ピット１基を検出した。ピットは径約22cmの円形で、深さは10cm弱と浅かった。遺物は出土しておらず時期については不明だが、出土状況から中世の可能性が高い。⑦層の下、地表下約1.4ｍで黄橙色を呈する地山に到達し、調査を終了した。

今回の確認調査により、当該地点では地表下約90cmまでは近世以降の造成土が厚く堆積していることが明らかとなった。また、この下には中世と思われる土層が３層確認されたが、いずれも概して遺物の包含量は少なく、重要な遺構等も検出されなかった。（鍵谷）



① にぶい黄橙色土（10YR7/3）
② にぶい黄橙色土（10YR7/4）
③ 浅黄色土（2.5YR7/3）
④ 灰黄褐色粘質土（10YR5/2）
⑤ 明黄褐色土（10YR6/6）
⑥ にぶい黄橙色粘質土（10YR6/3）
⑦ にぶい黄橙色土（10YR6/4）
⑧ にぶい黄橙色土（10YR7/4）

トレンチ北壁断面図（S =1/40）



調査地位置図（S =1/2,500）

上東（じょうとう）遺跡確認調査報告（一覧表 No.22）

調査位置　上東字才ノ後761番6外
調査原因　宅地造成工事　　**調査面積**　12㎡
調査期間　07.02.21　　**調査担当**　鍵谷・小野

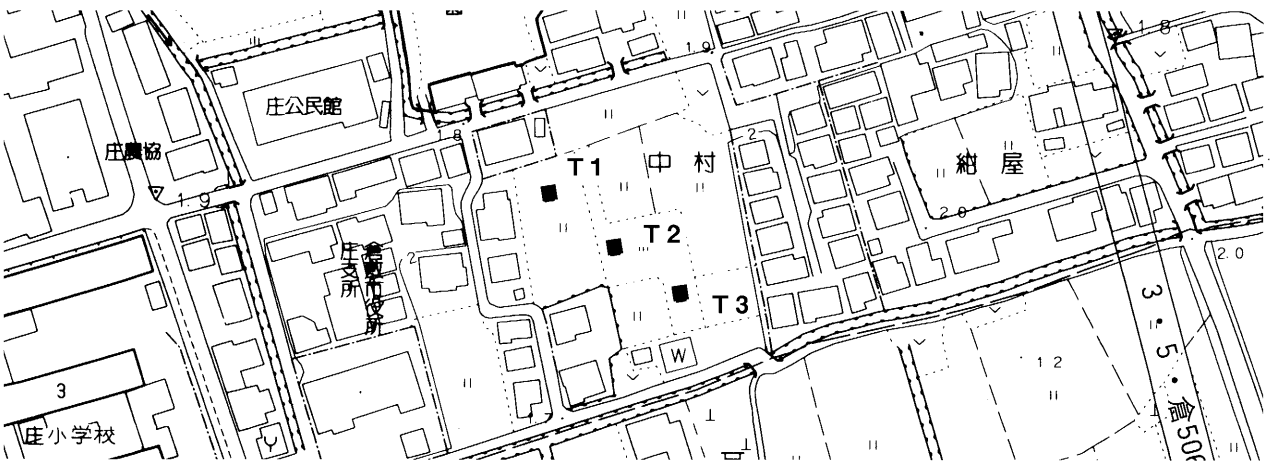
遺跡の概要　調査地は、倉敷市上東の水田地帯に位置する。近年、このあたりの水田は徐々に埋め立てられ、宅地化が急速に進んでいる。調査は、２×２ｍのトレンチを３カ所設定して実施した。以下、トレンチごとにその概要を記す。

トレンチ１　水田耕作土の直下から弥生時代の基盤層が確認された。よく締まったにぶい黄橙色土層で、検出面の標高は約 1.2 ｍである。遺物包含層が全く見られないことから、おそらく上面は削平されていると思われる。基盤層上面を精査したところ、土坑が１基検出された。この土坑を東西に二分して東半分だけを掘り下げた。平面形は直径約１ｍの不整円形で、検出面からの深さは60㎝を測る。埋土は３層に分けられ、１層の上位から中世の土師質土器の小片が出土したが、撹乱による混入と判断される。２、３層からは弥生土器が少量出土した。土坑の底より少し上で段が見られ、底がすぼまった形状を呈している。柱跡等は確認されなかった。土坑の性格は不明であるが、時期は弥生時代後期と考えられる。

トレンチ２　水田耕作土の直下、標高約1.2ｍで弥生時代の基盤層が確認された。にぶい黄褐色土で、トレンチ１の層よりも砂質が強いがよく締まっている。遺構は検出されていない。

トレンチ３　水田床土直下の黄灰色粘質土とその下の黄灰色砂質土に中世の遺物が少量含まれる。下層ほど砂質が強くなり、地表下 80 ㎝あたりから湧水が出はじめるのは他のトレンチと同様である。遺構は認められない。

以上のように、今回の調査区全域において弥生時代の基盤層が確認され、トレンチ１において土坑１基が検出された。基盤層はよく締まった硬質の土層で、北から南にいくにつれて砂質が強くなる傾向が認められた。標高 1.2 ｍあたりに存在し、耕作土を除去すると遺構が現れるという状況から、おそらく地下げにより微高地が削平されていると思われる。また、中世の遺物も出土していることから、この時期の活動跡も存在することがうかがえる。（小野）



トレンチ位置図（S=1/2,500）

水江（みずえ）遺跡確認調査報告（一覧表 No.24）

調査位置　水江1148番8地先堤外
調査原因　架橋建設工事　　**調査面積**　77㎡
調査期間　07.03.13～07.03.14　　**調査担当**　福本・小野

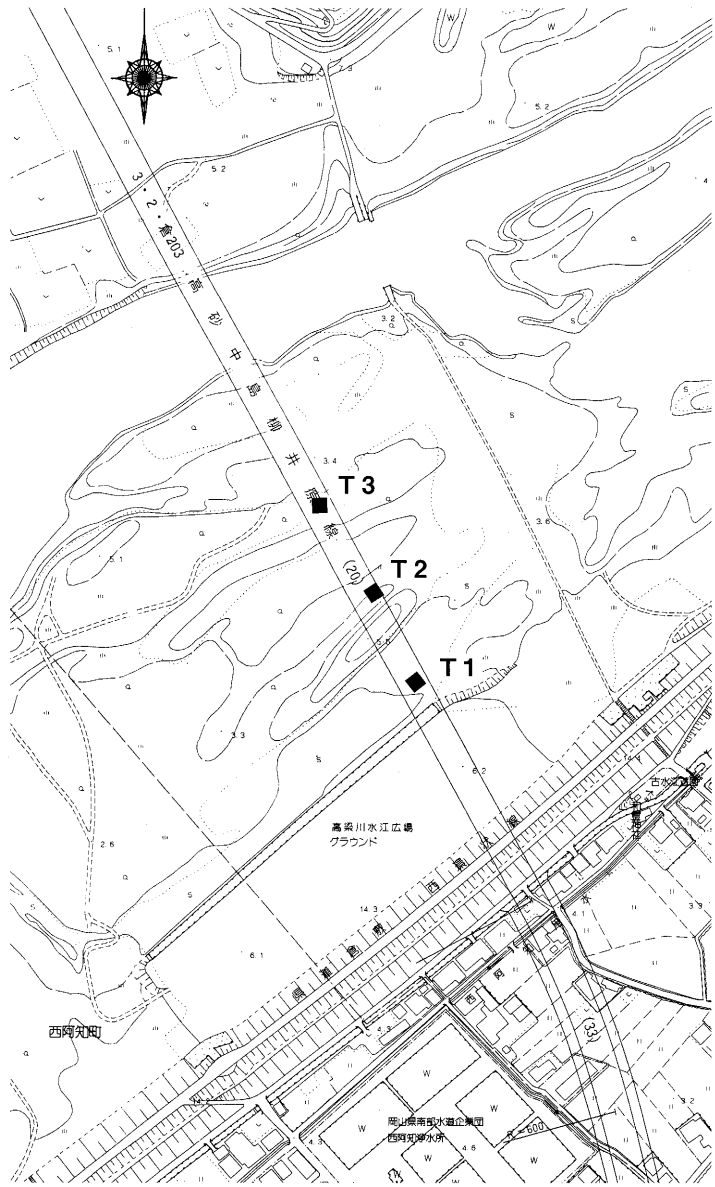
遺跡の概要　調査地は、高梁川左岸、古水江渡しの下流約100ｍの河川敷である。当該地では、昭和53年(1978)から平成７年(1995)にかけて、遺跡の範囲確認調査を実施しており、その成果を踏まえ、橋脚予定地のうち、遺跡に影響を及ぼす可能性のある３カ所について確認調査を実施した。

トレンチ１　左岸堤防交差点予定地（以下「交差点」）から130ｍ北西のP6橋脚部分に設定した。上面は砂礫層に覆われ、その下の硬く締まった粘質土層から中世土器、須恵器が出土した。基盤層の９層の上面で溝状遺構の肩を検出し、４層～８層は遺構の埋土と理解された。溝状遺構の平面形は弧状に曲がっており、溝底面に幅20㎝くらいの凹みがある。遺構の底面から古式土師器が出土した。

トレンチ２　交差点から190ｍ北西のP7橋脚部分に設定した。上面は厚さ約２ｍの砂礫層に覆われ、その下には黄褐色砂質土、暗灰色シルトが続く。基盤層は確認されず、遺構は検出されていない。

トレンチ３　交差点から260ｍ北西のP８橋脚部分に設定した。上面は厚さ２ｍ以上の砂礫層に覆われ、その下には旧耕作土と思われる灰黄褐色土、青灰色シルトが見られる。そして、標高３ｍ付近で基盤層と思われる硬質砂質土を確認した。この層は、トレンチ１付近の明黄褐色の基盤層に相当するものと思われるが、当該トレンチでは、遺構、遺物とも検出されていない。

以上のように、トレンチ１において遺構が確認され、古墳時代、中世の遺物が出土した。また、交差点から70ｍ北西のP5橋脚予定地については、グラウンド造成のため今回は調査することができなかったが、ここにも遺跡が存在することは、過去の確認調査で明らかにされている。トレンチ２では遺跡は確認されず、トレンチ３では水流により基盤層上層が流失したものと考えられる。（小野）



トレンチ位置図（S＝1/5,000）

V 寄贈図書一覧（2006.4.1～2007.3.31）

北海道	
（財）北海道埋蔵文化財センター	テエタ第16号～第17号、館野遺跡（1）、三次郎川右岸遺跡、上リヤムナイ遺跡・リヤムナイ3遺跡（2）、森川3遺跡（2）、西島松5遺跡（3）、対雁2遺跡（7）、対雁2遺跡（8）、大町2遺跡、調査年報19、東楊1遺跡、柏木川4遺跡（2）、白滝遺跡群Ⅵ、矢不来6遺跡　矢不来11遺跡・館野4遺跡、矢不来7遺跡・矢不来8遺跡
（財）アイヌ文化振興・研究推進機構	アイヌ文様の美
青森県	
青森県埋蔵文化財調査センター	maibun-net. あおもり No.3、間沢遺跡2、福島城跡1
岩手県	
（財）岩手県文化振興事業団	年報平成17年度版、紀要ＸＸＶ、河崎の柵擬定地発掘調査報告書、金栗Ｉ遺跡発掘調査報告書、金附遺跡発掘調査報告書、高木古館遺跡・長根Ｉ遺跡発掘調査報告書、高木中館遺跡・下通遺跡発掘調査報告書、山口館跡発掘調査報告書、松山前遺跡発掘調査報告書、沼袋遺跡発掘調査報告書、上野馬3遺跡発掘調査報告書、杉の堂遺跡第31次調査・跡呂井遺跡発掘調査報告書、台太郎遺跡第54次発掘調査報告書、大橋遺跡発掘調査報告書、大清水上遺跡発掘調査報告書、大西遺跡発掘調査報告書、中田遺跡発掘調査報告書、二の台長根遺跡発掘調査報告書、飯岡沢田遺跡第9・10次発掘調査報告書、本宮熊堂Ａ遺跡第24次・本宮熊堂Ｂ遺跡第25次発掘調査報告書、本宮熊堂Ｂ遺跡第27次発掘調査報告書、矢盛遺跡第6次発掘調査報告書
滝沢村埋蔵文化財センター	法誓寺1遺跡発掘調査報告書
盛岡市遺跡の学び館	玉山の遺跡、志波城跡 - 平成15･16年度発掘調査概報 -、盛岡市遺跡の学び館特報、盛岡市内遺跡群 - 平成17年度発掘調査報告 -、平成16年度館報
宮城県	
多賀城市埋蔵文化財調査センター	多賀城市埋蔵文化財調査センター年報 - 平成17年度 -、高崎遺跡ほか、山王遺跡 - 第51・54・57次調査報告書 -、山王遺跡第58次調査報告書、市川橋遺跡、多賀城市内の遺跡1、多賀城市内の遺跡2
仙台市富沢遺跡保存館	地底の森ミュージアム年報第10号、仙台市富沢遺跡保存館研究報告9、氷河期を生きる -2万年前の日本列島 -
山形県	
（財）山形県埋蔵文化財センター	埋文やまがた第35号～第37号、年報平成16年度、年報平成17年度、研究紀要第4号、梓山ａ遺跡・梓山ｄ遺跡・町在家館跡、稲荷山館跡・堤屋敷遺跡、鵜の木館跡、空沢遺跡、向河原遺跡、山形城三の丸跡、山形西高敷地内遺跡、蛇崩窯跡、小松原窯跡・長者屋敷遺跡・坂ノ上遺跡、小反遺跡、小平4遺跡、上野遺跡、上野遺跡、西山遺跡、泉森南窯跡、大在家遺跡、北向遺跡、北向遺跡第2次、堀端遺跡・圸ノ上遺跡
米沢市教育委員会	米沢市文化財年報 No.18、遺跡詳細分布調査報告書第19集、上ノ台遺跡発掘調査報告書、野際遺跡発掘調査報告書
福島県	
（財）いわき市教育文化事業団	平成17年度市内遺跡試掘調査報告、玉山古墳、根古屋遺跡　上野遺跡、白土城跡、平城跡、和具Ｂ遺跡　和具Ｃ遺跡
（財）福島市振興公社	丸子条里制遺構、宮塚前遺跡、宮畑遺跡3、史跡　宮畑遺跡、勝口前畑遺跡12、平成17年度市内遺跡試掘調査報告書
（財）郡山市文化・学び振興公社	第12回市内遺跡発掘調査成果展パンフ、郡山市埋蔵文化財分布調査報告13、虎丸遺跡、荒井猫田遺跡 - 第16次発掘調査報告 -、荒井猫田遺跡 - 第17次発掘調査報告 -、篠川館跡、正直Ｂ遺跡　- 第2次発掘調査報告 -、清水台遺跡 - 第29次調査報告 -、田中遺跡

茨城県	
(財) 茨城県教育財団	年報 25
ひたちなか市埋蔵文化財調査センター	ひたちなか埋文だより第 23 号～第 24 号、平成 17 年度市内遺跡発掘調査報告書
土浦市教育委員会	上高津貝塚C地点、神明遺跡（第 5 次調査）、弁才天遺跡　北西原遺跡（第 5 次調査）、龍善寺遺跡
土浦市立博物館	常総の大山信仰、図説新治村史、土浦市立博物館年報第 18 号
筑波大学歴史・人類学専攻	筑波大学先史学・考古学研究第 17 号
筑波大学世界遺産専攻	ニュースレター vol.2 ～ vol.4
栃木県	
(財) とちぎ生涯学習文化財団	やまかいどう No.42 ～ No.43、埋蔵文化財センター年報第 16 号、研究紀要第 14 号、下上遺跡、金井北遺跡･前原遺跡、高林遺跡Ⅱ、西下谷田遺跡Ⅱ、仲内遺跡、東谷・中島地区遺跡群 7
栃木県教育委員会	栃木県埋蔵文化財保護行政年報 28
小山市教育委員会	小山の文化財第 16 号、小山市文化財保護調査年報 10　、中世小山への招待、外城遺跡Ⅲ、祇園城跡Ⅲ
宇都宮市教育委員会	宇都宮市文化財年報第 21 号、御城跡遺跡、史跡飛山城跡Ⅲ、西刑部古屋原遺跡、塚山西古墳・塚山南古墳、本村遺跡（弥生・古墳編）
足利市教育委員会	足利公園古墳と坪井正五郎、平成 16 年度文化財保護年報
群馬県	
(財) 群馬県埋蔵文化財調査事業団	年報 25、横壁中村遺跡（4）、江木下大日遺跡、高井桃ノ木Ⅲ遺跡、高源地東Ⅰ遺跡、砂押遺跡・拾弐木遺跡、小野地区水田址遺跡（社宮司B地点）　谷地遺跡F地点、上郷B遺跡･廣石A遺跡･二反沢遺跡、吹屋伊勢森遺跡、西野原遺跡（2）、中屋敷東遺跡・田中田遺跡・大沼下遺跡、塚下遺跡（1）、天ヶ堤遺跡（1）、富岡竹ノ内・和田山寺久保遺跡、矢部遺跡・新島遺跡、立馬Ⅰ遺跡、立馬Ⅱ遺跡
群馬県教育委員会	天神巡りⅤ遺跡　角渕八反田Ⅳ遺跡
高崎市観音塚考古資料館	観音塚古墳の世界
埼玉県	
(財) 埼玉県埋蔵文化財調査事業団	埋文さいたま第 48 号、年報 26、研究紀要第 21 号、伊勢方遺跡、下田町遺跡Ⅲ、下田町遺跡Ⅳ、宮台・宮原遺跡、上町東／旭原、諏訪坂貝塚、杉の木遺跡、西吉見条里遺跡、膳棚東Ⅱ／東内手／北久米、中山遺跡、中野遺跡、東地総田遺跡、白井沼遺跡Ⅰ、飯塚古墳群Ⅰ、飯塚北Ⅱ／飯塚古墳群Ⅱ
埼玉県立埋蔵文化財センター	埋文さいたま第 47 号、埼玉県立埋蔵文化財センター年報 16
所沢市立埋蔵文化財調査センター	所沢市立埋蔵文化財調査センター年報 No.11、後内手遺跡　滝の城跡、市内遺跡調査報告 12、東原遺跡 - 遺構編 -
鶴ヶ島市教育委員会	池の台遺跡A第 1 次・上山田遺跡第 6 次・羽折遺跡B第 1 次、仲道柴山遺跡
春日部市教育委員会	花積台耕地遺跡 7 次地点･慈恩寺原南遺跡 4･5 次地点･貝の内遺跡 11･19 次地点･小渕山下北遺跡 8 次地点・浜川戸遺跡 29 次地点、権現山遺跡第 1 次、慈恩寺原北遺跡 2 次調査地点、小渕山下遺跡 2 次調査地点、小渕山下遺跡 3 次調査地点
富士見市立水子貝塚資料館	富士見市立資料館要覧 2005
埼玉県立川の博物館	かわはく No.25 ～ No.27
千葉県	
(財) 印旛郡市文化財センター	フィールドブック vol.22、財団法人印旛郡市文化財センター年報 21、臼井屋敷跡遺跡Ⅱ、吉見稲荷山遺跡（第 7 次・8 次）、江原台遺跡、神戸宿向遺跡、西御門荒生遺跡C・D地区・宮内南台遺跡・宮内芋戸遺跡、太田長作遺跡（第 2 次）、第 10 回遺跡発表会発表要旨、南囲護台遺跡（第 3 地点）、本佐倉北大堀遺跡、用草さい拝塚遺跡（第 3 地点）
(財) 山武郡市文化財センター	財団法人山武郡市文化財センター年報 No.19 ～ No.21、一本松遺跡、瓜台遺跡、遠山並塚遺跡・遠山上橋遺跡・遠山谷ノ下遺跡・古川新田低地遺跡、熊野遺跡、山田・宝馬古墳群、寺方古墳群、上鳶谷遺跡、折戸遺跡、大滝遺跡・上貝来土遺跡・貝来土遺跡、池田丸山・山荒久・沖荒久遺跡、馬洗遺跡

（財）市原市文化財センター	市原市海上地区遺跡群、市原市文化財センター年報 - 平成 17 年度 -
（財）香取郡市文化財センター	事業報告ＸＶ、下総町道中里名木線埋蔵文化財発掘調査報告書、貝塚長薙遺跡、携帯電話無線基地局埋蔵文化財発掘調査報告書、桜宮遺跡、仲仁良Ｉ遺跡 2、六部塚遺跡
（財）東総文化財センター	財団法人東総文化財センターのあゆみ、岩井安町南遺跡　岩井安町東遺跡　岩井新田遺跡　岩井番匠山遺跡、芝崎遺跡群、傍示戸遺跡
（財）千葉県教育振興財団	年報 No.31、研究紀要 25、房総の文化財 vol.39 ～ vol.40、館山市東田遺跡、空港整備地区南側貨物取扱施設埋蔵文化財調査報告書Ⅱ、佐倉印西線（地方道路交付金）埋蔵文化財調査報告書 3、市原市西野遺跡、芝山町岩山金塚遺跡、首都圏中央連絡自動車道埋蔵文化財調査報告書 3 ～ 4、潤井戸地区埋蔵文化財調査報告書Ⅱ、松崎地区内陸工業用地造成整備事業埋蔵文化財調査報告書 4 ～ 5、松尾町金尾城跡、成田国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書ＸＸⅡ、成田市本三里塚仲間遺跡、千原台ニュータウンＸⅣ～ＸＶ、千葉ニュータウン埋蔵文化財調査報告書ＸⅧ、千葉県教育振興財団文化財センター千葉市中野台遺跡・荒久遺跡（4）、千葉東南部ニュータウン 34 ～ 35、東関東自動車道（木更津･富津線）埋蔵文化財調査報告書 5 ～ 8、東関東自動車道水戸線酒々井 PA 埋蔵文化財調査報告書 3、富里市三十四榎遺跡、流山運動公園周辺地区埋蔵文化財調査報告書 1、流山新市街地地区埋蔵文化財調査報告書 1、両総農業水利事業第 3 揚水機場建設工事埋蔵文化財調査報告書 1
船橋市教育委員会	海神台西遺跡第 5 次、海神台西遺跡第 7 次
野田市教育委員会	野田市史資料編考古
市原市教育委員会	市原市南岩崎遺跡
白井市教育委員会	白井市埋蔵文化財調査年報 - 平成 7 年度～平成 16 年度
南房総市教育委員会	川合遺跡、薬師前堀ノ内遺跡
芝山町教育委員会	平成 17 年度芝山町内遺跡発掘調査報告書
多古町教育委員会	志摩城跡
国立歴史民俗博物館	瓦コレクション、国立歴史民俗博物館研究報告第 125 集、国立歴史民俗博物館研究報告第 127 集～第 128 集、国立歴史民俗博物館研究報告第 130 集～第 133 集、国立歴史民俗博物館年報 2
市立市川考古博物館	市立市川考古博物館館報第 33 号
船橋市飛ノ台史跡公園博物館	とびのだい vol.18 ～ vol.20、飛ノ台史跡公園博物館紀要第 3 号
（財）千葉県史料研究財団	印旛郡栄町浅間山古墳発掘調査報告書
東京都	
（財）東京都生涯学習文化財団	たまのよこやま No.66 ～ No.68、東京都埋蔵文化財センター年報 25 ～ 26、平成 18 年度要覧、東京都埋蔵文化財センター研究論集ＸＸⅡ、岡本前耕地遺跡、下野谷遺跡第 15 次調査、丸山東遺跡、橋場遺跡、汐留遺跡Ⅳ、杉並区 No.182 遺跡、染井遺跡、多摩ニュータウン No.72 遺跡 - 縄文のムラ -、多摩ニュータウン遺跡 -No.14・15・30・42・54・76・95・124・278・379・445・885・4、多摩ニュータウン遺跡 -No.432･907･908 遺跡 -、多摩ニュータウン遺跡 -No.436･446 遺跡 -、多摩ニュータウン遺跡 -No.72・795・796 遺跡（付図編 2）-、多摩ニュータウン遺跡 -No.72・795・796 遺跡 -（16）、多摩ニュータウン遺跡 -No.91A・462・390・471 遺跡 -、多摩ニュータウン遺跡 -No.9･10･381･382･383 遺跡 -、大原Ｃ遺跡（第 3 次）、大谷口二丁目遺跡、中高瀬遺跡、南池袋遺跡、武蔵国府関連遺跡、武蔵国府関連遺跡、武蔵国分寺遺跡、明王下遺跡
宮内庁書陵部	出土品展示目録埴輪Ｖ
葛飾区教育委員会	葛西城ＸＸＶ、平成 16 年度葛飾区埋蔵文化財調査年報
八王子市教育委員会	打越小ザス遺跡Ⅲ、八王子市 No.120 遺跡第 2 次調査、八王子市 No.135 遺跡
日の出町教育委員会	三吉野遺跡群欠上・下モ原地区発掘調査報告書
調布市郷土博物館	東京都調布市埋蔵文化財年報 - 平成 16 年度 -、調布の文化財第 40 号、下布田遺跡、下布田遺跡 - 第 75 地点の調査 -、深大寺城山遺跡、染地遺跡 - 第 26 地点 -、

港区立港郷土資料館	都立武蔵野の森林公園埋蔵文化財調査 - 野水遺跡第 1 地点 - 報告書、飛田給遺跡港郷土資料館へ行ってみよう！第 3 号、港区埋蔵文化財調査年報 3、資料館だより第 56 号～第 57 号、豊後岡藩中川家屋敷跡遺跡発掘調査報告書
国際縄文学協会	国際縄文学協会紀要第 2 号
明治大学古代学研究所	古代学研究所紀要第 2 号
明治大学博物館	明治大学博物館年報 2004 年度
青山学院大学文学部史学研究室	青山史学第二十四号
早稲田大学図書館	古代 119 号
富山県	
（財）富山県文化振興財団	とやま発掘だより、平成 17 年度埋蔵文化財年報、富山考古学研究第 9 号、能越自動車道関係埋蔵文化財包蔵地調査報告、北陸新幹線道関係埋蔵文化財包蔵地調査報告（6）
富山県埋蔵文化財センター	埋文とやま第 95 号～第 97 号、富山県埋蔵文化財センター年報 - 平成 17 年度 -
小矢部市教育委員会	桜町遺跡縄文土器検討会資料集、桜町遺跡発掘調査報告書縄文土器・石器編、平成 15 年度小矢部市埋蔵文化財発掘調査概報、平成 17 年度小矢部市埋蔵文化財発掘調査概報
石川県	
（財）石川県埋蔵文化財センター	いしかわの遺跡 No.22 ～ No.23、年報 7、石川県埋蔵文化財情報第 14 号～第 15 号、粟津カンジャバタケ遺跡、安養寺遺跡、額谷遺跡、館開遺跡群、九谷Ａ遺跡Ⅱ、四柳白山下遺跡Ⅱ、小杉遺跡、新庄遺跡、杉野屋専光寺遺跡、畝田西遺跡群Ⅲ、畝田西遺跡群Ⅳ、畝田西遺跡群Ⅴ、畝田西遺跡群Ⅵ、畝田東遺跡群Ⅲ、畝田東遺跡群Ⅳ、畝田東遺跡群Ⅵ、清金アガトウ遺跡、専光寺養魚場遺跡、代田遺跡、梅田Ｂ遺跡Ⅲ、白山山頂遺跡、伏見野田山下遺跡、北河内マツリダ遺跡、北吉田ノシロタ遺跡、北方Ｂ遺跡・北方Ｅ遺跡・北方池の下遺跡、末松遺跡、矢野田遺跡群
金沢市埋蔵文化財センター	平成 17 年度金沢市埋蔵文化財調査年報、広坂遺跡（1 丁目）Ⅲ　近世編 1、山科やなした遺跡　山科かわらば遺跡、市内遺跡発掘調査報告書Ⅲ、寺中遺跡Ⅳ・桂町南遺跡Ⅰ・畝田・寺中遺跡Ⅲ、田上南遺跡Ⅰ、南新保北遺跡、福増カワラケダ遺跡Ⅱ、本町一丁目遺跡Ⅳ、薬師堂遺跡Ⅰ
能登町真脇遺跡縄文館	真脇遺跡 2006
金沢大学文学部考古学研究室	金沢大学考古学紀要第 28 号
福井県	
福井県埋蔵文化財調査センター	年報 19、若狭地方主要前方後円墳総合調査報告書、吉野堺遺跡、乗兼･坪江遺跡、浅見金道口遺跡　三重山城跡　浅見東山遺跡、糞置遺跡
福井市文化財保護センター	福井城跡Ⅴ、平成 15 年度年報
越前市教育委員会	高瀬二丁目遺跡
小浜市役所	小浜市重要遺跡確認調査報告書Ⅱ
福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館	一乗谷朝倉氏遺跡 35 ～ 36、一乗谷朝倉氏遺跡資料館紀要 2004、一乗谷朝倉氏遺跡発掘調査報告第 108 次・第 110・111 次・第 116 次調査、朝倉氏遺跡を愛する友の会だより第六号
山梨県	
山梨県埋蔵文化財センター	埋文やまなし第 23 号、ひらけ！びっくり箱、県指定史跡甲府城跡平成 17 年度調査・整備報告書、甲府城跡周辺確認調査報告書、鰍沢河岸跡Ⅲ、勝沼堰堤、銚子塚古墳附丸山塚古墳、平成 17 年度山梨県分布調査報告書
長野県	
（財）長野県埋蔵文化財センター	長野県埋蔵文化財センター年報 22、一般国道 18 号（坂城更埴バイパス）埋蔵文化財発掘調査報告書 1、県道湯沢望月線天神バイパス県連事業埋蔵文化財発掘調査報告書
佐久市教育委員会	佐久市文化財年報 14、市内遺跡発掘調査報告書 2004、下信濃石遺跡、開戸田遺跡・樋村遺跡Ⅲ・扇田遺跡、西一本柳遺跡Ⅷ、曽根城遺跡Ⅳ・下曽根遺跡Ⅷ・

	前田遺跡Ⅴ・鋳師屋遺跡Ⅲ、地ヶ入遺跡・地ヶ入砦跡・畳石遺跡・千房沢遺跡・西駒込遺跡、天神小根遺跡
松本市立考古博物館	岡田西裏遺跡Ⅷ、出川西遺跡Ⅷ、神道原遺跡、大名町第1次、筑摩遺跡Ⅲ
長野県立歴史館	長野県立歴史館たより vol.46 ～ vol.49
岐阜県	
各務原市埋蔵文化財調査センター	かかみがはらの埋文第14号
(財) 岐阜市教育文化振興事業団	茶見町屋遺跡、平成16・17年度岐阜市市内遺跡発掘調査報告書
(財) 岐阜県教育文化財団	きずな第46号～第48号、平成17年度年報、中野大洞平遺跡Ⅱ、塚奥山遺跡、東野遺跡、野内遺跡A地区
静岡県	
(財) 静岡県埋蔵文化財調査研究所	研究所報 No.115 ～ No.116、静岡県埋蔵文化財調査研究所年報22、研究紀要第13号、宮裏Ⅱ遺跡・高根森遺跡・高根森古墳群、元島遺跡Ⅱ、西山遺跡、東原遺跡、韮山城跡Ⅱ、本郷坪遺跡
磐田市埋蔵文化財センター	横山遺跡、御殿・二之宮遺跡第84次発掘調査報告書、新平山遺跡（Ⅱ）、新平山遺跡（写真図版編）、新豊院山遺跡発掘調査報告書Ⅱ、新豊院山古墳群、大手内B古墳群、大手内古墳群、匂坂中下4遺跡
袋井市教育委員会	平成15年度掛之上遺跡 - 写真図版編 -、平成16年度掛之上遺跡 - 写真図版編 -
伊東市教育委員会	市内遺跡試掘・確認調査報告書
芝川町教育委員会	猫沢遺跡
静岡市立登呂博物館	研究紀要6、静岡市立登呂博物館館報16
愛知県	
(財) 瀬戸市埋蔵文化財センター	(財)瀬戸市埋蔵文化財センター研究紀要第13輯、せとやき史料総合調査報告書、江戸時代のやきもの
安城市埋蔵文化財センター	亀塚遺跡Ⅰ、亀塚遺跡Ⅱ、鹿乗川流域遺跡群Ⅳ
一宮市博物館	川から海へ 1- 人が動く・モノが運ばれる -、みんなはちびっこ考古学者！、銅鐸から描く弥生時代、猫島遺跡 - 弥生時代のムラ -、弥生水都二千年、一宮の考古学のあゆみ・80年、元屋敷遺跡発掘調査報告書Ⅱ、田法寺廃寺発掘調査報告書
南山大学人類学博物館	南山大学人類学博物館紀要第24号
名古屋市見晴台考古資料館	名古屋市見晴台考古資料館年報23、名古屋市見晴台考古資料館研究紀要第8号、戸田遺跡発掘調査報告書、高蔵遺跡第44次発掘調査報告書、志段味大塚古墳・大久手古墳群、正木町遺跡発掘調査報告書、第3次戸田遺跡発掘調査報告書、第4次戸田遺跡発掘調査報告書、竪三蔵通遺跡、竪三蔵通遺跡発掘調査報告書、長塚古墳発掘調査報告書、東二葉町遺跡第3次発掘調査報告書、熱田B遺跡発掘調査報告書、富士見町遺跡第6次発掘調査報告書、平成16年度正木町遺跡発掘調査報告書、平成17年度尾張元興寺発掘調査報告書、平成17年度富士見町遺跡発掘調査報告書、本丸搦手馬出石垣改修工事発掘調査報告書、埋蔵文化財調査報告書53 ～ 54
豊田市郷土資料館	豊田市郷土資料館だより No.55 ～ No.58、寺部城跡・寺部城関連遺跡・勧学院文護寺跡、敷田1～4号窯跡・切田1～4号窯跡、籠川流域の遺跡群
名古屋大学考古学研究室	東山114号窯発掘調査報告書、名古屋大学文学部研究論集155
三重県	
三重県埋蔵文化財センター	みえ No.40、平成16年度三重県埋蔵文化財年報、三重の大昔へタイムスリップ、玉城丘陵の中世火葬墓坑群、広永横穴墓群・広永1号墳・広永城跡・広永遺跡発掘調査報告、三寺地内遺跡群発掘調査報告、上野城下町遺跡発掘調査報告、織糸遺跡、西ヶ広遺跡（第3・4次）発掘調査報告、前垣内遺跡発掘調査報告、天王山遺跡・天王山古墳群発掘調査報告、琵琶垣内遺跡（第1・第4次）発掘調査報告、北畠氏とその時代、立神高岡製塩遺跡、鈴鹿市中ノ川中流域の考古資料、六大B遺跡（B～Ⅰ地区）発掘調査報告
津市埋蔵文化財センター	北畠氏館跡

松阪市教育委員会	2005年度埋蔵文化財調査概要、史跡宝塚古墳保存整備報告書、赤部遺跡、草山遺跡発掘調査月報No.1～No.10（増刷合冊）、平成16年度文化財調査報告、方婦多山古墳埋蔵文化財発掘調査報告書
津市教育委員会	多気北畠氏遺跡地籍図調査報告、多気北畠氏遺跡発掘調査報告、伝塚原卜伝屋敷跡発掘調査報告、北畠氏館跡
伊賀市教育委員会	伊賀市文化財年報2、西明寺遺跡（5次）発掘調査報告、西明寺三反田遺跡（2字）発掘調査報告、川上ダム建設事業地内埋蔵文化財発掘調査概報Ⅴ、川上ダム建設事業地内埋蔵文化財発掘調査報告書、沢代遺跡（2次）発掘調査報告
青山町教育委員会	青山町の文化財、川上ダム建設に伴う県道松阪青山線新設工事事業地内発掘調査報告、川上ダム建設事業地内埋蔵文化財発掘調査概報Ⅲ、川上ダム建設事業地内埋蔵文化財範囲確認調査報告
鈴鹿市考古博物館	鈴鹿市考古博物館年報第7号、伊勢国府跡8、伊勢国分寺跡6、宮上道遺跡、西ノ野遺跡、長法寺遺跡第2次発掘調査、白鳥塚1号墳
滋賀県	
滋賀県埋蔵文化財センター	滋賀埋文ニュースNo.311号～No.320号
（財）滋賀県文化財保護協会	滋賀文化財だよりNo.300～No.304、芦浦観音寺-その景観と歴史の特性-、遺跡散歩マップ、遺跡散歩マップ湖南市・甲賀市編、近江の馬頭観音、清水山城と城下・寺院、米原市の太鼓踊り
東近江市埋蔵文化財センター	東近江市遺跡分布地図、東近江市埋蔵文化財調査報告書、百済寺遺跡発掘調査報告書
多賀町立文化財センター	月ノ木遺跡、木曽遺跡（第2次～第7時調査）
滋賀県教育委員会	国領遺跡、北尾東遺跡
大津市教育委員会	大津市埋蔵文化財調査年報-平成16（2004）年度-、近江国府跡関連遺跡発掘調査報告書Ⅱ、石山寺境内遺跡発掘調査報告書、大津市遺跡分布地図
滋賀県教育委員会	極楽寺遺跡、後山・畦倉遺跡、山賀城遺跡ほか、松原内湖遺跡、入江内湖遺跡Ⅰ、八坂東遺跡、百済寺遺跡、了安寺遺跡
米原市教育委員会	佐加太第23号～第25号
東近江市教育委員会	能登川町埋蔵文化財調査報告書第61集、百済寺遺跡発掘調査報告書
竜王町教育委員会	雪野山周辺の歴史を考える、竜王町遺跡リーフレット1～5、竜王町内遺跡散策マップ（1）、竜王町内遺跡分布図
滋賀県立安土城考古博物館	おおてみち第55号～第58号
滋賀県立琵琶湖博物館	うみんど第39号～第42号、水辺の生き物
滋賀県立大学人間文化学部	人間文化第19号
京都府	
（財）京都府埋蔵文化財調査研究センター	京都府埋蔵文化財情報第99号～第100号
（財）京都市埋蔵文化財研究所	山科本願寺跡、史跡・名勝嵐山、史跡旧二条離宮（二条城）・平安京冷然院跡、上里北ノ町遺跡、相国寺旧境内、中臣遺跡、長岡京右京二条三坊九・十六町跡、上里遺跡、白川街区跡・岡崎遺跡、平安京右京五条三坊三町跡、平安京右京三条二坊十五町・三坊三町跡、平安京右京七条二坊四町（西市）跡、平安京右京二条四坊十五町跡、平安京右京六条一坊・左京六条一坊跡、平安京左京一条四坊九町跡、平安京左京三条四坊四町跡、平安京左京八条三坊三町跡
（財）向日市埋蔵文化財センター	長岡京跡ほか、年報都城18
綾部市教育委員会	綾部市文化財調査報告第36集～第37集
京都市文化芸術都市推進室	平成17年度京都市内遺跡試掘調査報告、平成17年度京都市内遺跡発掘調査報告、平成17年度京都市内遺跡分布調査報告、平成17年度京都市内遺跡立会調査報告
京都市考古資料館	京都市考古資料館年報平成15・16年度、栢ノ社遺跡、京北の遺跡、公家町のガラス、考古資料館に行ってみよう、鹿苑寺不動堂石室の文字、呪詛の人形、小さくても大判、小野瓦窯、昭和饗宴殿、松ヶ崎廃寺、松ヶ崎妙泉寺の江戸時代、上京遺跡、太秦の古墳を歩く、鳥羽離宮跡を歩く、桃山文化の陶磁器1、桃山

	文化の陶磁器2、発掘された瓦窯、発掘成果をふりかえって2004、発掘成果をふりかえって2005、伏見城北曲輪、平安宮豊楽殿跡出土品、平安京発掘と杉山信三博士、本院大臣・時平の邸宅、淀城の米蔵跡
大阪府	
（財）八尾市文化財調査研究会	財団法人八尾市文化財調査研究会報告86～90、平成17年度（財）八尾市文化財調査研究会事業報告
（財）枚方市文化財研究調査会	禁野本町遺跡Ⅲ、小倉東遺跡Ⅱ
高槻市立埋蔵文化財調査センター	高槻の史跡、高槻市文化財年報平成15・16年度、嶋上遺跡群30
堺市立埋蔵文化財センター	堺市文化財調査概要報告第108冊～第111冊、平成17年度国庫補助事業発掘調査報告書
（財）大阪府文化財センター	OCCH No.33、OCCH No.35、カルチュアはっとり No.9、大阪文化財研究第29号～第30号、はざみ山遺跡、はざみ山遺跡2、河内平野における古墳の出現、禁野本町遺跡、古式土師器の年代学、古墳時代に生きた渡来人の軌跡、讃良郡条理遺跡Ⅳ、小路遺跡Ⅲ、上の山遺跡Ⅰ、摂河泉古代寺院の総合的研究、太秦遺跡・太秦古墳群Ⅱ、太秦遺跡・太秦古墳群Ⅲ、大坂城址Ⅲ、大阪府埋蔵文化財研究会（第53回）資料、第二京阪道路内遺跡の発掘調査展と講演会の記録、池島･福万寺遺跡発掘調査概要32～34、田井中遺跡、東倉治遺跡Ⅱ、童子畑遺跡･童子畑北遺跡、比較・検証南九州弥生文化の実像、平池遺跡、片山荒池遺跡、有池遺跡Ⅱ、民家集落ふるさとだより第27号
豊中市教育委員会	文化財ニュース豊中 No.33、金寺山廃寺、今西氏屋敷、豊中市埋蔵文化財発掘調査概要 - 平成17（2005）年度 -
枚方市教育委員会	特別史跡百済寺跡、枚方市埋蔵文化財発掘調査概要2005
東大阪市教育委員会	瓜生堂遺跡第52次発掘調査中間報告書、鬼虎川遺跡第58・60次発掘調査報告、東大阪市下水道事業関係発掘調査概要報告 - 平成17年度 -、東大阪市埋蔵文化財発掘調査概報 - 平成17年度 -
松原市教育委員会	たじひのだより No.5
貝塚市教育委員会	タイムスリップ！いずみの国の弥生時代、ぼっかんさんの平成大修理、絵図に見る貝塚寺内のうつりかわり、貝塚市内の神社と絵馬、地蔵堂丸山古墳と大阪の前期古墳、貝塚市遺跡群発掘調査概要28
泉佐野市教育委員会	泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要 - 平成7年度 -、泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要第48号～第50号、平成17年度泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要、平成17年度日根荘の文化的景観調査概要
泉南市教育委員会	泉南市遺跡群発掘調査報告書ＸＸⅢ
交野市教育委員会	平成17年度交野市埋蔵文化財発掘調査概要
池田市教育委員会	池田市埋蔵文化財発掘調査概報　2005年度
吹田市教育委員会	垂水遺跡発掘調査報告書Ⅰ、平成17年度埋蔵文化財緊急発掘調査概報
茨木市教育委員会	平成15年度発掘調査概報、平成17年度発掘調査概報
四條畷市教育委員会	一般国道163号線の拡幅工事に伴う発掘調査概要報告書、四条畷市内遺跡発掘調査概要報告書
河内長野市教育委員会	河内長野市埋蔵文化財調査報告書ＸＸⅠ、河内長野市埋蔵文化財調査報告書ＸＸＶ、天野山金剛寺遺跡、天野山金剛寺遺跡・宮山遺跡・塩谷遺跡、日野観音寺遺跡
大阪府立弥生文化博物館	弥生倶楽部 vol.30、弥生文化博物館要覧 - 平成17年度 -、弥生文化博物館研究報告第6集、船橋遺跡出土資料1- 弥生土器編 -、弥生画帖 - 弥生人が描いた世界 -、弥生人 躍動す - 池上曽根遺跡と吉野ヶ里 -
大阪府立近つ飛鳥博物館	博物館だより - アスカディア・古墳の森 vol.25、応神大王の時代、河内湖周辺に定着した渡来人、古代の工房 - 豊かな都・寺のきらめき -
吹田市立博物館	博物館だより No.27～No.28、吹田市文化財ニュース No.27、吹田市立博物館館報6、昔の文字を読む、千里ニュータウン展
大阪府立狭山池博物館	水にうつる願い、大阪府立狭山池博物館研究報告3

大阪歴史博物館	共生の考古学 - 過去との対話、遺産の継承 -
八尾市立歴史民俗資料館	研究紀要第 17 号
兵庫県	
兵庫県教育庁埋蔵文化財調査事務所	ひょうごの遺跡第 59 号～第 62 号、平成 16 年度年報、旭町白川橋遺跡、横田遺跡・横田北古墳群発掘調査報告書、下高谷遺跡、加西南産業団地内遺跡調査報告書、岩屋遺跡・森本遺跡、吉田南遺跡、市辺遺跡、篠山城旧三の丸跡、若王寺遺跡、若端町遺跡、汁谷窯跡群･汁谷遺跡、汁谷窯跡群･汁谷遺跡、小阪田遺跡、小田遺跡、城ノ腰遺跡、大陣原炭窯跡、竹原中山遺跡、竹原播磨塚遺跡・長尾三ノ谷遺跡、中谷廃寺・中谷遺跡・中谷古墳、板波町遺跡、美乃利遺跡Ⅱ、有岡城跡・伊丹郷町Ⅳ
神戸市埋蔵文化財センター	こども考古学入門、神戸考古学 BEST50、西求女塚古墳と青銅鏡、西神ニュータウン内の遺跡、福原遷都 - 清盛の海の都 -、平家一門の都・福原京
神戸市教育委員会	平成 15 年度神戸市埋蔵文化財年報、雲井遺跡第 20 次調査、吉田南遺跡、御影山手遺跡第 2 次発掘調査概報、史跡五色塚古墳　小壺古墳発掘調査・復元整備報告書、大橋町遺跡、布引水源地水道施設記録誌、舞子砲台跡、兵庫津遺跡、兵庫津遺跡第 36 次発掘調査概要報告書
姫路市教育委員会	特別史跡姫路城跡Ⅲ
芦屋市教育委員会	岩ヶ平刻印群（第 85 地点）発掘調査報告書、岩ヶ平刻印群発掘調査報告書、岩ヶ平石切丁場跡、業平遺跡　月若遺跡　寺田遺跡発掘調査報告書、元塚発掘調査報告書、三条岡山遺跡、寺田遺跡発掘調査報告書、若宮遺跡（第 42 地点）発掘調査報告書、津知遺跡の発掘調査、八十塚古墳群（第 106 地点）発掘調査報告書、平成 8 年度国庫補助事業芦屋市内遺跡発掘調査実績報告書、平成 9・10 年度国庫補助事業芦屋市内遺跡発掘調査実績報告書、平成 11・12 年度国庫補助事業芦屋市内遺跡発掘調査実績報告書
加西市教育委員会	玉丘古墳群Ⅱ、中条垣内遺跡・中野城跡・繁陽町遺物散布地・玉丘祇園山 1・2 号墳、平成 15 年度埋蔵文化財立会調査報告
赤穂市教育委員会	史跡赤穂城跡本丸石垣修理工事報告書、木虎谷 11 号墳発掘調査報告書
尼崎市教育委員会	尼崎市埋蔵文化財調査年報平成 8 年度（1）、平成 16 年度尼崎市内遺跡復旧・復興事業に伴う発掘調査
姫路市立城郭研究室	城郭研究室年報 vol.15
たつの市教育委員会	揖保川が育んだ自然と歴史 - たつの文化財図鑑 -
川西市教育委員会	川西市勝福寺古墳発掘調査報告、平成 17 年度川西市発掘調査概要報告
加東郡教育委員会	横谷・菊沢遺跡、埋蔵文化財調査年報　-2004 年度 -
上郡町教育委員会	野磨駅家跡、落地遺跡
太子町教育委員会	太子町埋蔵文化財分布図、平成 15・16 年度埋蔵文化財調査年報、法隆寺領播磨国鵤荘
佐用町教育委員会	早瀬瓦窯跡、平成 16 年度埋蔵文化財調査年報、平成 4 年度埋蔵文化財調査年報
多可町教育委員会	曽我井・野入遺跡Ⅱ、田野口・箆町遺跡Ⅰ
神戸市立博物館	研究紀要第 22 号、神戸市立博物館年報 No.21
赤穂市立歴史博物館	集まれ！忠臣蔵の人形たち
播磨町郷土資料館	水のめぐみ、播磨町郷土資料館館報 17
大手前大学史学研究所	近世丹波焼の研究、大手前大学史学研究所紀要第 5 号～第 6 号、馬立遺跡発掘調査報告書
奈良県	
奈良市埋蔵文化財調査センター	県営圃場整備事業田原東地区における埋蔵文化財発掘調査概要報告書Ⅰ
桜井市立埋蔵文化財センター	桜井の井戸、前方後円墳の終焉とその後、東田大塚古墳、平成 17 年度発掘調査速報展、忘れ去られた古墳
奈良文化財研究所	埋蔵文化財ニュース No.122 ～ No.125
橿原市教育委員会	平成 17 年度橿原市埋蔵文化財発掘調査概報
宇陀市教育委員会	宇陀松山城（秋山城）跡 2、榛原町内埋蔵文化財発掘調査概要報告書 2004 年度

田原本町教育委員会	田原本町文化財調査年報14、太子道の巷を掘る、弥生の絵画、弥生時代の青銅器鋳造
（財）元興寺文化財研究所	元興寺文化財研究No.87～No.88、曲川遺跡発掘調査報告書、古きをまもる新しき技-保存科学への招待-、執轡如組、中の池遺跡-第12次調査-、平城京右京北邊、當麻寺の版木-西南院-
天理大学考古学研究室	古事第10冊
天理大学附属天理参考館	テル・ゼロール出土遺物Ⅰ-墓地編-、天理参考館報第19号
和歌山県	
（財）和歌山県文化財センター	風車16～23、(財)和歌山県文化財センター年報2005、岡村遺跡発掘調査報告書、高田土居城跡・徳蔵地区遺跡・大塚遺跡、徳蔵地区遺跡、楠見遺跡、野上中南遺跡
有田川町教育委員会	吉備町の文化財、旧吉備中学校校庭遺跡現地説明会資料、平成17年度有田川町埋蔵文化財調査年報
鳥取県	
（財）鳥取県教育文化財団	長者屋敷遺跡　坂長下屋敷遺跡
（財）米子市教育文化事業団	埋蔵文化財調査室年報7、吉谷亀尾前遺跡･古市六反田遺跡、諏訪西山ノ後遺跡、諏訪東土取場遺跡・大殿下ノ原遺跡、諏訪南山崎遺跡
（財）鳥取市文化財団	大井聖坂遺跡･大井家ノ下モ遺跡、平成17年度鳥取市内遺跡発掘調査概要報告書、野坂遺跡
鳥取県埋蔵文化財センター	青谷上寺地遺跡8、青谷上寺地遺跡出土品調査研究報告2鉄製遺物の自然科学的研究、梅田萱峯遺跡1
倉吉市教育委員会	下古川上通り遺跡発掘調査報告書、萬燈山遺跡発掘調査報告書
米子市教育委員会	新米子の文化財、米子市内遺跡発掘調査報告書（遺跡分布調査）2004
鳥取県教育委員会	妻木晩田遺跡発掘調査研究年報2005、史跡妻木晩田遺跡妻木山地区発掘調査報告書
米子市教育委員会　淀江分室	百塚遺跡群Ⅷ、百塚遺跡群Ⅹ
岩美町教育委員会	岩本丸山遺跡発掘調査報告書
島根県	
島根県埋蔵文化財調査センター	ドキ土器まいぶんNo.33～No.36、埋蔵文化財調査センター年報14、沖手遺跡、宮田遺跡、県道浜乃木場町線（湯町工区）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書、原田遺跡（2）、古代文化の郷出雲、山陰の城館跡、史跡出雲国府跡-4-、水海のほとり、青木遺跡Ⅱ（弥生～平安時代編）、中野清水遺跡（3）白枝本郷遺跡、廿子Ⅰ遺跡・廿子Ⅲ遺跡、浜寄・地方遺跡、石見銀山遺跡総合調査概報5、石見銀山遺跡ニュースNo.9～No.10
島根県古代文化センター	青銅器埋納地調査報告書Ⅱ（武器形青銅器編）、島根県における弥生時代・古墳時代の木製品集成
（財）松江市教育文化振興事業団	久傳遺跡、向山西遺跡、渋ヶ谷遺跡群発掘調査報告書、勝負奥遺跡、大井窯跡群　山津窯跡・山津遺跡発掘調査報告書、二反田遺跡発掘調査報告書
出雲市教育委員会	壱丁田遺跡第3次発掘調査報告書、古志遺跡、鹿蔵山遺跡、出雲市埋蔵文化財発掘調査報告書第16集、西谷墳墓群-平成14～16年度発掘調査報告書-、築山遺跡Ⅰ、畑ノ前遺跡、茗ヶ原奥たたら跡
益田市教育委員会	市内遺跡詳細分布調査報告書ⅩⅧ
浜田市教育委員会	史跡石見国分寺跡　県史跡石見国分尼寺跡、室田窯跡、平野窯跡
出雲市役所	国指定史跡西谷墳墓群
津和野町教育委員会	津和野町内遺跡発掘調査報告書1
岡山県	
岡山県古代吉備文化財センター	所報吉備第40号～第41号、井手天原遺跡　総社遺跡、姥ヶ迨遺跡、過去と未来を結ぶ道、国司尾遺跡・坂田遺跡・坂田墳墓群・宮ノ上遺跡・宮ノ上古墳群、国指定史跡鬼城山、土居遺跡、南方遺跡、南方遺跡、発掘／高島のむかしⅡ、発掘／高島のむかしⅢ、美作・勝央発掘ものがたり、美作・大原昔絵巻、仏生

	田遺跡２　中撫川遺跡２、来光寺跡・来光寺遺跡・立道遺跡・平岩古墳
津山弥生の里文化財センター	津山弥生の里第13号、せんご遺跡　穏地東遺跡、堀坂地内遺跡
岡山市埋蔵文化財センター	岡山市埋蔵文化財センター年報５、政田民俗資料館収蔵資料目録、川入・中撫川遺跡、大廻小廻山城跡の謎に迫る、南坂８号墳・一国山城跡・一国山古墳群、彦崎貝塚
岡山県教育委員会	岡山県埋蔵文化財報告36
備前市教育委員会	「備前焼・海の道・夢フォーラム2006」、伊部南大窯跡周辺窯跡群確認調査報告書Ⅱ、北大窯跡・西大窯跡調査概報
総社市教育委員会	総社市埋蔵文化財調査年報15～16、古代山城鬼ノ城２
瀬戸内市教育委員会	邑久町史考古編
津山郷土博物館	彫無季の芸術、津山松平藩町奉行日記十四、津山藩狩野派絵師 - 狩野洞学 -、博物館だより No.50～No.53、文化財めぐりの歩み
倉敷市立自然史博物館	倉敷市立自然史博物館研究報告第21号、倉敷市立自然史博物館報15
岡山県立美術館	美術館ニュース No.73～No.75
岡山市デジタルミュージアム	岡山びと創刊号
岡山県立吉備路郷土館	吉備路郷土館だより No.30
岡山大学文学部考古学研究室	吉備地域における「『雄略朝』期」の考古学的研究
岡山理科大学	大山神社遺跡、自然科学研究所研究報告第31号、岡山理科大学紀要第41号Ａ自然科学、岡山理科大学紀要第41号Ｂ人文・社会科学
倉敷市文書館（アーカイブス）研究会	倉敷の歴史 - 倉敷市史紀要 - 第16号
岡山県遺跡保護調査団事務局	調査団ニュース第28号
広島県	
（財）東広島市教育文化振興事業団	阿岐のまほろば vol.33～vol.34、下上戸遺跡発掘調査報告書、御土居遺跡発掘調査報告書、御土居遺跡発掘調査報告書、溝口２号遺跡発掘調査報告書、史跡安芸国分寺跡発掘調査報告書Ⅷ、四日市遺跡発掘調査報告書Ⅲ～Ⅳ、福成寺旧境内遺跡発掘調査報告書Ⅱ
（財）広島県教育事業団	原田岡山第２号古墳
広島県教育委員会	弥山道（大聖院道）石畳発掘調査報告書
東広島市教育委員会	原１号遺跡発掘調査報告書、諏訪神社南遺跡発掘調査報告書、前長者遺跡発掘調査報告書、平田遺跡発掘調査報告書
三次市教育委員会	岩倉第28・33・34号古墳
福山市教育委員会	泉山城跡、福山城東外堀跡発掘調査報告書、法成寺西上古墳
庄原市教育委員会	庄原市上野総合公園遺跡群Ⅰ
尾道市教育委員会	尾道遺跡
北広島町教育委員会	柿ノ木谷遺跡発掘調査報告書、小倉山城跡整備事業報告書
広島県立歴史博物館	広島県立歴史博物館ニュース第67号～第70号
福山市しんいち歴史民俗博物館	新市町文化財行政報告Ⅰ～Ⅱ
広島県立歴史民俗資料館	歴風第42号
広島大学文学部考古学研究室	帝釈峡遺跡群発掘調査室年報ＸＸ
山口県	
山口県埋蔵文化財センター	陶けん第19号、伊領原遺跡　木焼遺跡　松ヶ谷遺跡、下右田遺跡、手洗古墳群、石走山遺跡Ⅱ、萩城跡（外堀地区Ⅲ）、白石遺跡、尾袋遺跡（田尻地区）
下関市立考古博物館	あやらぎ No.15～No.16、下関市立考古博物館年報11、研究紀要第10号、甦る古の輝き - 古墳時代の金・金銅製装身具 -
徳島県	
（財）徳島県埋蔵文化財センター	徳島県埋蔵文化財センター年報 vol.16、真朱第６号、四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告、四国縦貫自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告29～32、指定史跡等保存活用事業埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ、大柿遺跡、田宮遺跡、徳島城下町遺跡・中徳島町１丁目地点、矢野遺跡Ⅲ（弥生・古墳篇）
徳島市教育委員会	国指定史跡徳島城跡石垣現状基礎調査報告書、徳島市埋蔵文化財発掘調査概要

	14 ～ 16
徳島県教育委員会	徳島県遺跡地図
徳島大学埋蔵文化財調査室	常三島遺跡 2
香川県	
香川県埋蔵文化財センター	いにしえの讃岐第 49 号～第 52 号、古代体験メニュー集第 1 号、平成 17 年度香川県埋蔵文化財センター年報、研究紀要Ⅱ、空港跡地遺跡Ⅸ、栗林公園、佐古川・窪田遺跡、小山・南谷遺跡Ⅱ、前田東・中村遺跡Ⅲ、竹元遺跡、田村遺跡Ⅱ・川島本町遺跡・川島本町南遺跡
高松市教育委員会	奥の坊古墳群Ⅳ、牛ノ鼻古墳・牛ノ鼻遺跡、高松市内遺跡発掘調査概報、高松城跡（厩跡）、新田本村遺跡、神内城跡、多肥宮尻遺跡、多肥松林遺跡、鉄門石垣調査・保存整備工事報告書
善通寺市教育委員会	四国学院大学構内遺跡発掘調査報告書、善通寺市内遺跡発掘調査調査事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 10 ～ 11
丸亀市教育委員会	丸亀市内遺跡発掘調査報告書第 1 集、中の遺跡第 12 次調査
さぬき市教育委員会	平成 17 年度さぬき市内遺跡発掘調査報告書
香川町教育委員会	舟岡古墳
綾川町教育委員会	山田下吉田遺跡
香川県歴史博物館	香川県歴史博物館ニュース vol.27 ～ vol.29
愛媛県	
（財）愛媛県埋蔵文化財調査センター	愛比売 - 平成 17 年度年報 -、紀要愛比売第 6 号、下川遺跡、角ヶ谷城跡、高橋仏師Ⅱ遺跡、高地スゴ谷Ⅰ遺跡・高地栗谷 4 号墳・阿方牛ノ江Ⅰ遺跡・阿方牛ノ江Ⅱ遺跡・阿方牛ノ江Ⅲ遺跡・阿方牛ノ江Ⅳ遺跡、馬越和多地遺跡 2 次
（財）松山市生涯学習振興財団	松山市埋蔵文化財調査年報 17 ～ 18、発掘へんろ、宮前川流域の遺跡Ⅱ、大峰ヶ台遺跡Ⅲ、東石井遺跡･西石井遺跡、東野お茶屋台遺跡 6 次調査地、番町遺跡、来住・久米地区の遺跡Ⅳ
今治市教育委員会	高橋徳蔵寺遺跡Ⅰ、市内遺跡試掘確認調査報告書ⅩⅨ、市内遺跡試掘確認調査報告書ⅩⅩ、市内遺跡試掘確認調査報告書ⅩⅪ、市内遺跡試掘確認調査報告書ⅩⅫ、神宮御池遺跡・小泉アツコ遺跡
松山市考古館	祈り - 卑弥呼といのりの小道具 -、四国・弥生の宝物、首長の大型建物をみる - 伊豫の弥生から古代にかけて -
高知県	
（財）高知県文化財団	高知県埋蔵文化財センター年報 14 ～ 15、金地遺跡Ⅱ、桜木遺跡、史跡高知城跡、坪ノ内遺跡Ⅰ、田村遺跡群、田村遺跡群Ⅱ　総論、野田遺跡Ⅱ・野田廃寺、柳田遺跡、林田遺跡Ⅲ
高知県教育委員会	高知県埋蔵文化財年報 3、埋文こうち第 19 号
佐川町教育委員会	黒岩城跡
高知県立歴史民俗資料館	岡豊風日第 57 号～第 58 号、高知県立歴史民俗資料館年報 No.15
高知大学人文学部考古学研究室	大元神社古墳測量調査報告書、南国市における大型後期古墳の調査
福岡県	
福岡市埋蔵文化財センター	福岡市埋蔵文化財センター年報第 25 号
久留米市埋蔵文化財センター	久留米市埋蔵文化財年報 vol.2、チョットみ展、まいぶん久留米第 5 号、久留米から出土した“お宝”展、久保遺跡、久留米市三潴町遺跡等詳細分布調査報告書、久留米城外郭遺跡第 9 次調査、京隈侍屋敷遺跡、櫛原侍屋敷遺跡第 6 次調査、小川遺跡、正福寺遺跡第 7 次調査、正福寺遺跡第 8･10 次調査、正福寺遺跡･日渡遺跡、筑後国府跡、筑後国府跡、筑後国府跡平成 17 年度発掘調査報告、筑後国府通信 vol.3、中原遺跡第 2 次調査、二本木遺跡群Ⅲ、日渡遺跡群Ⅳ、平成 17 年度久留米市内遺跡群、別当山遺跡 - 第 1 次調査 -、良積遺跡Ⅴ
（財）北九州市芸術文化振興財団	埋蔵文化財調査室年報 22、紀要 - 第 20 号 -、円光寺遺跡、丸ノ内遺跡、朽網南塚遺跡 5、朽網南塚遺跡 6、朽網當宮遺跡、京町遺跡第 5 地点、志井雀木遺跡第 2 地点、室町遺跡第 5 地点、室町遺跡第 6 地点、小倉城二ノ丸家老屋敷跡第 2 地点、

	小敷城跡、大手町遺跡第5地点、中貫ミカシキ遺跡4・真光寺遺跡2、猪の谷東遺跡、長浜遺跡、長野フンデ遺跡4、長野角屋敷遺跡4
福岡県教育委員会	海津横馬場遺跡Ⅱ、郡領ノ一遺跡、山門前田遺跡、西新町遺跡Ⅶ、西牟田大立遺跡　西牟田北原遺跡　西牟田平野遺跡（2次調査）、日詰遺跡Ⅲ
福岡市教育委員会	福岡市埋蔵文化財年報 vol.19、コノリ遺跡2、下月隈C遺跡Ⅵ、吉塚祝町2、吉武遺跡群ⅩⅧ、金武3、元岡・桑原遺跡群6、元岡・桑原遺跡群7、広瀬遺跡2・上広瀬遺跡1、広瀬遺跡3、鴻臚館跡16、今宿五郎江5、雑餉隈遺跡6、三苫遺跡群6、山王遺跡1～2、周船寺遺跡6、周船寺遺跡7、住吉神社遺跡1、重留村下遺跡3、席田大谷遺跡群6、千隈古墳群、中村町遺跡1、田島A遺跡2、唐原稲葉遺跡1、藤崎遺跡16、那珂41～44、那珂君林遺跡Ⅷ、南八幡遺跡7、博多106～109、麦野C遺跡、箱崎25、比恵42～44、夫婦塚古墳2、福岡市・釜山広域市文化財担当者交流事業報告書、有田・小田部40～42
北九州市教育委員会	高見遺跡第3地点、小倉城二ノ丸家老屋敷跡1、西ソノ遺跡、稗田川遺跡第2地点　中島遺跡第3次調査、木屋瀬宿東溝口跡第2次調査
大野城市教育委員会	牛頸本堂遺跡群Ⅲ - 第6･8次調査 -、牛頸本堂遺跡群Ⅳ - 第7次調査 -、仲嶋遺跡Ⅻ、大野城市の文化財第38集
筑紫野市教育委員会	原遺跡2、原田第1・2・40・41号墓地下巻、長道遺跡、日焼遺跡2、椰野遺跡
春日市教育委員会	春日市埋蔵文化財年報13、ドバセ遺跡、下大荒遺跡 -3次調査 -、古水遺跡 -3次調査 -、須玖永田A遺跡3、野藤遺跡3
遠賀町教育委員会	鬼津横穴墓群
北九州市立自然史・歴史博物館	北九州市立自然史・歴史博物館研究報告B類歴史第2号～第3号
九州歴史資料館	九歴だより No.23、九州歴史資料館研究論集31、九州歴史資料館年報 - 平成17年度 -
粕屋町立歴史資料館	戸原王塚古墳、粕屋町内遺跡確認調査
佐賀県	
佐賀県教育委員会	大江前遺跡
佐賀市教育委員会	埋蔵文化財確認調査報告書 -2003年度 -、埋蔵文化財確認調査報告書 -2004年度 -、石井樋、築山遺跡2、東古賀遺跡4、東名遺跡、藤木三本杉遺跡Ⅰ、徳永遺跡11区、徳富権現堂遺跡　徳富本村遺跡、納所遺跡2、友貞遺跡
唐津市教育委員会	岸岳古窯跡群Ⅱ、菜畑内田遺跡（6）、獅子城跡Ⅱ、汐入遺跡、中原遺跡（2）、鎮西町内遺跡確認調査平成14年度～平成16年度、唐津市内遺跡確認調査（22）
神埼市教育委員会	姉川城跡
神埼町教育委員会	八子一本黒木遺跡Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ区、八子四本黒木遺跡Ⅲ、八子二本黒木遺跡、八子六本黒木遺跡14区
長崎県	
佐世保市教育委員会	佐世保の洞穴遺跡
熊本県	
宇土市教育委員会	宇土馬門石歴史散歩、轟貝塚・馬門石石切場跡、大王のひつぎ実験航海
大分県	
大分県教育庁埋蔵文化財センター	山脇横穴墓、上ノ原横穴墓群、大分県内遺跡発掘調査概報9、豊後府内3～5
佐伯市教育委員会	神ノ原遺跡発掘調査報告書
大分市教育委員会	大分市文化財だより2006年度号、大分市埋蔵文化財調査年報 vol.16、よみがえる大友館と南蛮都市、下郡遺跡群Ⅳ、宮苑井ノ口遺跡、玉沢地区条里跡、若宮八幡宮遺跡、大分市市内遺跡確認調査概報 -2005年度 -、大友府内7～8、南金池遺跡、府内城・城下町跡 - 第12次調査報告書 -
豊後大野市教育委員会	高添遺跡
竹田市文化財管理センター	高畑遺跡、山ノ神谷（B地区）遺跡、城下町遺跡（下殿町御用屋敷）、城下町遺跡（虎屋跡）、菅生台地と周辺の遺跡、竹田地区遺跡群・城下町遺跡群Ⅵ～Ⅶ、釘小野遺跡
九重町教育委員会	九重町歴史資料館年報、町田立村遺跡

大分県立歴史博物館	おおいた歴博 No.20 ～ No.22
宮崎県	
宮崎県埋蔵文化財センター	埋蔵文化財通信みやざき第 7 号、宮崎県埋蔵文化財センター年報第 10 号、下耳切第 3 遺跡、山崎上ノ原第 2 遺跡Ⅱ、上新開遺跡、唐木戸第 4 遺跡、東九州自動車道（都農～西都原）関連埋蔵文化財発掘調査調査概要報告書Ⅵ、東九州自動車道（門川～日向間）関連埋蔵文化財発掘調査概要報告書Ⅰ、東畦原第 1 遺跡（三・四次調査）、東畦原第 1 遺跡（二次調査）
都城市教育委員会	坂元Ａ遺跡　坂元Ｂ遺跡、星原遺跡
三股町教育委員会	三股町内遺跡Ⅴ～Ⅵ、諏訪廻第 1 遺跡
鹿児島県	
鹿児島県立埋蔵文化財センター	埋文だより第 41 号～第 43 号
鹿児島県教育委員会	先史・古代の鹿児島（通史編）
出水市教育委員会	笹原遺跡
沖縄県	
宜野湾市教育委員会	基地内埋蔵文化財調査報告書Ⅱ
その他	
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会	公立埋文協会報第 37 号
全国埋蔵文化財法人連絡協議会	全国埋文協会報 No.70
文化環境研究所	カルチベイト No.28 ～ No.29、文環研レポート第 23 号
（株）デアゴスティーニ・ジャパン	日本の 100 人 No.013
（株）東京書籍	邪馬台国への旅
（株）国際航業	環境考古学、文化遺産の世界 21 号～ 24 号
（株）テイケイトレード	神明久保遺跡 - 第 10 地点 -
（株）京都科学	ミュージアムワークス vol.18

印刷仕様

紙　　質	表紙：サンマット160kg（PP張り）
	本文：ニューエイジ70kg
	折込：上質紙70kg
D　T　P	Mac OS 10.2.3　Adobe InDesign 2.0　Adobe Photoshop7.0
使用フォント	モリサワ OpenType フォント （リュウミン L-KL・中ゴシック BBB・太ミン A101・太ゴシック B101・見出ゴシック MB31・じゅん101）
製　　本	無線綴じ

倉敷埋蔵文化財センター年報11
ー平成17・18年度ー

平成20年3月31日印刷発行

発 行　倉敷市教育委員会

編 集　倉敷埋蔵文化財センター

〒712-8046　倉敷市福田町古新田940番地

TEL 086-454-0600

The Annual Report
Of
Kurashiki Archaeological Center

Volume11 2005・2006

Kurashiki
Archaeological Center

March 2008